

「第4次海南市人権施策推進行動計画」及び
「第4次海南市男女共同参画基本計画」策定のための

人権・男女共同参画市民意識調査
結果報告書

令和3年9月

海南市

目 次

I	調査概要.....	1
	1. 調査の目的	1
	2. 調査の方法	1
	3. 回収結果	1
	4. 数値等の基本的な取扱いについて	1
II	調査結果.....	2
	1. 回答者の属性	2
	2. 人権全般について	5
	3. 子どもの人権について	16
	4. 高齢者の人権について	19
	5. 障害のある人の人権について	22
	6. 同和問題について	25
	7. 外国人の人権について	27
	8. 感染症患者等の人権について	29
	9. 情報化社会における人権侵害について	31
	10. 女性の人権について	34
	11. コロナ禍の影響、男性の家事等への参加や女性の登用等について	65
	12. 人権・男女共同参画の施策全般について	71
III	国・県との比較（参考）	81
IV	調査票（参考）	96

I 調査概要

1. 調査の目的

「海南省人権施策推進行動計画」並びに「海南省男女共同参画基本計画」を策定に当たり、その基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の方法

(1) 調査対象と抽出方法

- 調査対象：18歳以上の市民
- 抽出方法：性別・年齢別割付による抽出

(2) 調査対象者数

2,000人（女性 1,000人、男性 1,000人）

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

(4) 調査期間

令和3年7月21日～8月3日

3. 回収結果

- | | |
|---------|-------|
| (1) 配布数 | 2,000 |
| (2) 回収数 | 660 |
| (3) 回収率 | 33.0% |

4. 数値等の基本的な取扱いについて

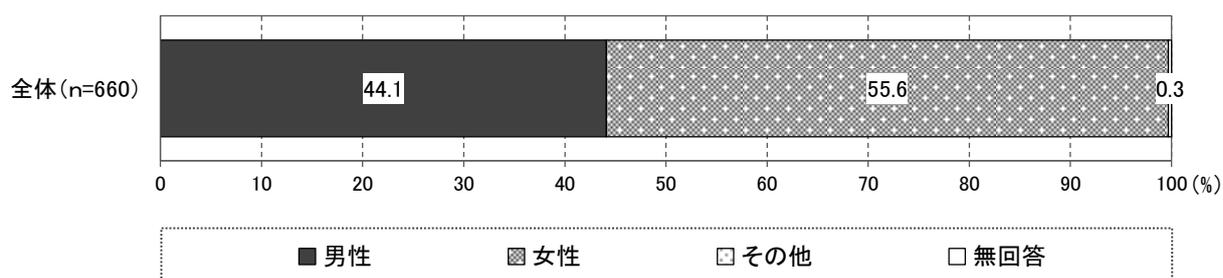
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー（選択肢）の文言は、一部簡略化する場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所の数値は基本的に省略しています。
- ・質問の終わりに【複数回答可】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、該当する回答の合計比率は100%を超える場合があります。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

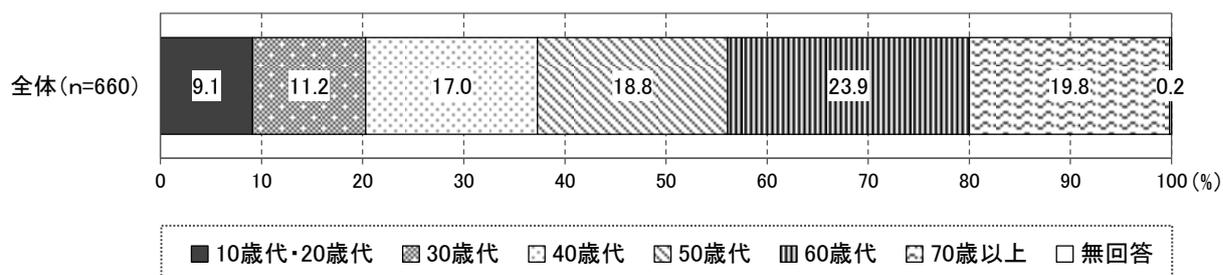
問1 あなたの性別をお答えください。

「男性」が44.1%、「女性」が55.6%となっています。



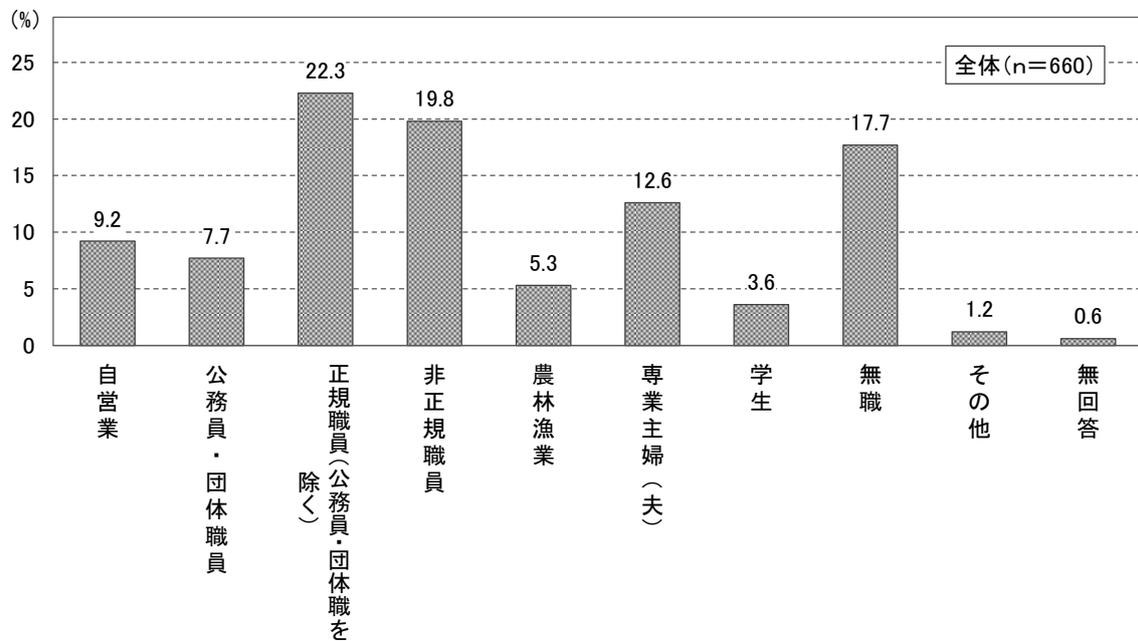
問2 あなたの年齢をお答えください。(令和3年7月1日現在)

「60歳代」が23.9%と最も高く、次いで、「70歳以上」(19.8%)、「50歳代」(18.8%)の順となっています。



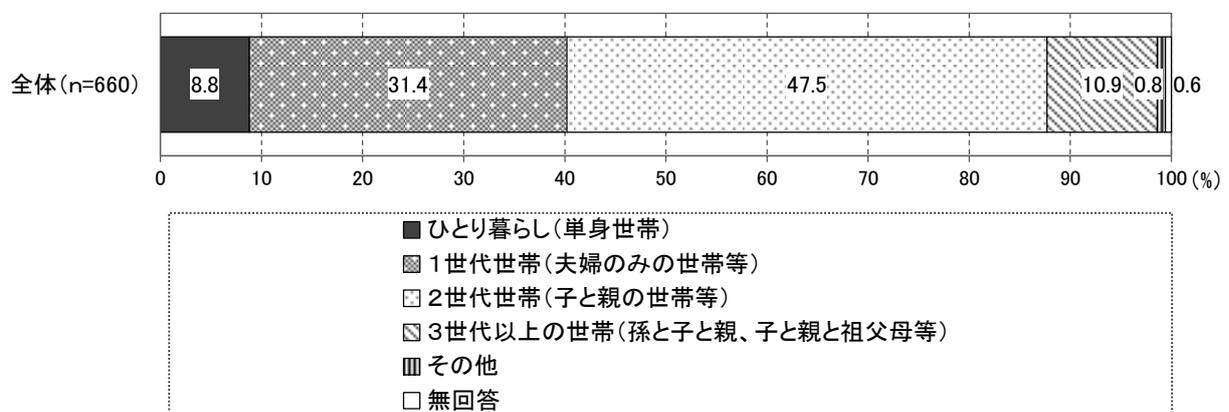
問3 あなたの職業をお答えください。

「正規職員（公務員・団体職員を除く）」が 22.3%と最も高く、次いで、「非正規職員」（19.8%）、「無職」（17.7%）の順となっています。



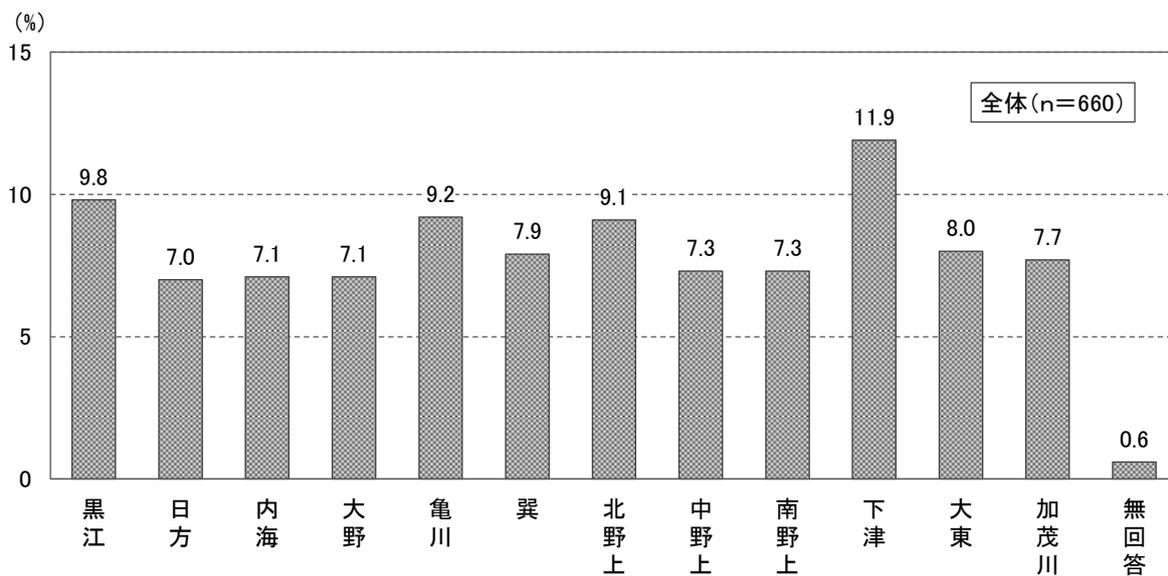
問4 あなたの世帯の構成をお答えください。

「2世代世帯（子と親の世帯等）」が 47.5%と最も高く、次いで、「1世代世帯（夫婦のみの世帯等）」（31.4%）、「3世代以上の世帯（孫と子と親、子と親と祖父母等）」（10.9%）の順となっています。



問5 あなたがお住まいの地域は、どの小学校区ですか。

「下津」が11.9%と最も高く、次いで、「黒江」(9.8%)、「亀川」(9.2%)の順となっています。



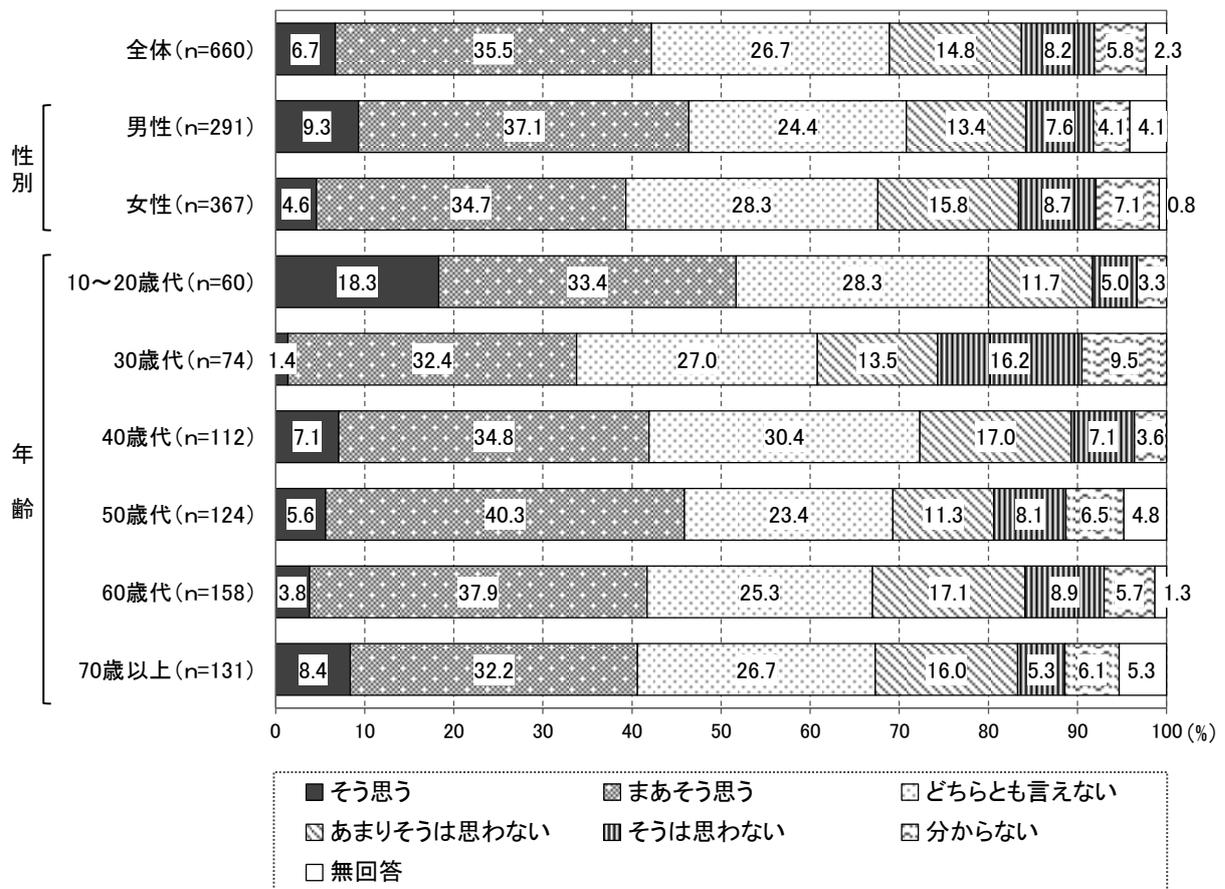
2. 人権全般について

問6

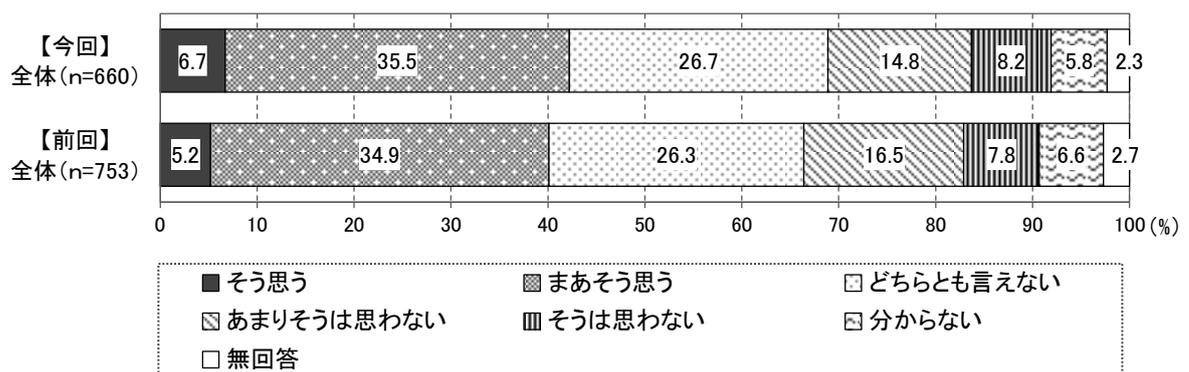
人権に関する次の項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

(1) 今の社会全体として、人権が守られている

全体では、「まあそう思う」が35.5%と最も高く、次いで、「どちらとも言えない」(26.7%)、「あまりそうは思わない」(14.8%)の順となっています。

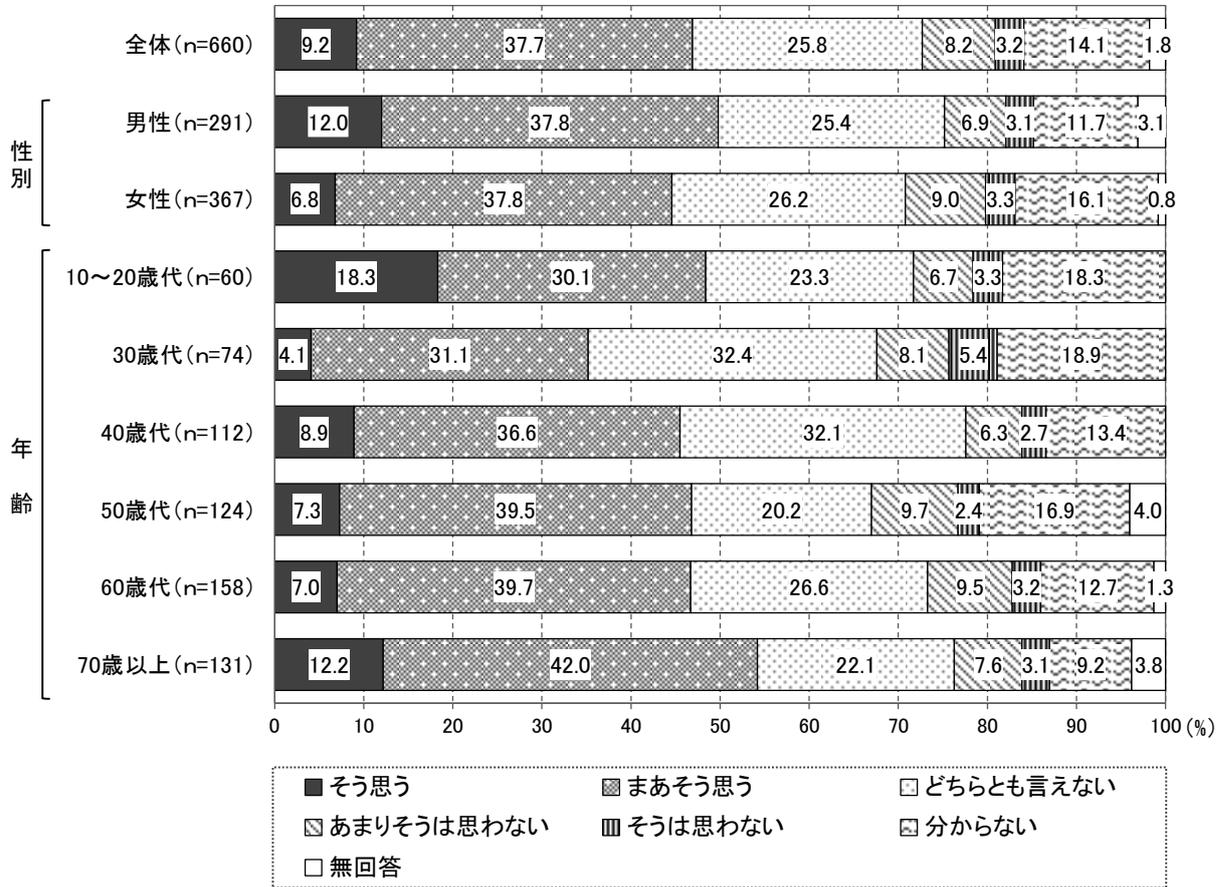


問6 (1) 前回比較

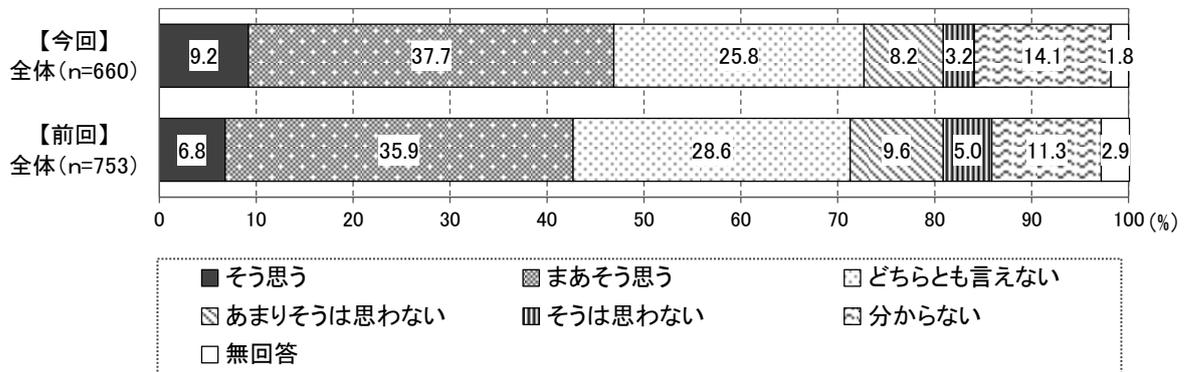


(2) 今の海南市では、人権が守られている

全体では、「まあそう思う」が37.7%と最も高く、次いで、「どちらとも言えない」(25.8%)、「分からない」(14.1%)の順となっています。

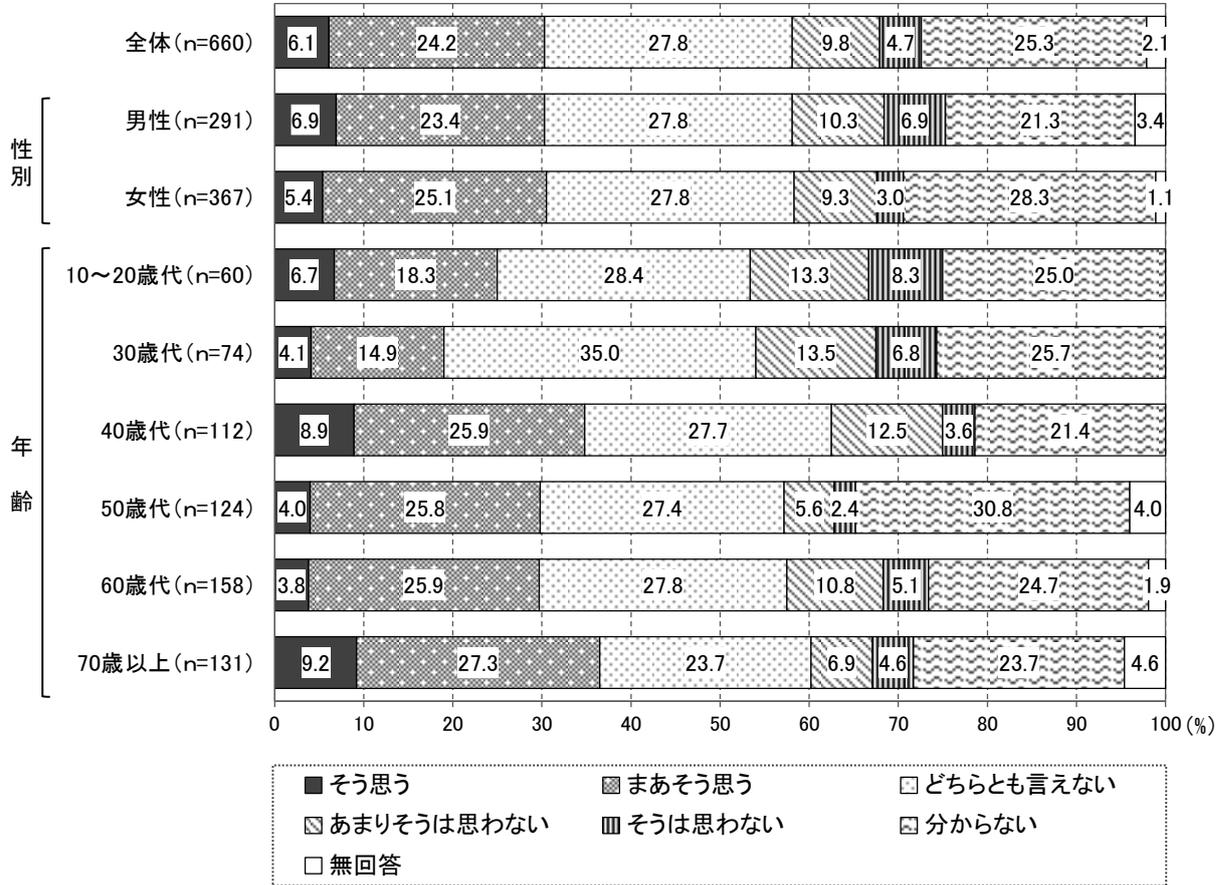


問6 (2) 前回比較

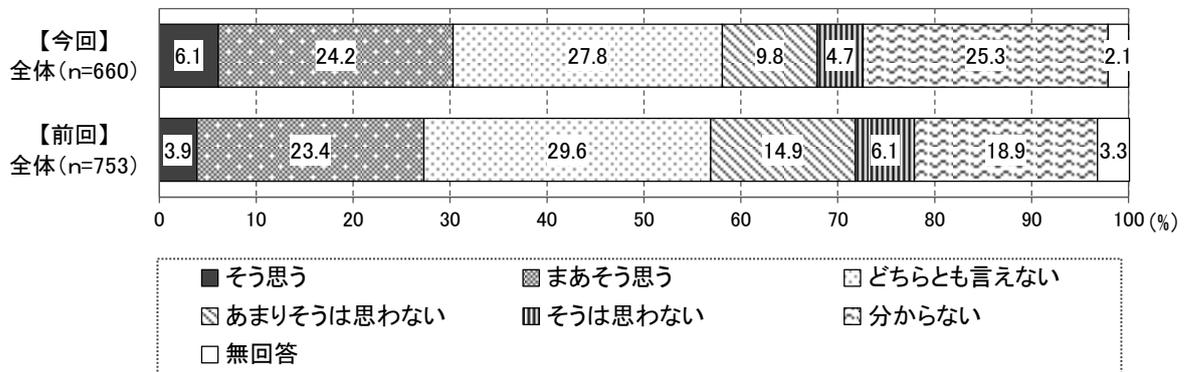


(3) 今の海南市では、人権を守る教育・啓発活動が行われている

全体では、「どちらとも言えない」が27.8%と最も高く、次いで、「分からない」(25.3%)、「まあそう思う」(24.2%)の順となっています。

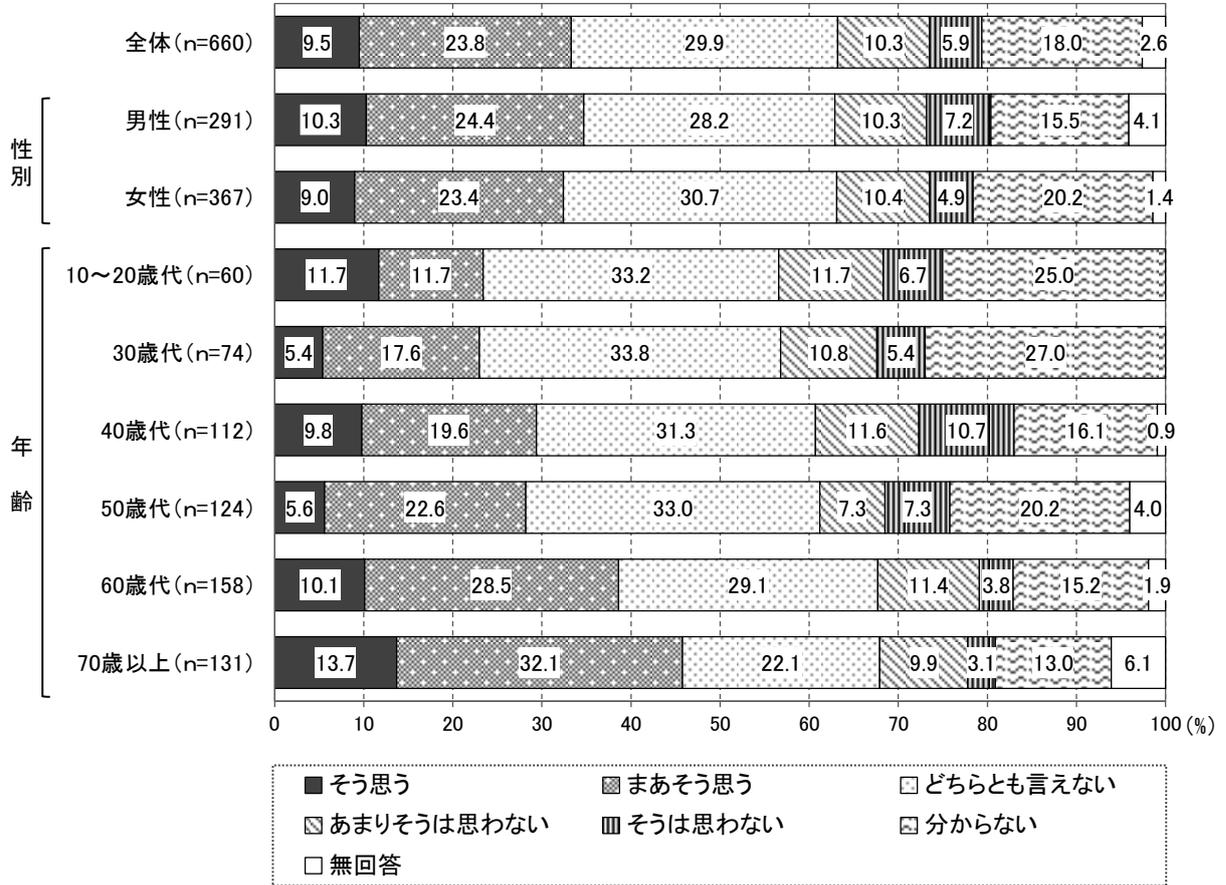


■問6 (3) 前回比較

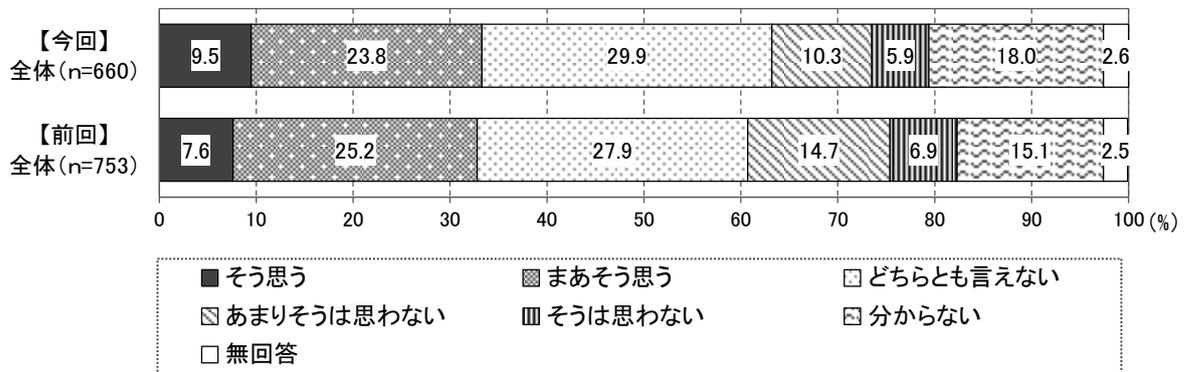


(4) 数年前と比べて市民の人権意識が高くなっている

全体では、「どちらとも言えない」が29.9%と最も高く、次いで、「まあそう思う」(23.8%)、「分からない」(18.0%)の順となっています。



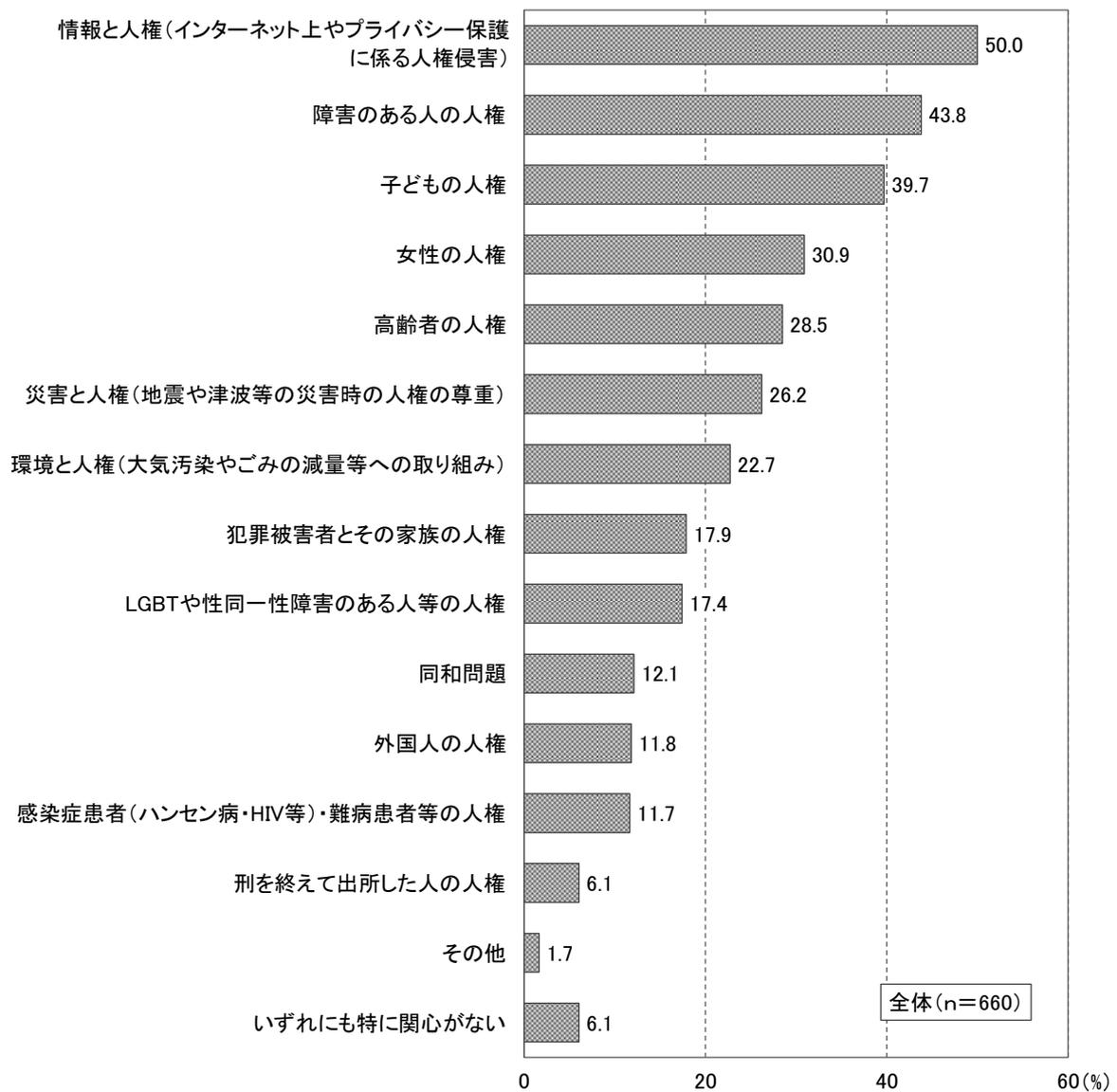
問6 (4) 前回比較



問7

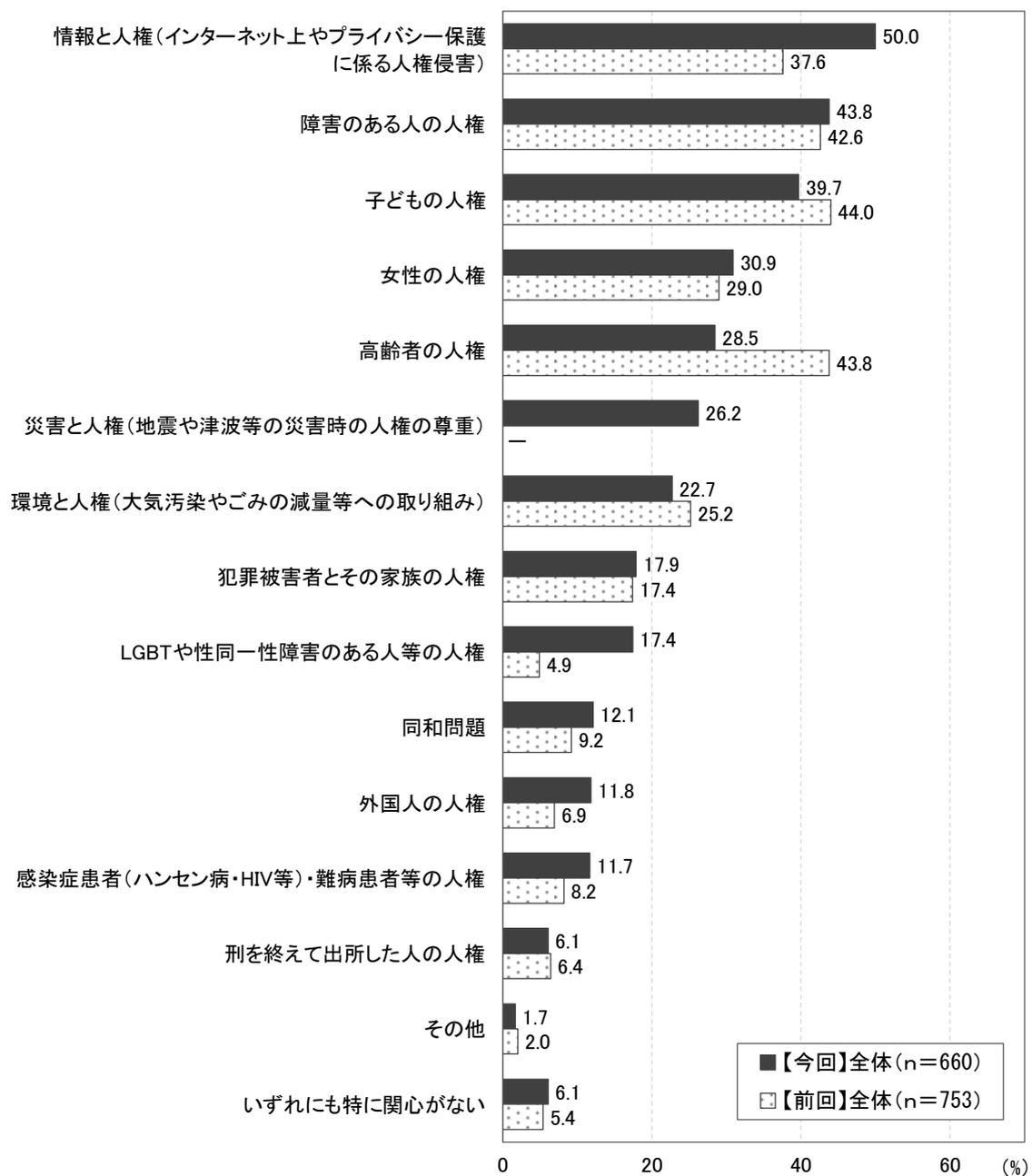
次にあげる人権課題の中で、あなたが特に関心を持っているのは何ですか。
【複数回答可】

「情報と人権（インターネット上やプライバシー保護に係る人権侵害）」が50.0%と最も高く、次いで、「障害のある人の人権」（43.8%）、「子どもの人権」（39.7%）の順となっています。



		子どもの人権	高齢者の人権	障害のある人の人権	女性の人権	同和問題	外国人の人権	感染症(ハ ンセン 病・HIV 等)・難 病患者 等の人 権	LGBTや 性同一 性障害 のある人 等の人 権	刑を終え て出所し た人の 人権	犯罪被害 者とその 家族の 人権	情報と人 権(イン ターネッ ト上やプ ライバ シー保護 に係る人 権侵害)	環境と人 権(大気 汚染や ごみの 減量等 への取り 組み)	災害と人 権(地震 や津波 等の災 害時の 人権の 尊重)	その他	いずれに も特に関 心がない
	(n=)															
	全体	660	188 28.5%	289 43.8%	204 30.9%	80 12.1%	78 11.8%	77 11.7%	115 17.4%	40 6.1%	118 17.9%	330 50.0%	150 22.7%	173 26.2%	11 1.7%	40 6.1%
性別	男性	291	84 28.9%	132 45.4%	61 21.0%	39 13.4%	31 10.7%	33 11.3%	42 14.4%	16 5.5%	51 17.5%	142 48.8%	72 24.7%	77 26.5%	6 2.1%	19 6.5%
	女性	367	102 27.8%	156 42.5%	142 38.7%	41 11.2%	47 12.8%	44 12.0%	73 19.9%	23 6.3%	66 18.0%	187 51.0%	76 20.7%	94 25.6%	5 1.4%	21 5.7%
年齢	10~20歳代	60	7 11.7%	22 36.7%	18 30.0%	6 10.0%	10 16.7%	7 11.7%	17 28.3%	5 8.3%	9 15.0%	27 45.0%	8 13.3%	12 20.0%	0 0.0%	6 10.0%
	30歳代	74	16 21.6%	24 32.4%	29 39.2%	9 12.2%	9 12.2%	7 9.5%	21 28.4%	3 4.1%	8 10.8%	38 51.4%	17 23.0%	23 31.1%	3 4.1%	5 6.8%
	40歳代	112	21 18.8%	47 42.0%	33 29.5%	14 12.5%	18 16.1%	16 14.3%	20 17.9%	4 3.6%	24 21.4%	68 60.7%	19 17.0%	33 29.5%	1 0.9%	7 6.3%
	50歳代	124	27 21.8%	57 46.0%	34 27.4%	14 11.3%	15 12.1%	15 12.1%	26 21.0%	5 4.0%	22 17.7%	68 54.8%	23 18.5%	31 25.0%	1 0.8%	10 8.1%
	60歳代	158	53 33.5%	70 44.3%	53 33.5%	14 8.9%	13 8.2%	21 13.3%	19 12.0%	12 7.6%	30 19.0%	80 50.6%	34 21.5%	36 22.8%	2 1.3%	4 2.5%
	70歳以上	131	63 48.1%	68 51.9%	36 27.5%	23 17.6%	13 9.9%	11 8.4%	12 9.2%	10 7.6%	24 18.3%	49 37.4%	48 36.6%	37 28.2%	4 3.1%	8 6.1%

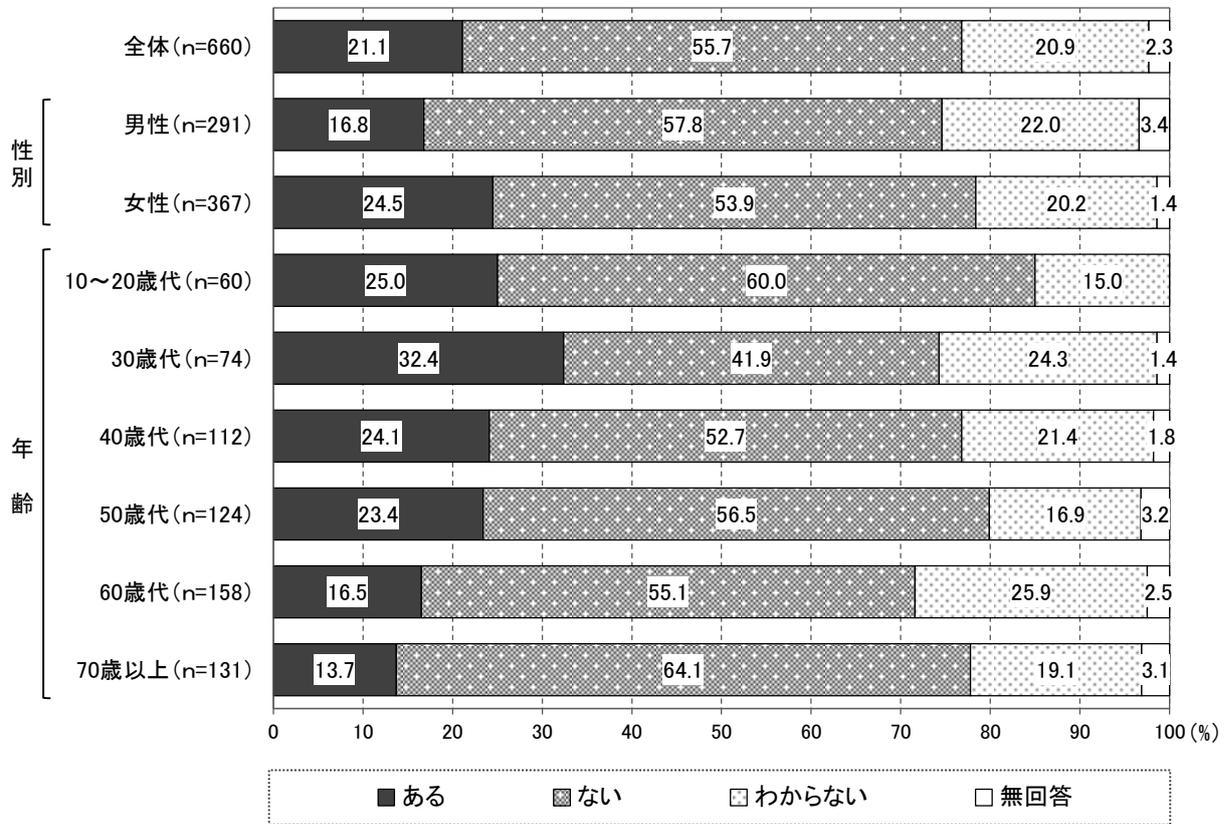
■問7 前回比較



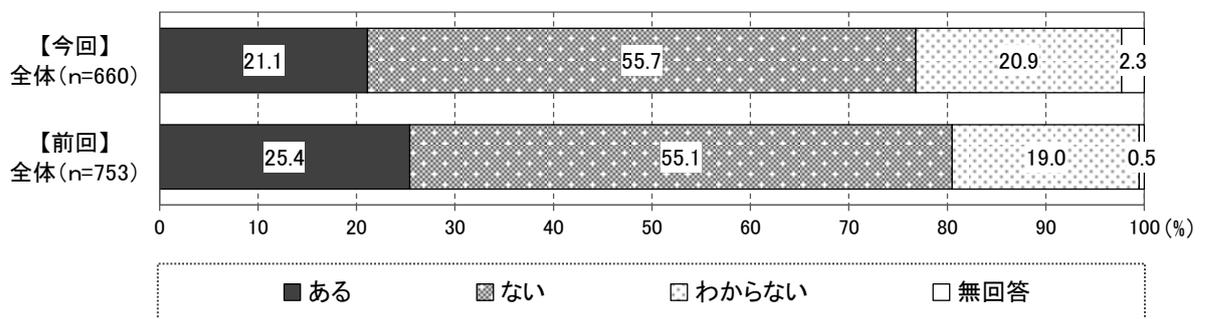
※「災害と人権(地震や津波等の災害時の人権の尊重)」については、前回調査には選択肢がありません。

問8 これまでに自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。

全体では、「ない」が55.7%と最も高く、次いで、「ある」(21.1%)、「わからない」(20.9%)の順となっています。



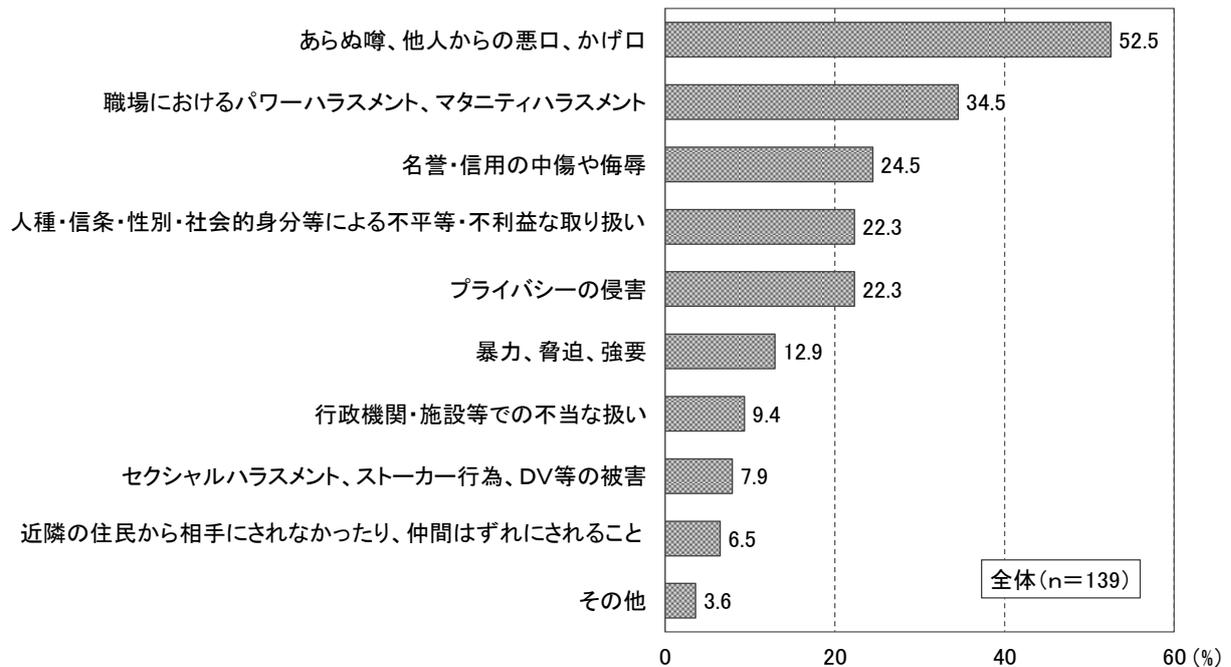
問8 前回比較



問 8 - 1

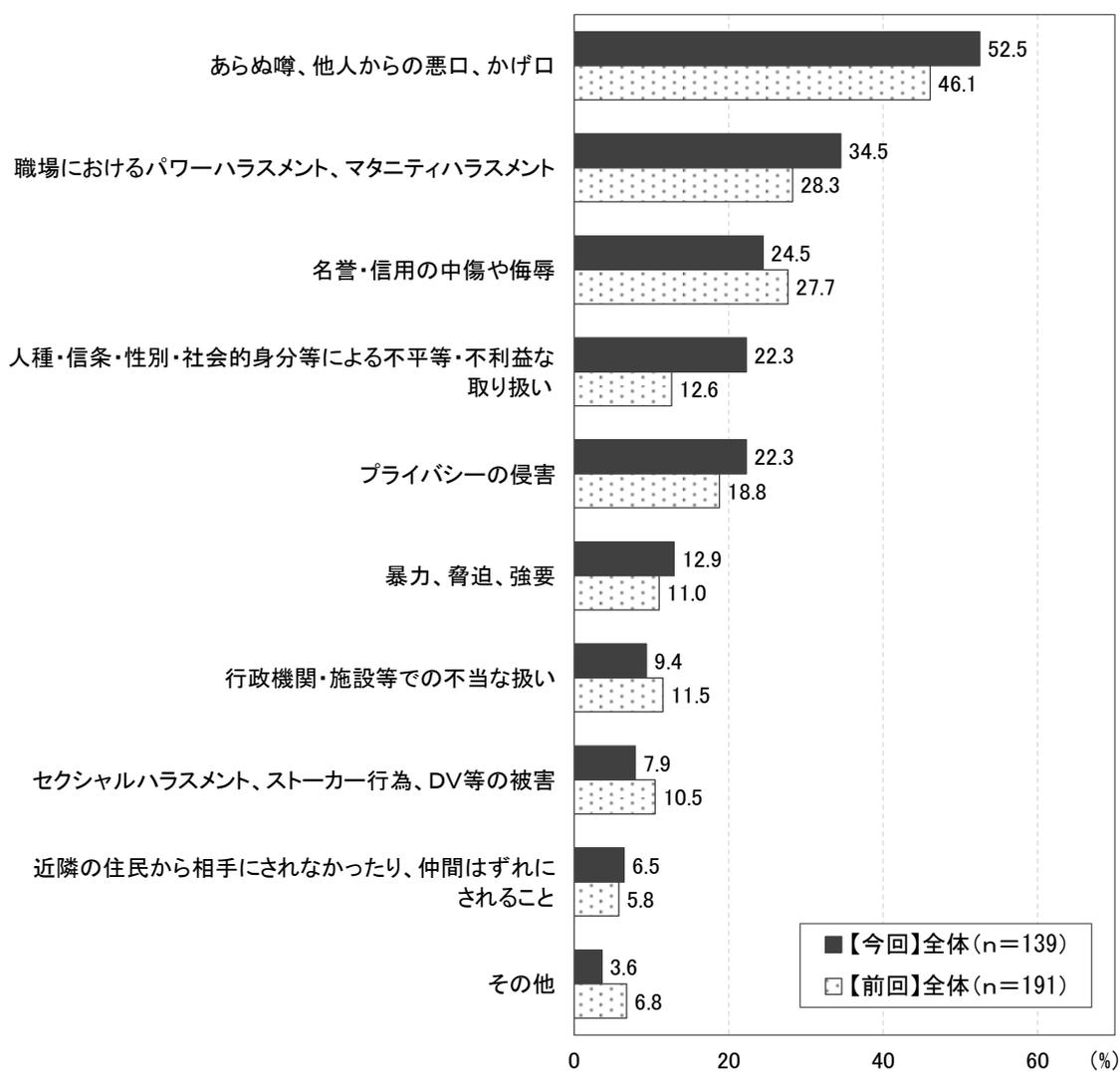
◆問8で「1. ある」と答えた方。
 どのようなことがありましたか。【複数回答可】

「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が52.5%と最も高く、次いで、「職場におけるパワーハラスメント、マタニティハラスメント」(34.5%)、「名誉・信用の中傷や侮辱」(24.5%)の順となっています。



	(n=)	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用の中傷や侮辱	暴力、脅迫、強要	人種・信条・性別・社会的身分等による不平等・不利益な取り扱い	プライバシーの侵害	行政機関・施設等での不当な扱い	近隣の住民から相手にされなかったり、仲間はずれにされること	セクシャルハラスメント、ストーカー行為、DV等の被害	職場におけるパワーハラスメント、マタニティハラスメント	その他
全体	139	73 52.5%	34 24.5%	18 12.9%	31 22.3%	31 22.3%	13 9.4%	9 6.5%	11 7.9%	48 34.5%	5 3.6%
性別	男性	23 46.9%	16 32.7%	6 12.2%	8 16.3%	10 20.4%	9 18.4%	1 2.0%	0 0.0%	18 36.7%	1 2.0%
	女性	50 55.6%	18 20.0%	12 13.3%	23 25.6%	21 23.3%	4 4.4%	8 8.9%	11 12.2%	30 33.3%	4 4.4%
年齢	10～20歳代	10 66.7%	4 26.7%	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	7 46.7%	0 0.0%
	30歳代	15 62.5%	8 33.3%	5 20.8%	8 33.3%	9 37.5%	4 16.7%	2 8.3%	3 12.5%	10 41.7%	1 4.2%
	40歳代	12 44.4%	7 25.9%	4 14.8%	4 14.8%	8 29.6%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	8 29.6%	0 0.0%
	50歳代	13 44.8%	5 17.2%	4 13.8%	9 31.0%	3 10.3%	3 10.3%	0 0.0%	2 6.9%	13 44.8%	1 3.4%
	60歳代	14 53.8%	6 23.1%	3 11.5%	6 23.1%	5 19.2%	2 7.7%	1 3.8%	4 15.4%	8 30.8%	0 0.0%
	70歳以上	9 50.0%	4 22.2%	0 0.0%	2 11.1%	4 22.2%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	3 16.7%

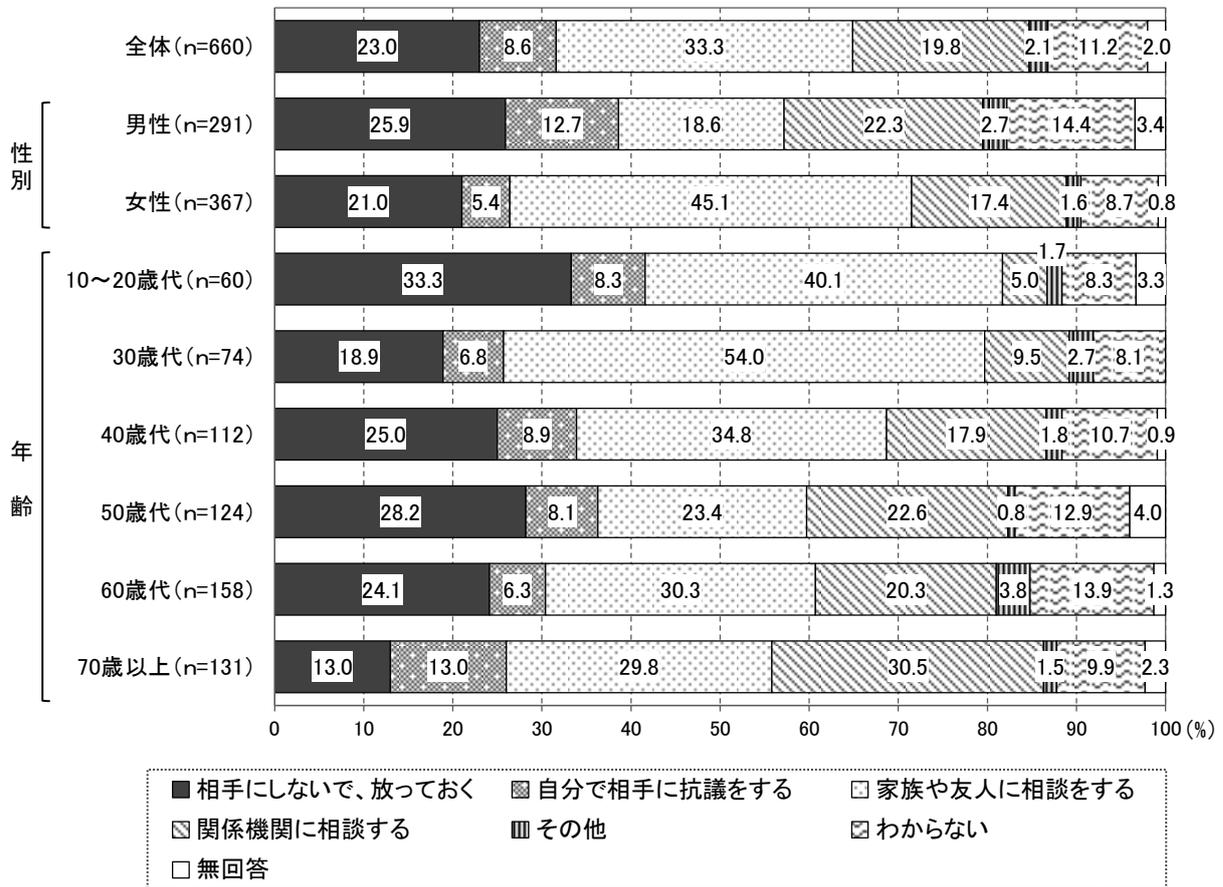
■問 8 - 1 前回比較



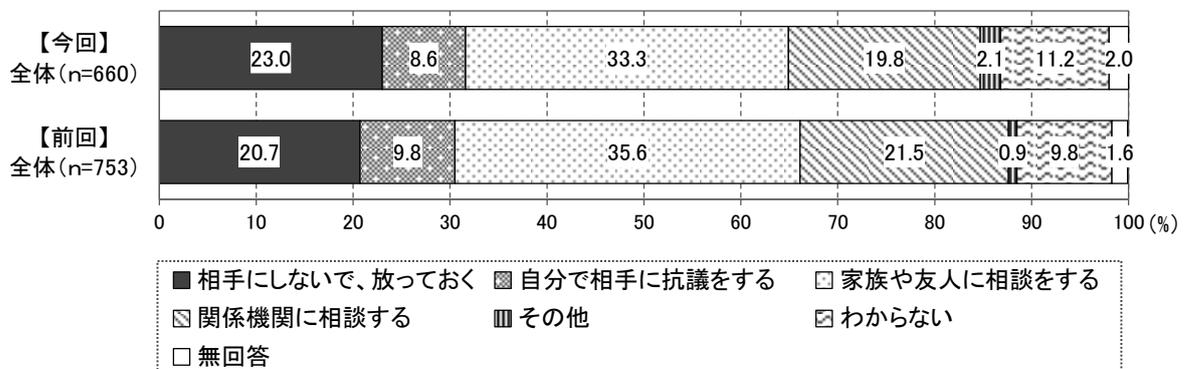
問9

あなたがもし人権侵害と思われることに会った場合、どのような対応をしますか。

「家族や友人に相談をする」が33.3%と最も高く、次いで、「相手にしないで、放っておく」(23.0%)、「関係機関に相談する」(19.8%)の順となっています。



問9 前回比較

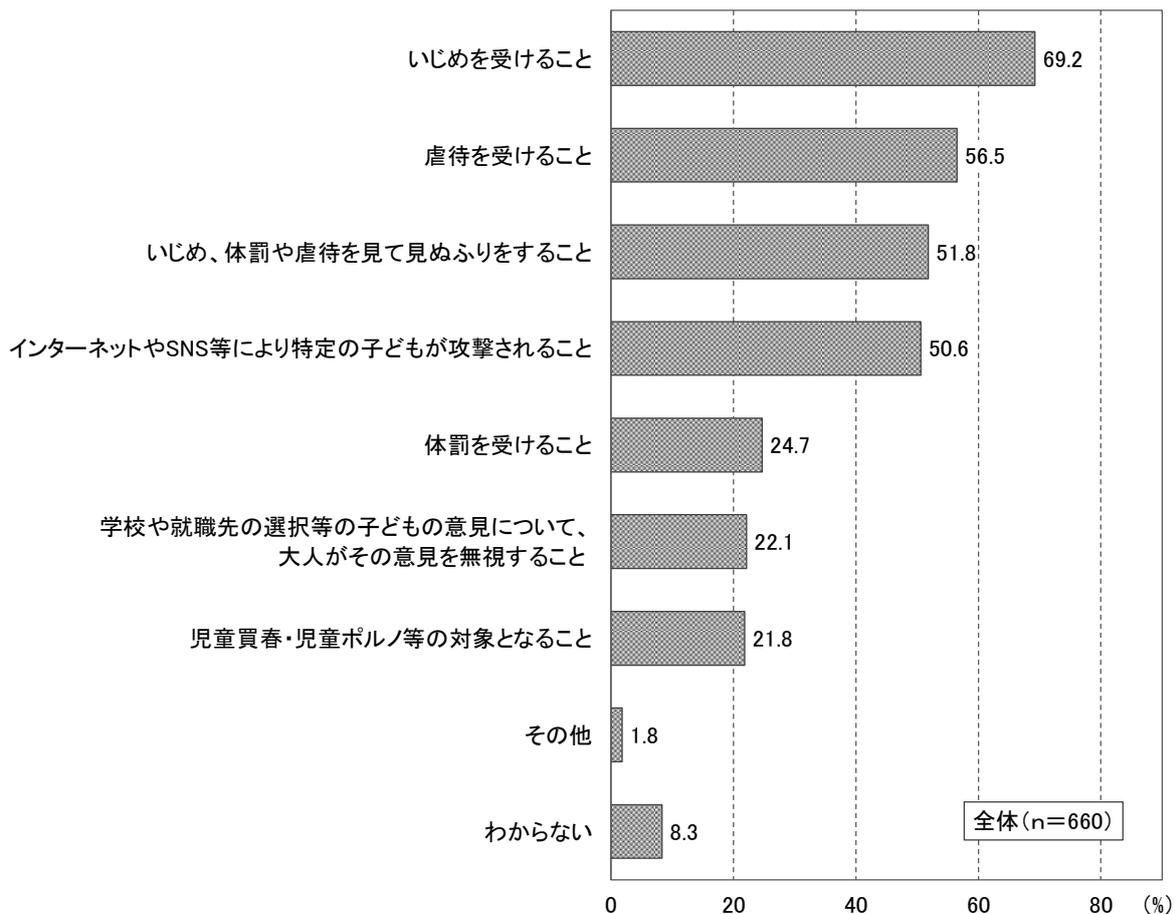


3. 子どもの人権について

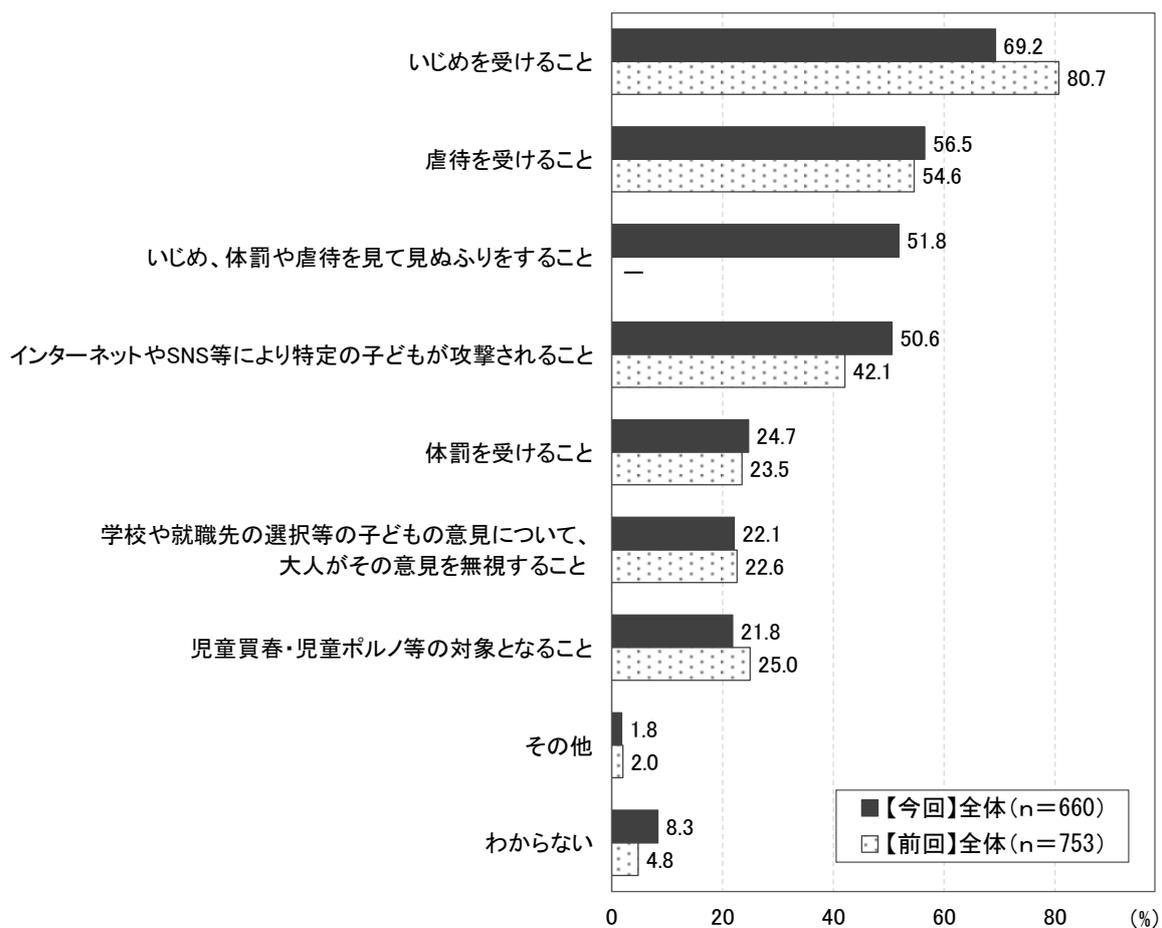
問 10

あなたは、子どもに関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

「いじめを受けること」が69.2%と最も高く、次いで、「虐待を受けること」(56.5%)、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」(51.8%)の順となっています。



■問 10 前回比較



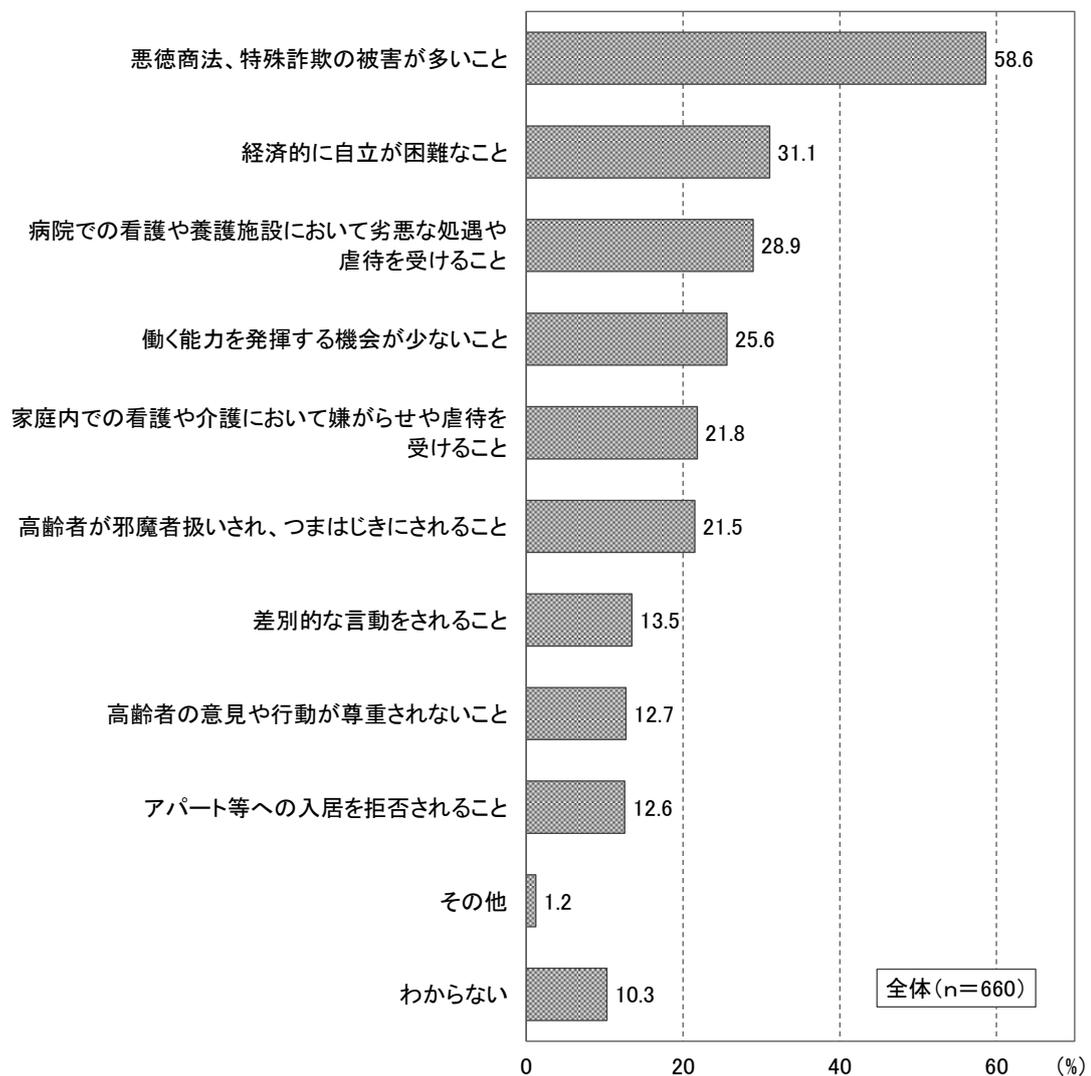
※「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」については、前回調査には選択肢がありません。

4. 高齢者の人権について

問 11

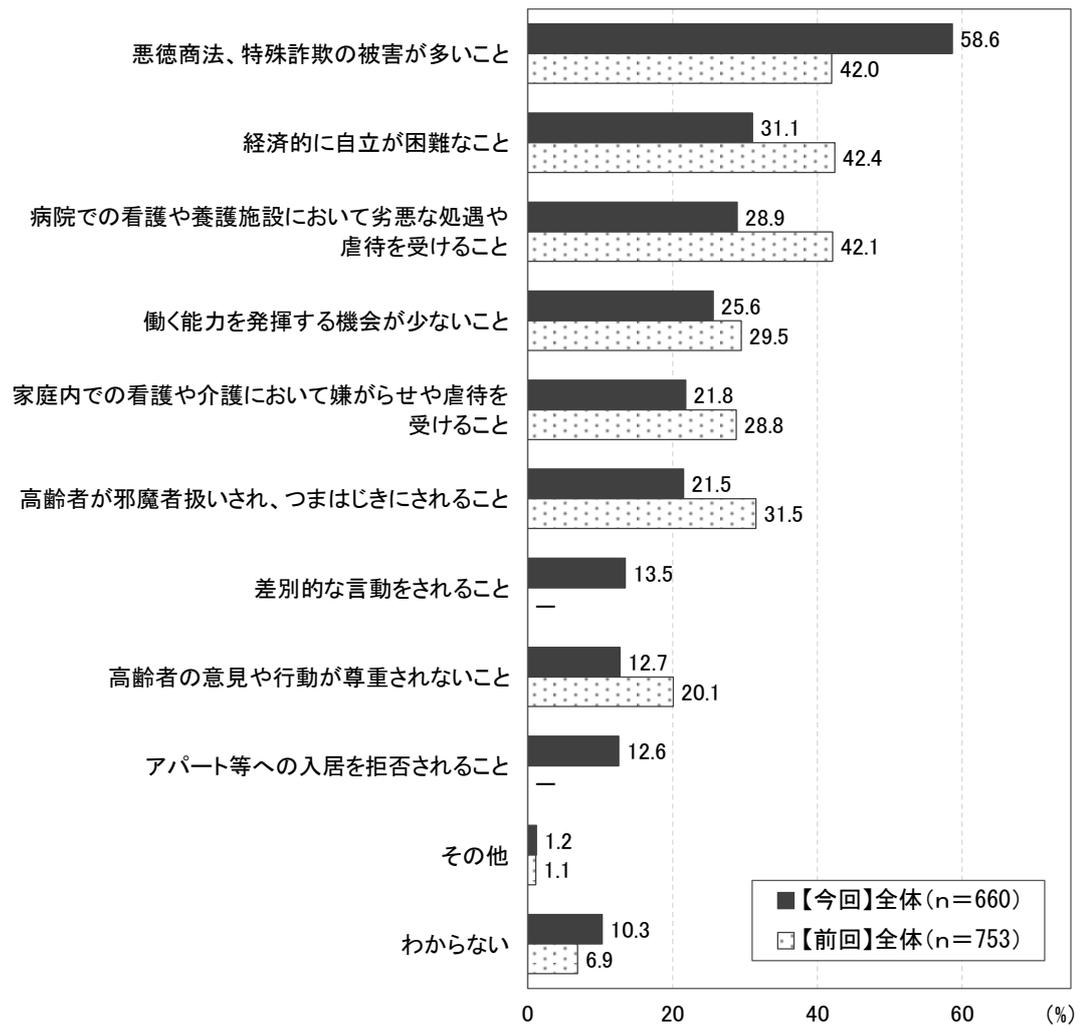
あなたは、高齢者に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が58.6%と最も高く、次いで、「経済的に自立が困難なこと」(31.1%)、「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」(28.9%)の順となっています。



		働く能力を 発揮する 機会が少 ないこと	差別的な 言動をさ れること	悪徳商 法、特殊 詐欺の被 害が多い こと	アパート 等への入 居を拒否 されること	家庭内で の看護や 介護にお いて嫌が らせや虐 待を受け ること	病院での 看護や養 護施設に おいて劣 悪な処遇 や虐待を 受けること	高齢者が 邪魔者扱 いされ、つ まはじき にされること	高齢者の 意見や行 動が尊重 されないこ と	経済的に 自立が困 難なこと	その他	わからな い
	全体 (n=)	660	89	387	83	144	191	142	84	205	8	68
			25.6%	58.6%	12.6%	21.8%	28.9%	21.5%	12.7%	31.1%	1.2%	10.3%
性別	男性	291	35	165	27	39	52	62	34	84	3	32
			12.0%	56.7%	9.3%	13.4%	17.9%	21.3%	11.7%	28.9%	1.0%	11.0%
年齢	女性	367	54	221	56	105	139	79	50	121	5	36
			14.7%	60.2%	15.3%	28.6%	37.9%	21.5%	13.6%	33.0%	1.4%	9.8%
	10~20歳代	60	10	27	4	17	20	11	5	15	1	6
			16.7%	45.0%	6.7%	28.3%	33.3%	18.3%	8.3%	25.0%	1.7%	10.0%
	30歳代	74	20	43	10	23	29	21	11	23	2	7
			27.0%	58.1%	13.5%	31.1%	39.2%	28.4%	14.9%	31.1%	2.7%	9.5%
	40歳代	112	28	73	19	25	40	21	10	39	1	14
		25.0%	65.2%	17.0%	22.3%	35.7%	18.8%	8.9%	34.8%	0.9%	12.5%	
50歳代	124	39	73	18	30	41	30	10	45	2	12	
		31.5%	58.9%	14.5%	24.2%	33.1%	24.2%	8.1%	36.3%	1.6%	9.7%	
60歳代	158	47	93	20	31	40	40	33	27	41	1	15
		29.7%	58.9%	12.7%	19.6%	25.3%	25.3%	20.9%	17.1%	25.9%	0.6%	9.5%
70歳以上	131	25	77	12	18	21	21	26	21	42	1	14
		19.1%	58.8%	9.2%	13.7%	16.0%	16.0%	19.8%	16.0%	32.1%	0.8%	10.7%

■問 11 前回比較



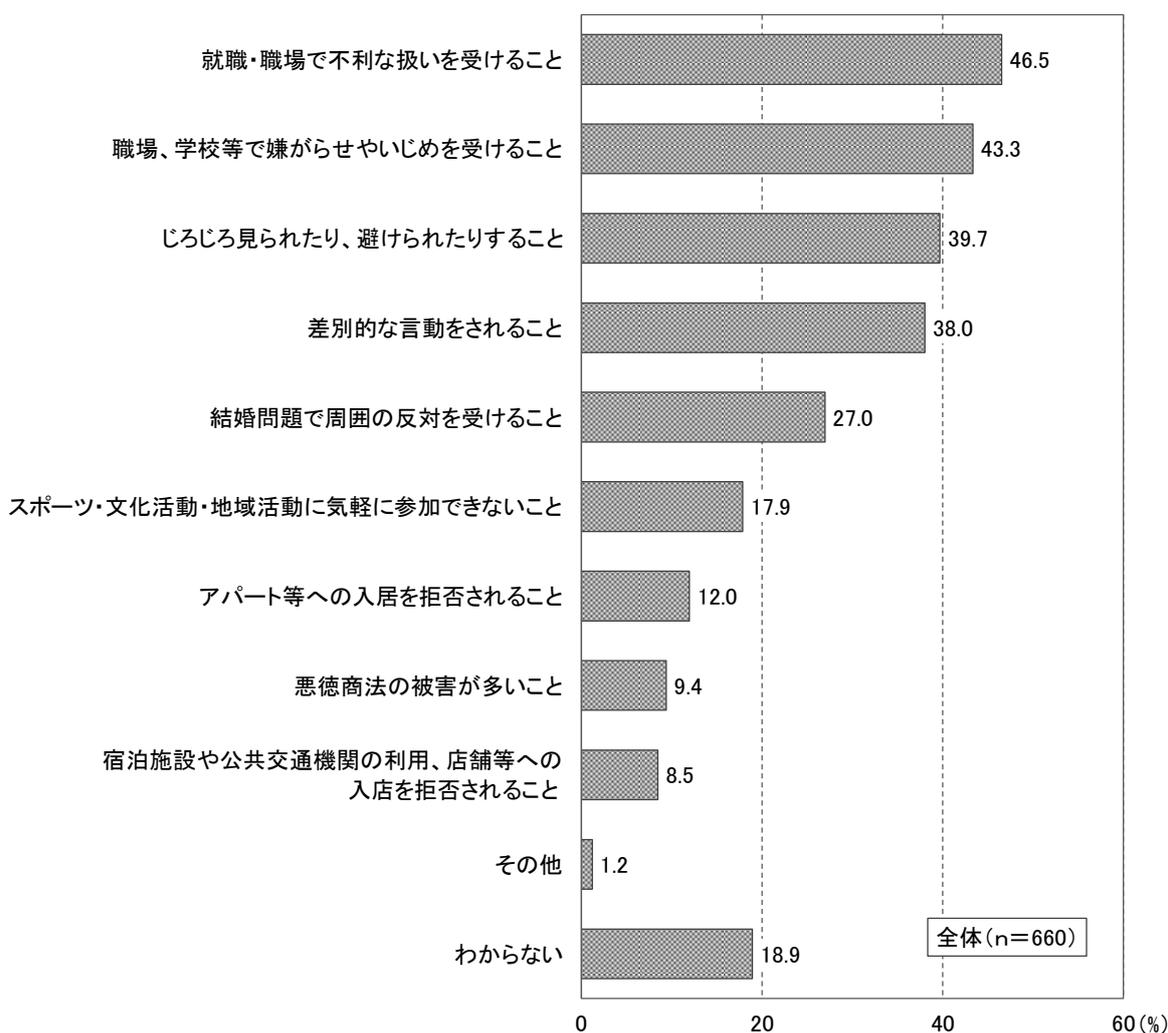
※「差別的な言動をされること」・「アパート等への入居を拒否されること」については、前回調査には選択肢がありません。

5. 障害のある人の人権について

問 12

あなたは、障害のある人に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

「就職・職場で不利な扱いを受けること」が46.5%と最も高く、次いで、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(43.3%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(39.7%)の順となっています。



		職場、学 校等で嫌 がらせや いじめを受 けること	結婚問題 で周囲の受 けられること	就職・職 場での不利 な扱いを受 けること	差別的な 言動をさ れること	悪徳商法 の被害が 多いこと	アパート 等への入 居を拒否 されること	宿泊施設 や公共交 通機関の 利用、店 舗等への 入店を拒 否されること	スポーツ・ 文化活 動・地域 活動に気 軽に参加 できないこ と	じろじろ見 られたり、 避けられ たりするこ と	その他	わからな い	
	全体 (n=)	660 43.3%	178 27.0%	307 46.5%	251 38.0%	62 9.4%	79 12.0%	56 8.5%	118 17.9%	262 39.7%	8 1.2%	125 18.9%	
性別	男性	291 41.9%	62 21.3%	134 46.0%	103 35.4%	27 9.3%	32 11.0%	24 8.2%	48 16.5%	103 35.4%	4 1.4%	55 18.9%	
	女性	367 44.7%	116 31.6%	172 46.9%	147 40.1%	35 9.5%	47 12.8%	32 8.7%	70 19.1%	158 43.1%	4 1.1%	69 18.8%	
年齢	10～20歳代	60 51.7%	10 16.7%	28 46.7%	28 46.7%	4 6.7%	4 6.7%	5 8.3%	10 16.7%	32 53.3%	0 0.0%	6 10.0%	
	30歳代	74 50.0%	24 32.4%	35 47.3%	37 50.0%	11 14.9%	9 12.2%	6 8.1%	15 20.3%	35 47.3%	0 0.0%	13 17.6%	
	40歳代	112 52.7%	33 29.5%	58 51.8%	54 48.2%	15 13.4%	17 15.2%	11 9.8%	11 9.8%	20 17.9%	52 46.4%	0 0.0%	16 14.3%
	50歳代	124 46.0%	57 46.0%	42 33.9%	65 52.4%	48 38.7%	11 8.9%	20 16.1%	16 12.9%	17 13.7%	56 45.2%	2 1.6%	20 16.1%
	60歳代	158 39.2%	62 39.2%	43 27.2%	78 49.4%	47 29.7%	7 4.4%	16 10.1%	11 7.0%	32 20.3%	50 31.6%	4 2.5%	29 18.4%
	70歳以上	131 30.5%	40 30.5%	26 19.8%	43 32.8%	37 28.2%	14 10.7%	13 9.9%	7 5.3%	24 18.3%	37 28.2%	2 1.5%	40 30.5%

■問 12 前回比較（参考）

問12 あなたは、障害のある人に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

		今回 (R3) n=660	前回 (H27) n=753
1	就職・職場で不利な扱いを受けること	46.5%	49.8%
2	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	43.3%	—
3	じろじろ見られたり、避けられたりすること	39.7%	32.8%
4	差別的な言動をされること	38.0%	32.5%
5	結婚問題で周囲の反対を受けること	27.0%	16.3%
6	スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	17.9%	15.3%
7	アパート等への入居を拒否されること	12.0%	—
8	悪徳商法の被害が多いこと	9.4%	26.2%
9	宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	8.5%	—
10	その他	1.2%	0.9%
11	わからない	18.9%	10.9%
前回	障害のある人の暮らしに適した生活環境の整備が不十分であること	—	38.5%

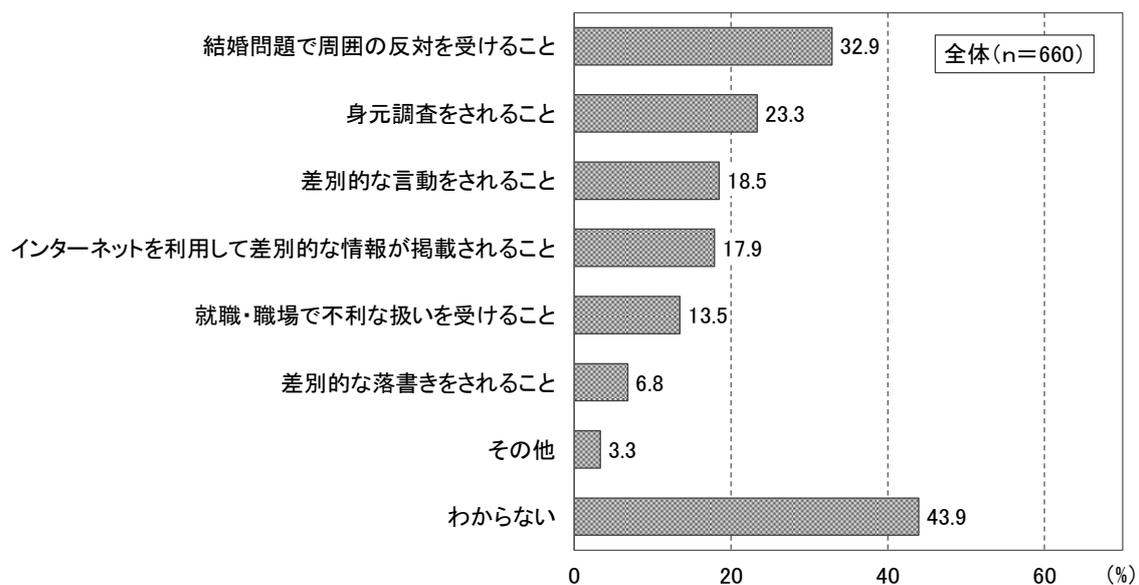
※前回は、設問は同じながら選択肢が異なるため、参考比較とします。

6. 同和問題について

問 13

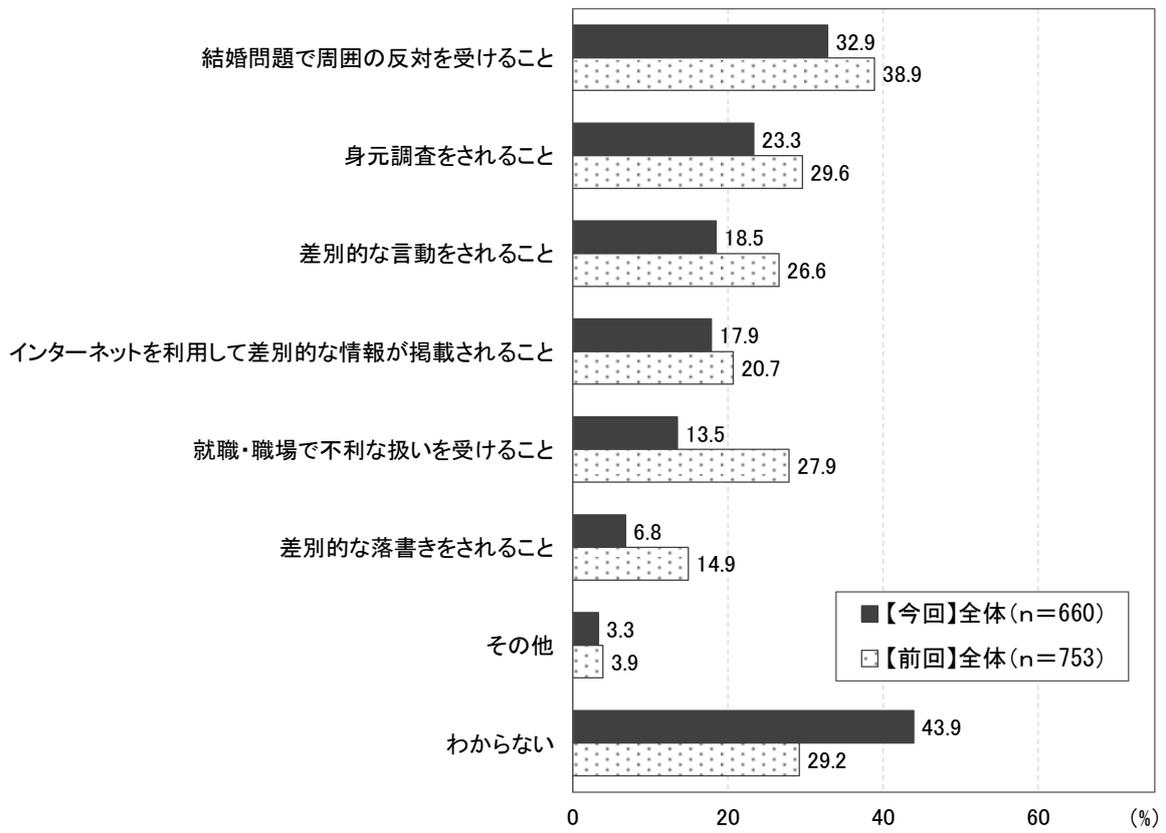
あなたは、部落差別等の同和問題に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

「わからない」が43.9%と最も高くなっていますが、回答者が認識していることで見ると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」が32.9%と最も高く、次いで、「身元調査をされること」(23.3%)、「差別的な言動をされること」(18.5%)の順となっています。



		(n=)	結婚問題 で周囲の 反対を受 けること	就職・職 場で不利 な扱いを 受けること	差別的な 言動をさ れること	差別的な 落書きを されること	身元調査 をされるこ と	インター ネットを利 用して差 別的な情 報が掲載 されること	その他	わから ない
全 体		660	217 32.9%	89 13.5%	122 18.5%	45 6.8%	154 23.3%	118 17.9%	22 3.3%	290 43.9%
性 別	男性	291	89 30.6%	41 14.1%	54 18.6%	19 6.5%	63 21.6%	54 18.6%	12 4.1%	123 42.3%
	女性	367	128 34.9%	48 13.1%	68 18.5%	26 7.1%	91 24.8%	64 17.4%	10 2.7%	165 45.0%
年 齢	10～20歳代	60	15 25.0%	13 21.7%	15 25.0%	5 8.3%	8 13.3%	8 13.3%	4 6.7%	27 45.0%
	30歳代	74	27 36.5%	13 17.6%	21 28.4%	11 14.9%	18 24.3%	21 28.4%	1 1.4%	34 45.9%
	40歳代	112	49 43.8%	22 19.6%	22 19.6%	9 8.0%	27 24.1%	15 13.4%	2 1.8%	47 42.0%
	50歳代	124	40 32.3%	17 13.7%	21 16.9%	9 7.3%	32 25.8%	29 23.4%	4 3.2%	53 42.7%
	60歳代	158	47 29.7%	12 7.6%	21 13.3%	4 2.5%	38 24.1%	24 15.2%	8 5.1%	72 45.6%
	70歳以上	131	39 29.8%	12 9.2%	22 16.8%	7 5.3%	31 23.7%	21 16.0%	3 2.3%	56 42.7%

■問 13 前回比較

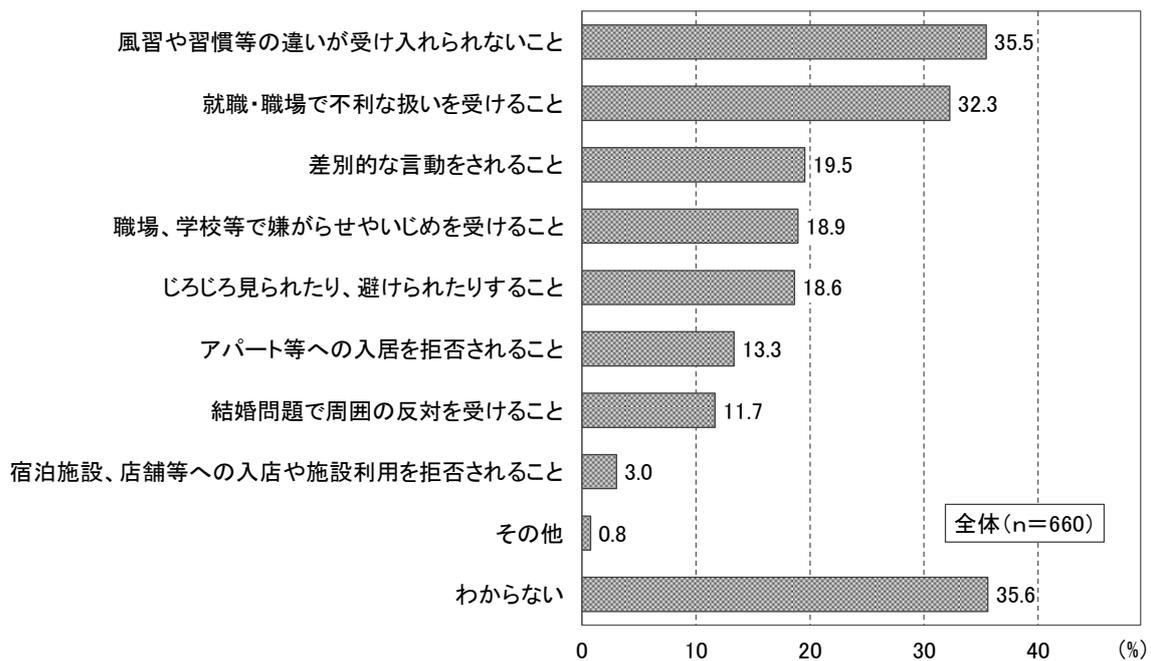


7. 外国人の人権について

問 14

あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

「わからない」が35.6%と最も高くなっていますが、回答者が認識していることで見ると、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が35.5%と最も高く、次いで、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(32.3%)、「差別的な言動をされること」(19.5%)の順となっています。



		(n=)	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	その他	わからない
全 体		660	125 18.9%	77 11.7%	213 32.3%	129 19.5%	88 13.3%	20 3.0%	234 35.5%	123 18.6%	5 0.8%	235 35.6%
性 別	男性	291	51 17.5%	26 8.9%	92 31.6%	44 15.1%	35 12.0%	10 3.4%	100 34.4%	48 16.5%	2 0.7%	101 34.7%
	女性	367	74 20.2%	51 13.9%	120 32.7%	85 23.2%	53 14.4%	10 2.7%	134 36.5%	75 20.4%	3 0.8%	133 36.2%
年 齢	10～20歳代	60	16 26.7%	8 13.3%	18 30.0%	14 23.3%	11 18.3%	2 3.3%	21 35.0%	14 23.3%	0 0.0%	16 26.7%
	30歳代	74	17 23.0%	10 13.5%	28 37.8%	27 36.5%	11 14.9%	5 6.8%	33 44.6%	20 27.0%	0 0.0%	22 29.7%
	40歳代	112	25 22.3%	12 10.7%	33 29.5%	19 17.0%	18 16.1%	3 2.7%	38 33.9%	19 17.0%	0 0.0%	38 33.9%
	50歳代	124	21 16.9%	15 12.1%	42 33.9%	24 19.4%	22 17.7%	3 2.4%	48 38.7%	23 18.5%	2 1.6%	44 35.5%
	60歳代	158	24 15.2%	16 10.1%	53 33.5%	26 16.5%	15 9.5%	3 1.9%	55 34.8%	26 16.5%	1 0.6%	56 35.4%
	70歳以上	131	22 16.8%	16 12.2%	39 29.8%	19 14.5%	11 8.4%	4 3.1%	39 29.8%	21 16.0%	2 1.5%	58 44.3%

■問 14 前回比較（参考）

問14 あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

		今回(R3) n=660	前回(H27) n=753
1	風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	35.5%	36.0%
2	就職・職場で不利な扱いを受けること	32.3%	21.8%
3	差別的な言動をされること	19.5%	—
4	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	18.9%	—
5	じろじろ見られたり、避けられたりすること	18.6%	—
6	アパート等への入居を拒否されること	13.3%	14.5%
7	結婚問題で周囲の反対を受けること	11.7%	—
8	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	3.0%	10.1%
9	その他	0.8%	1.6%
10	わからない	35.6%	31.2%
前回	外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることが出来ない	—	22.7%
前回	外国人というだけで犯罪者のようにみられる	—	9.6%
前回	選挙権がないなど権利が制限されている	—	12.1%
前回	子どもに対して、自国の宗教や生活習慣にあった教育が行いにくい	—	8.4%
前回	学校教育において、外国人に対する日本語教育が十分に行われていない	—	7.7%

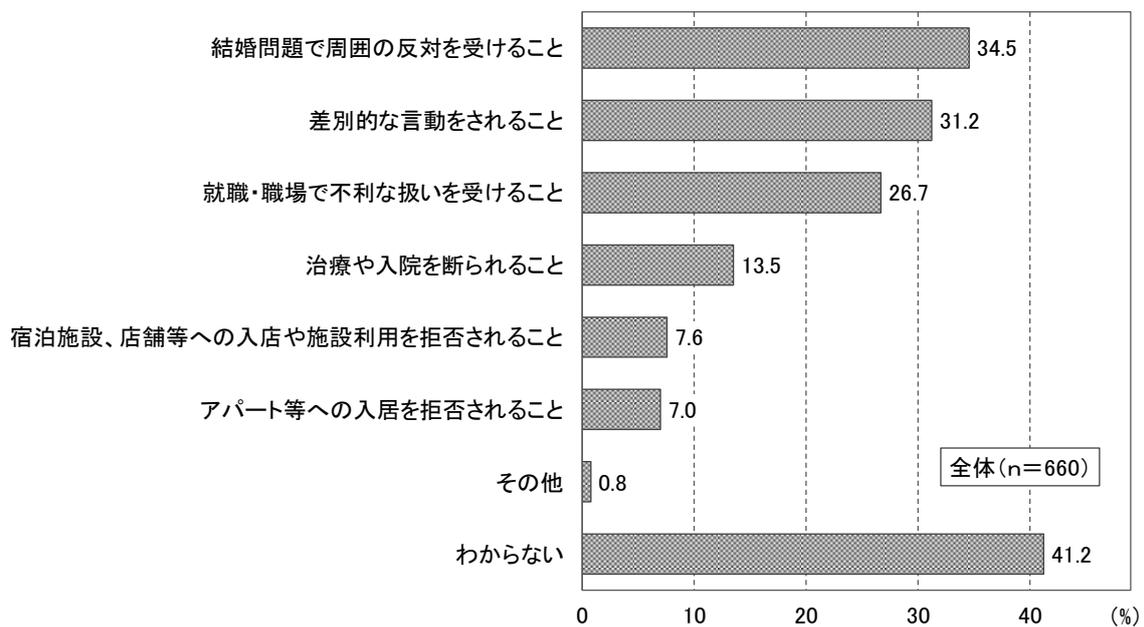
※前回は、設問は同じながら選択肢が異なるため、参考比較とします。

8. 感染症患者等の人権について

問 15

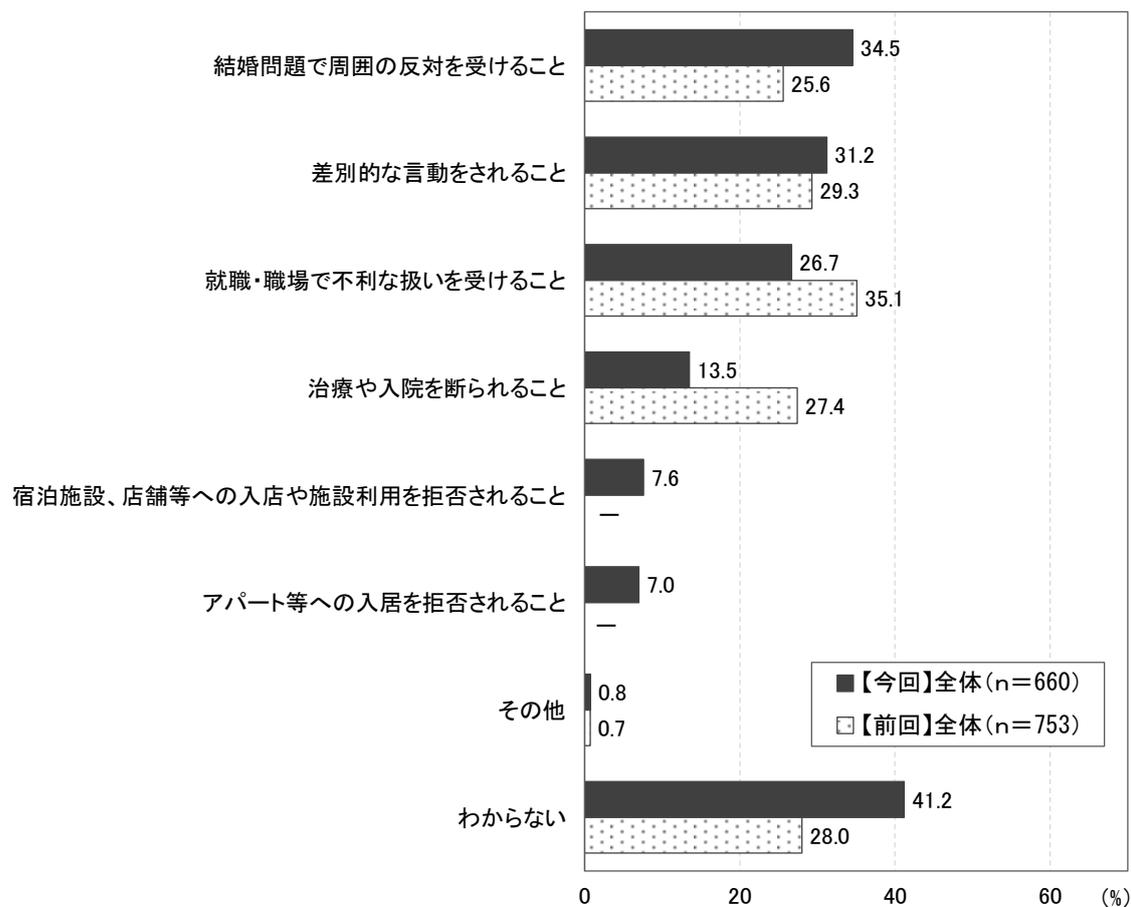
あなたは、HIV感染者やかつてハンセン病を患った人、難病患者等に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

「わからない」が41.2%と最も高くなっていますが、回答者が認識していることで見ると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」が34.5%と最も高く、次いで、「差別的な言動をされること」(31.2%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(26.7%)の順となっています。



	(n=)	結婚問題で周囲の反対を受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	治療や入院を断られること	差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	その他	わからない
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全 体	660	228 34.5%	176 26.7%	89 13.5%	206 31.2%	46 7.0%	50 7.6%	5 0.8%	272 41.2%
性 別	男性	291 80 27.5%	76 26.1%	30 10.3%	88 30.2%	24 8.2%	21 7.2%	4 1.4%	119 40.9%
	女性	367 148 40.3%	100 27.2%	58 15.8%	118 32.2%	22 6.0%	29 7.9%	1 0.3%	152 41.4%
年 齢	10～20歳代	60 19 31.7%	18 30.0%	13 21.7%	22 36.7%	1 1.7%	2 3.3%	0 0.0%	19 31.7%
	30歳代	74 30 40.5%	16 21.6%	16 21.6%	29 39.2%	7 9.5%	12 16.2%	1 1.4%	31 41.9%
	40歳代	112 45 40.2%	37 33.0%	13 11.6%	36 32.1%	8 7.1%	5 4.5%	0 0.0%	38 33.9%
	50歳代	124 46 37.1%	35 28.2%	22 17.7%	43 34.7%	11 8.9%	14 11.3%	0 0.0%	50 40.3%
	60歳代	158 48 30.4%	41 25.9%	15 9.5%	39 24.7%	9 5.7%	7 4.4%	3 1.9%	70 44.3%
	70歳以上	131 40 30.5%	29 22.1%	10 7.6%	37 28.2%	10 7.6%	10 7.6%	1 0.8%	63 48.1%

■問 15 前回比較



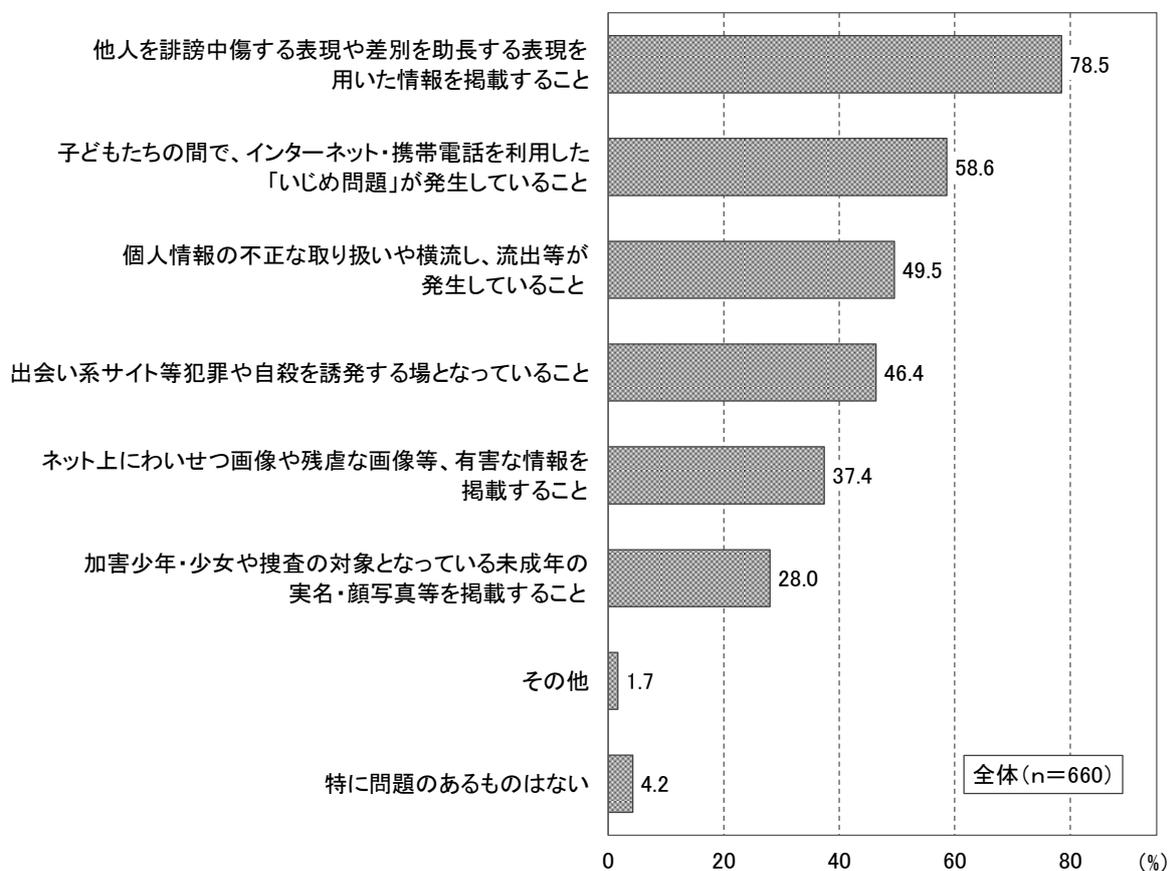
※「宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること」・「アパート等への入居を拒否されること」については、前回調査には選択肢がありません。

9. 情報化社会における人権侵害について

問 16

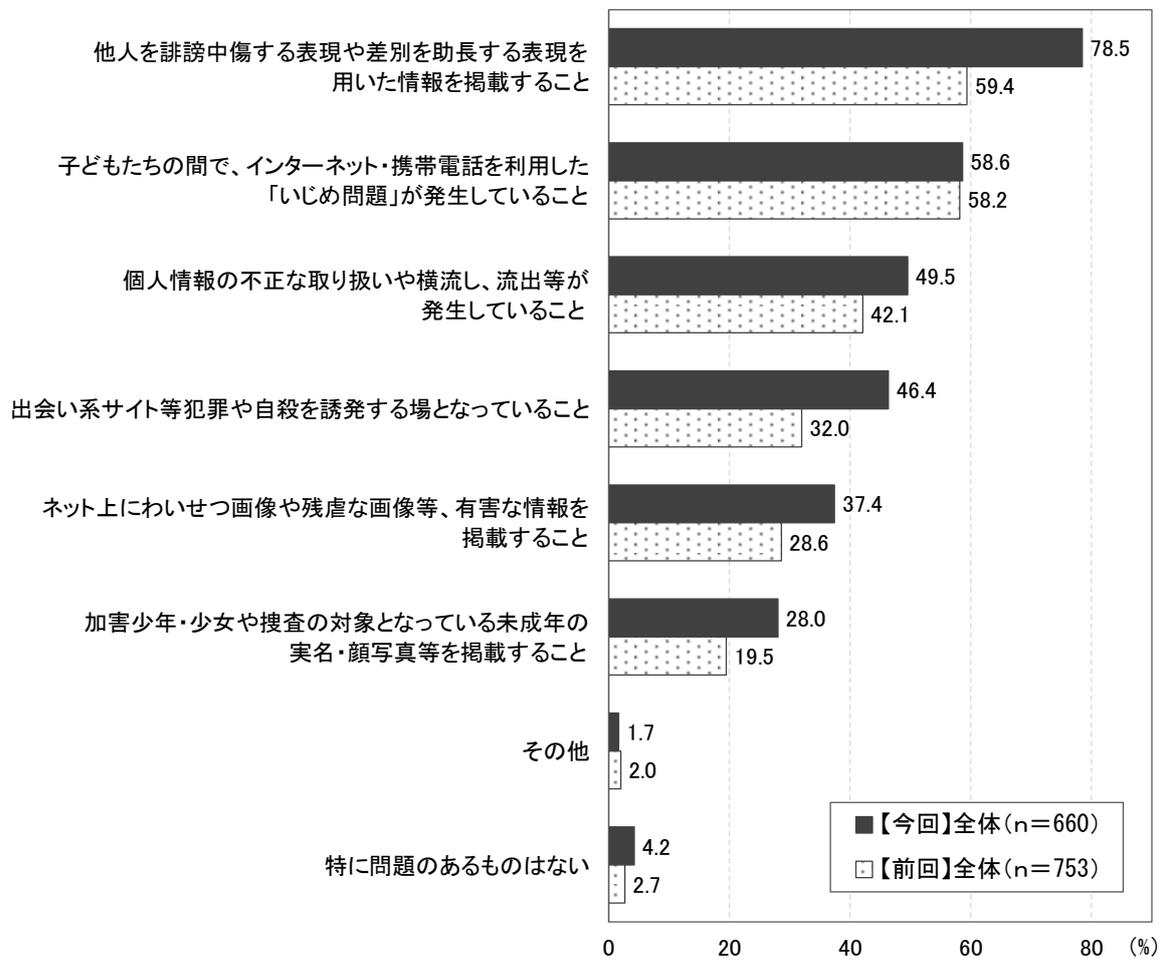
あなたは、インターネット等を利用した人権侵害やプライバシーに係る人権侵害に関して、現在、特にどのようなことが問題だと思えますか。
【複数回答可】

「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載すること」が78.5%と最も高く、次いで、「子どもたちの間で、インターネット・携帯電話を利用した「いじめ問題」が発生していること」(58.6%)、「個人情報の不正な取り扱いや横流し、流出等が発生していること」(49.5%)の順となっています。



	(n=)	他人を誹謗 中傷する表 現や差別を 助長する表 現を用いた 情報を掲載 すること	出会い系サ イト等犯罪 や自殺を誘 発する場と なっている こと	加害少年・ 少女や捜査 の対象とな っている未 成年の実 名・顔写真 等を掲載す ること	子どもたち の間で、イ ンターネッ ト・携帯電 話を利用し た「いじめ 問題」が発 生している こと	ネット上に わいせつ画 像や残虐な 画像等、有 害な情報を 掲載すること	個人情報の 不正な取り 扱いや横流 し、流出等 が発生して いること	その他	特に問題の あるものは ない
全体	660	518 78.5%	306 46.4%	185 28.0%	387 58.6%	247 37.4%	327 49.5%	11 1.7%	28 4.2%
性別									
男性	291	215 73.9%	122 41.9%	69 23.7%	155 53.3%	81 27.8%	135 46.4%	6 2.1%	14 4.8%
女性	367	302 82.3%	184 50.1%	116 31.6%	232 63.2%	166 45.2%	191 52.0%	4 1.1%	14 3.8%
年齢									
10～20歳代	60	49 81.7%	20 33.3%	19 31.7%	32 53.3%	20 33.3%	32 53.3%	0 0.0%	3 5.0%
30歳代	74	66 89.2%	34 45.9%	23 31.1%	57 77.0%	36 48.6%	42 56.8%	1 1.4%	2 2.7%
40歳代	112	94 83.9%	54 48.2%	39 34.8%	74 66.1%	45 40.2%	63 56.3%	2 1.8%	2 1.8%
50歳代	124	99 79.8%	67 54.0%	40 32.3%	75 60.5%	52 41.9%	70 56.5%	0 0.0%	1 0.8%
60歳代	158	126 79.7%	66 41.8%	41 25.9%	83 52.5%	53 33.5%	80 50.6%	2 1.3%	5 3.2%
70歳以上	131	84 64.1%	65 49.6%	23 17.6%	66 50.4%	41 31.3%	40 30.5%	5 3.8%	15 11.5%

■問 16 前回比較

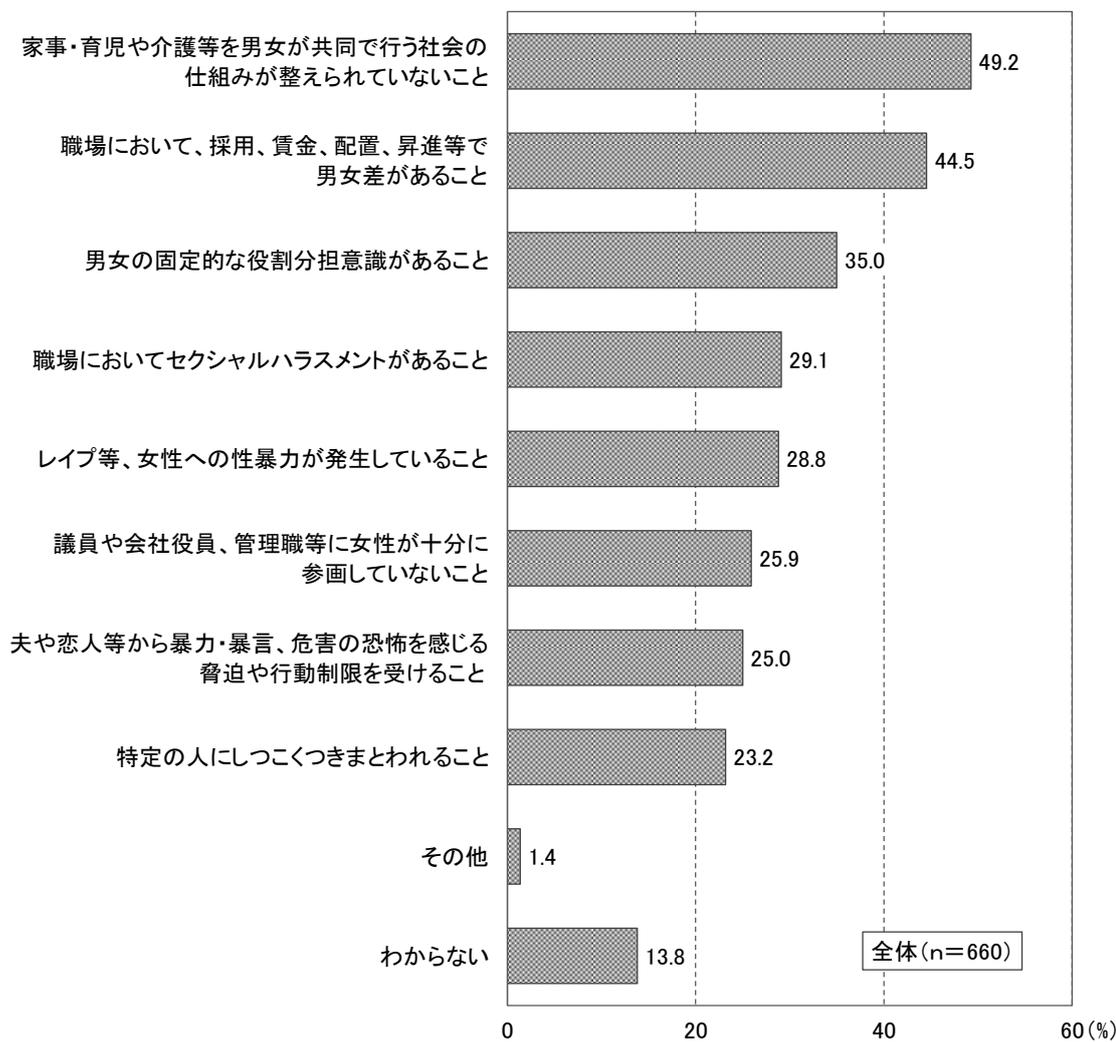


10. 女性の人権について

問 17

あなたは、女性に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

「家事・育児や介護等を男女が共同で行う社会の仕組みが整えられていないこと」が49.2%と最も高く、次いで、「職場において、採用、賃金、配置、昇進等で男女差があること」(44.5%)、「男女の固定的な役割分担意識があること」(35.0%)の順となっています。



		男女の固 定的な役 割分担意 識があるこ と	職場にお いて、採 用、賃金、 配置、昇進 等で男女 差があるこ と	家事・育児 や介護等 を男女が 共同で行う 社会の仕 組みが整 えられてい ないこと	議員や会 社役員、管 理職等に 女性が十 分に参画し ていないこ と	夫や恋人 等から暴 力・暴言、 危害の恐 怖を感じる 脅迫や行 動制限を 受けること	職場にお いてセク シャルハラ ズメントが あること	レイプ等、 女性への 性暴力が 発生してい ること	特定の人 にしこく つきまとわ れること	その他	わからない	
	全体 (n=)	231 35.0%	294 44.5%	325 49.2%	171 25.9%	165 25.0%	192 29.1%	190 28.8%	153 23.2%	9 1.4%	91 13.8%	
性別	男性	86 29.6%	114 39.2%	118 40.5%	69 23.7%	53 18.2%	79 27.1%	60 20.6%	56 19.2%	8 2.7%	42 14.4%	
	女性	145 39.5%	179 48.8%	206 56.1%	102 27.8%	112 30.5%	113 30.8%	130 35.4%	96 26.2%	1 0.3%	48 13.1%	
年齢	10～20歳代	24 40.0%	29 48.3%	28 46.7%	16 26.7%	12 20.0%	25 41.7%	16 26.7%	12 20.0%	0 0.0%	10 16.7%	
	30歳代	38 51.4%	36 48.6%	43 58.1%	22 29.7%	24 32.4%	30 40.5%	33 44.6%	22 29.7%	1 1.4%	7 9.5%	
	40歳代	38 33.9%	40 35.7%	57 50.9%	20 17.9%	30 26.8%	30 26.8%	31 27.7%	30 26.8%	23 20.5%	2 1.8%	15 13.4%
	50歳代	36 29.0%	54 43.5%	67 54.0%	28 22.6%	35 28.2%	34 27.4%	34 27.4%	39 31.5%	28 22.6%	1 0.8%	16 12.9%
	60歳代	60 38.0%	74 46.8%	73 46.2%	40 25.3%	42 26.6%	44 27.8%	44 27.8%	47 29.7%	40 25.3%	3 1.9%	16 10.1%
	70歳以上	35 26.7%	61 46.6%	57 43.5%	45 34.4%	22 16.8%	28 21.4%	28 21.4%	25 19.1%	28 21.4%	2 1.5%	26 19.8%

■問 17 前回比較（参考）

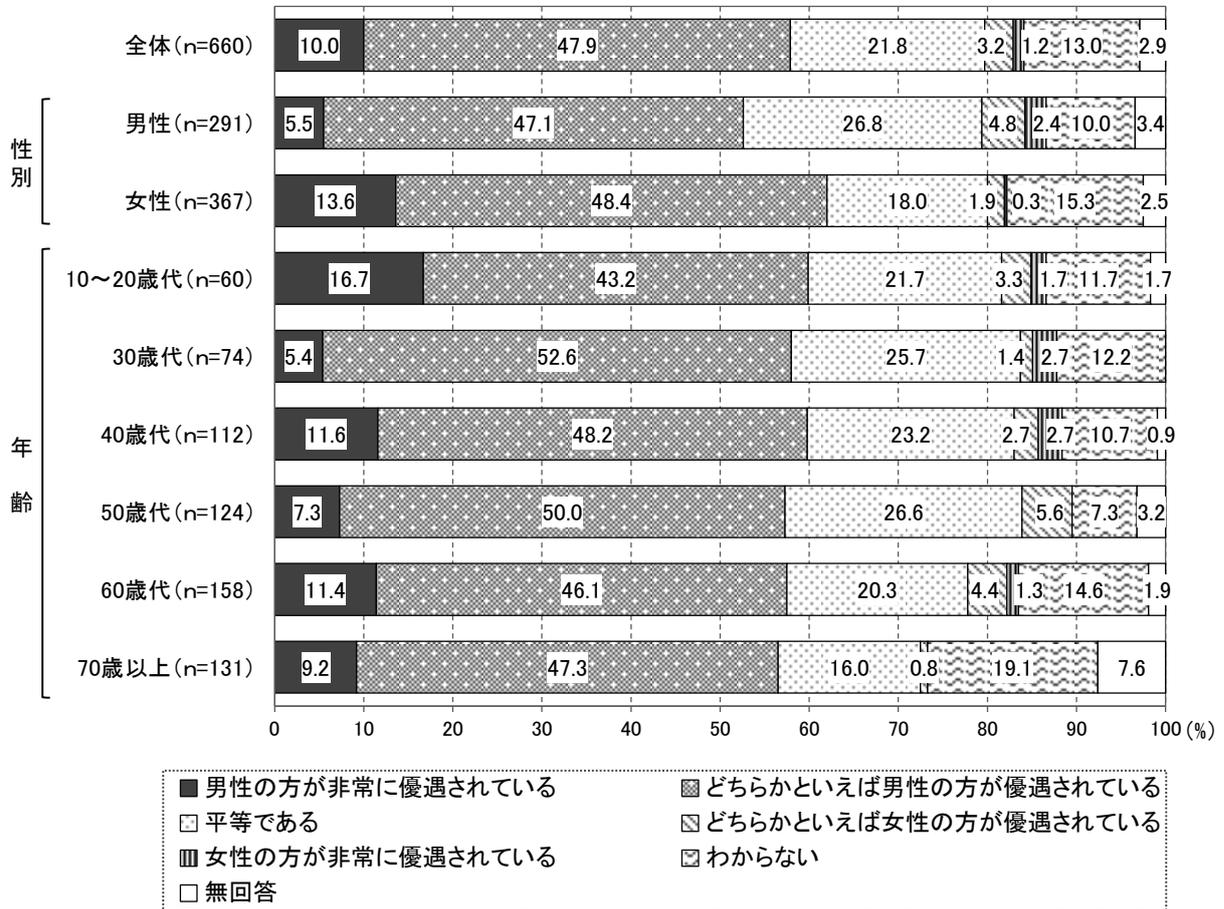
問17 あなたは、女性に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

		今回 (R3) n=660	前回 (H27) n=753
1	家事・育児や介護等を男女が共同で行う社会の仕組みが整えられていないこと	49.2%	44.8%
2	職場において、採用、賃金、配置、昇進等で男女差があること	44.5%	39.8%
3	男女の固定的な役割分担意識があること	35.0%	31.9%
4	職場においてセクシャルハラスメントがあること	29.1%	—
5	レイプ等、女性への性暴力が発生していること	28.8%	—
6	議員や会社役員、管理職等に女性が十分に参画していないこと	25.9%	18.3%
7	夫や恋人等から暴力・暴言、危害の恐怖を感じる脅迫や行動制限を受けること	25.0%	—
8	特定の人にしつこくつきまとわれること	23.2%	—
9	その他	1.4%	1.5%
10	わからない	13.8%	12.0%
前回	セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)、パートナーからの暴力を受けること	—	39.6%
前回	売春、買春(いわゆる「援助交際」も含む)	—	16.3%
前回	女性の水着姿・裸体写真などを掲載した雑誌・新聞、広告、ビデオ	—	7.3%
前回	「夫人」「婦人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉が使われていること	—	6.1%

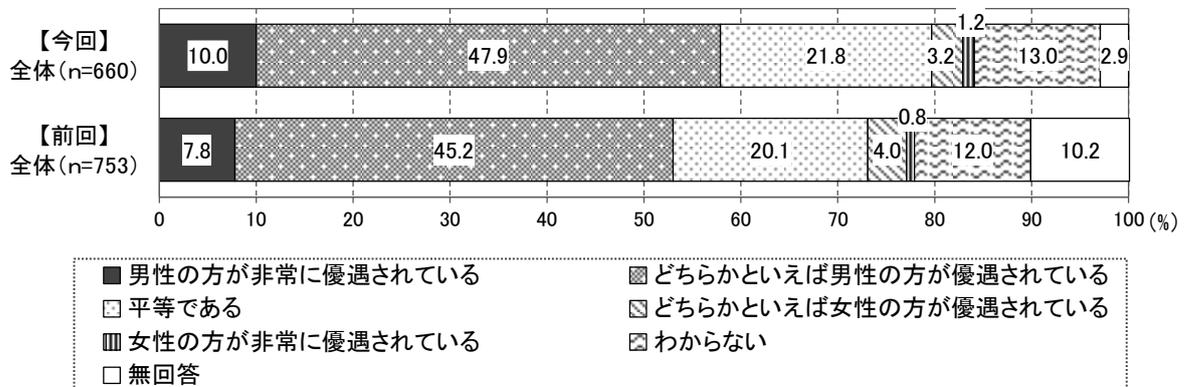
※前回は、設問は同じながら選択肢が異なるため、参考比較とします。

② 職場では

全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が47.9%と最も高く、次いで、「平等である」(21.8%)、「わからない」(13.0%)の順となっています。

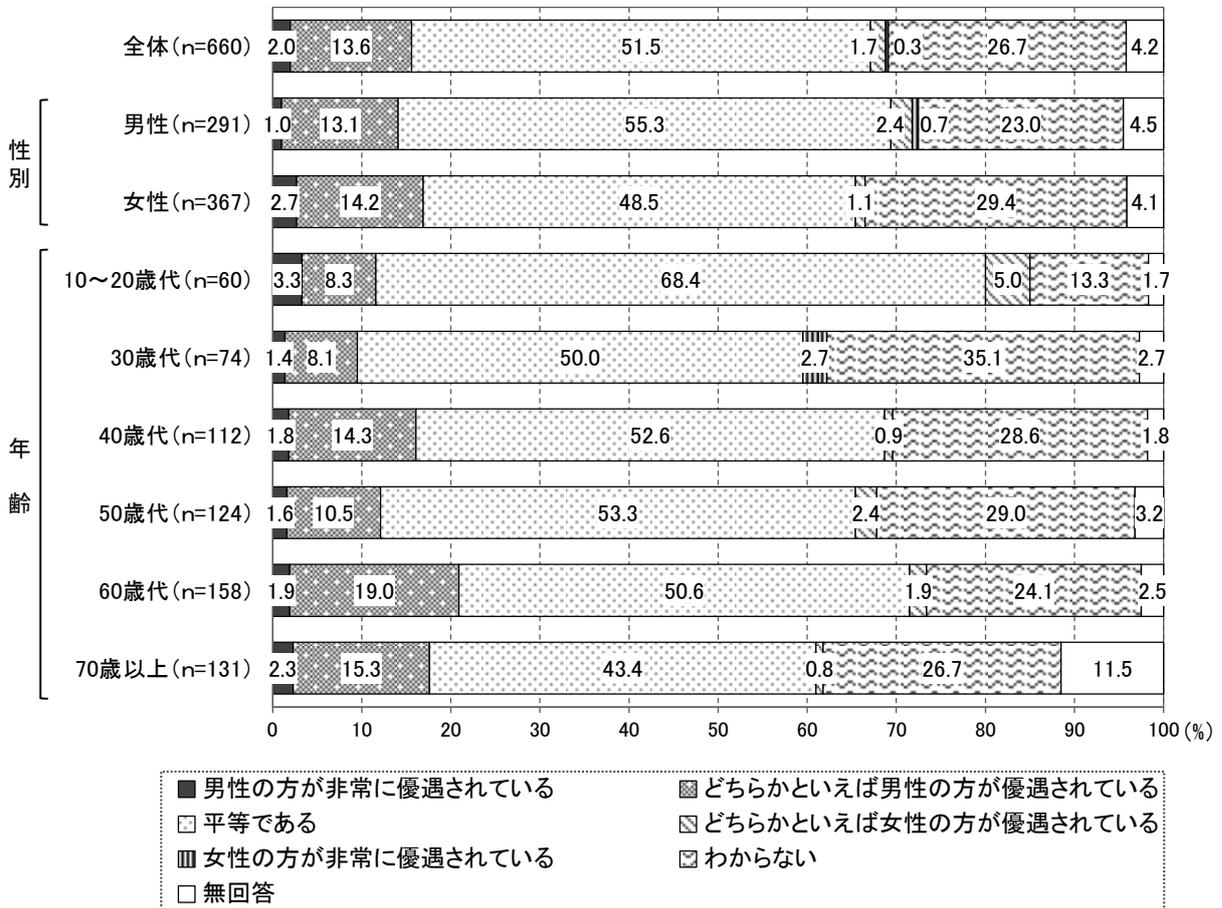


■問 18② 前回比較

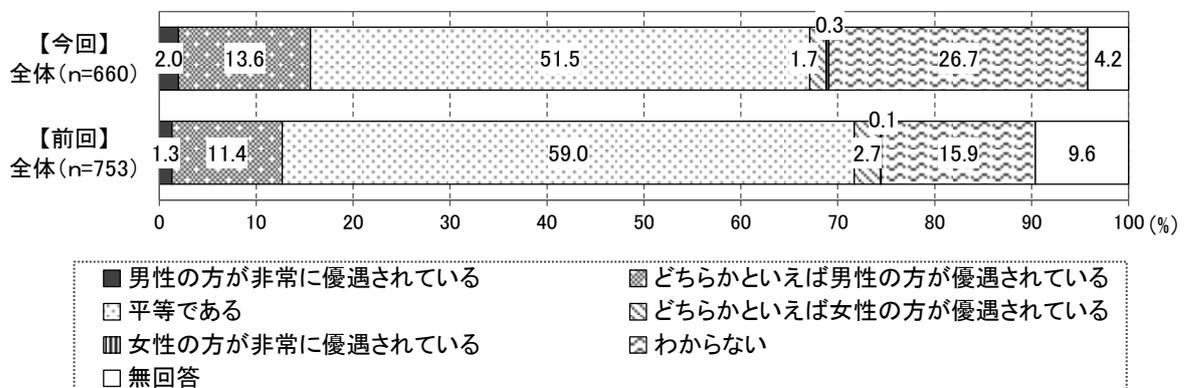


③ 学校教育の場では

全体では、「平等である」が51.5%と最も高く、次いで、「わからない」(26.7%)、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(13.6%)の順となっています。

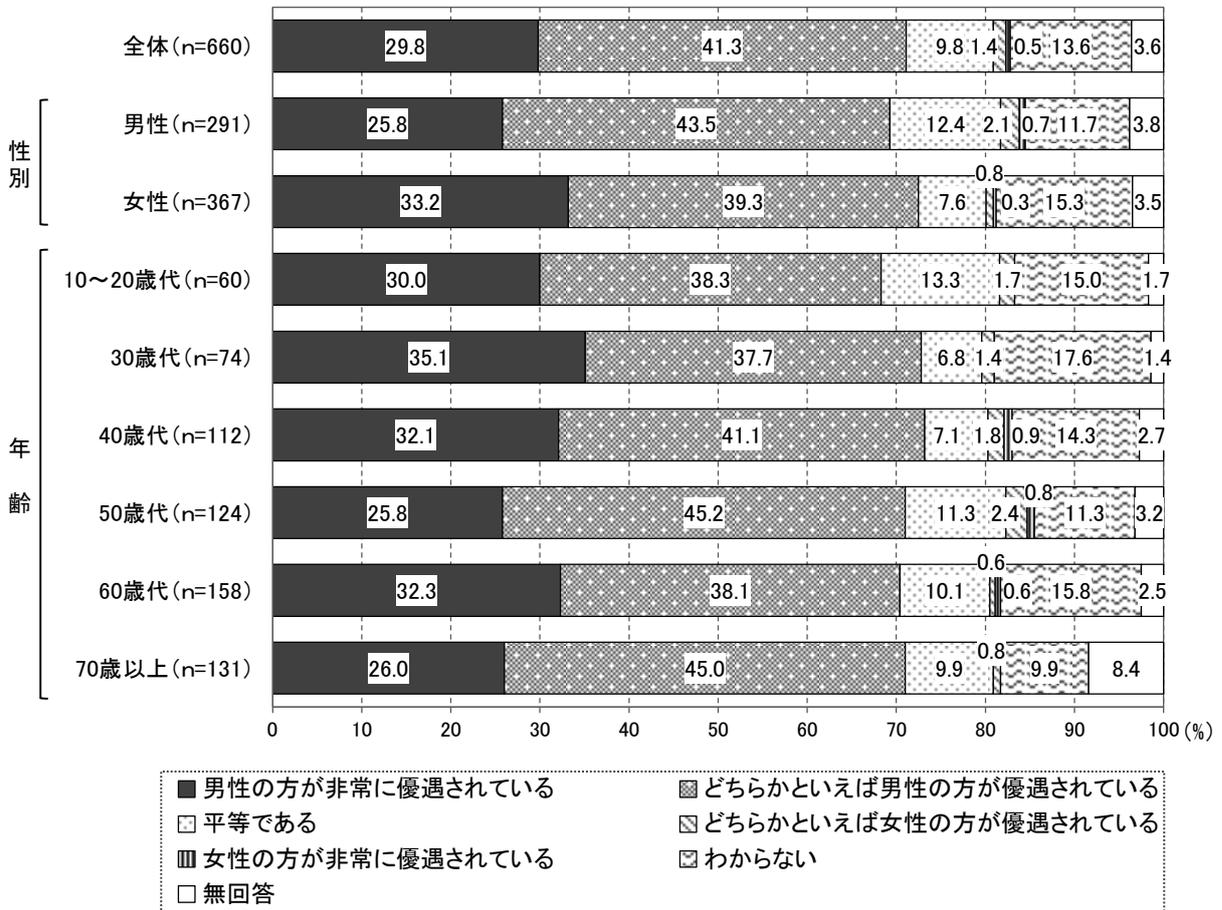


■ 問 18③ 前回比較

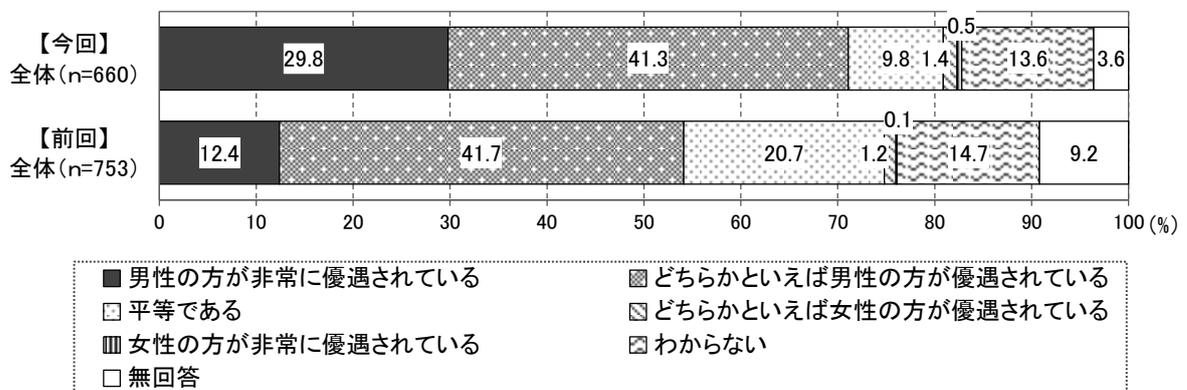


④ 政治の場では

全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が41.3%と最も高く、次いで、「男性の方が非常に優遇されている」(29.8%)、「わからない」(13.6%)の順となっています。

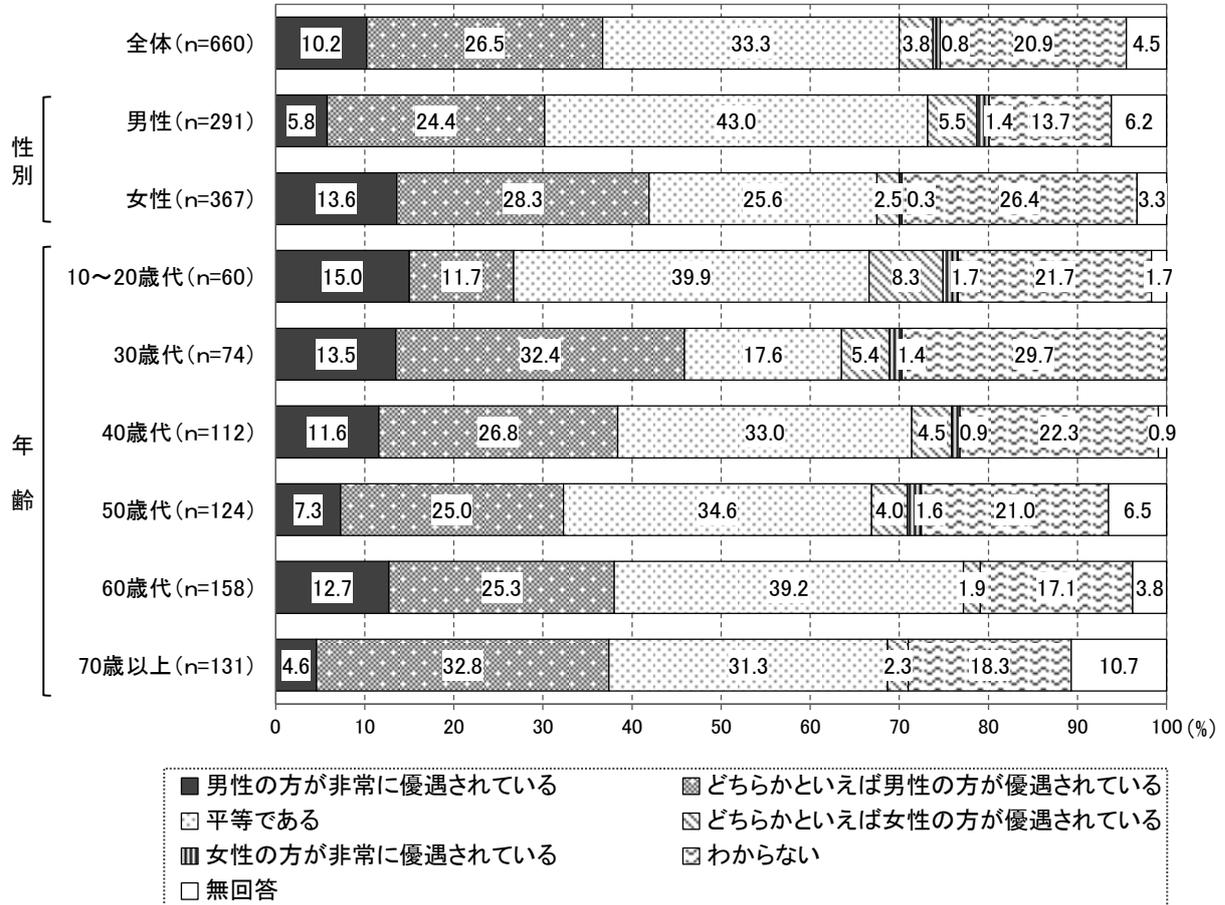


■ 問 18④ 前回比較

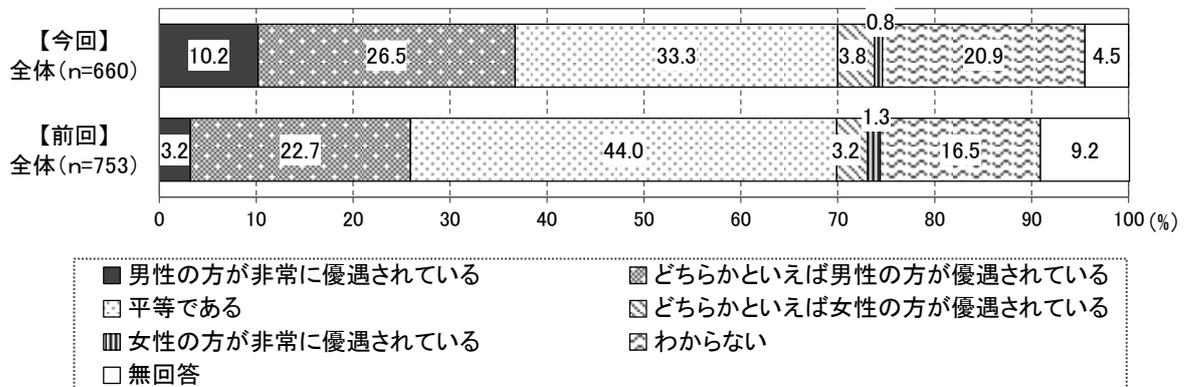


⑤ 法律や制度のうえでは

全体では、「平等である」が33.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(26.5%)、「わからない」(20.9%)の順となっています。

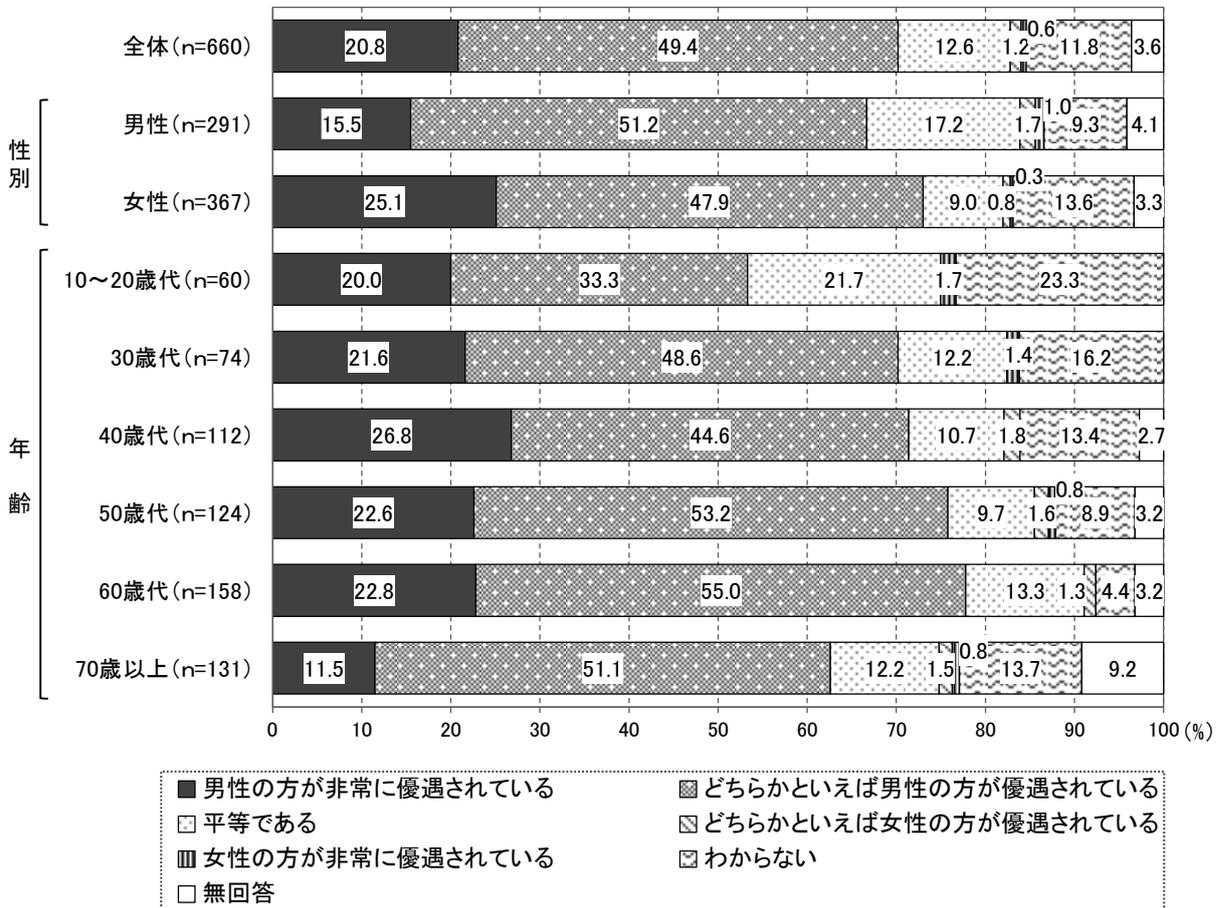


■ 問 18⑤ 前回比較

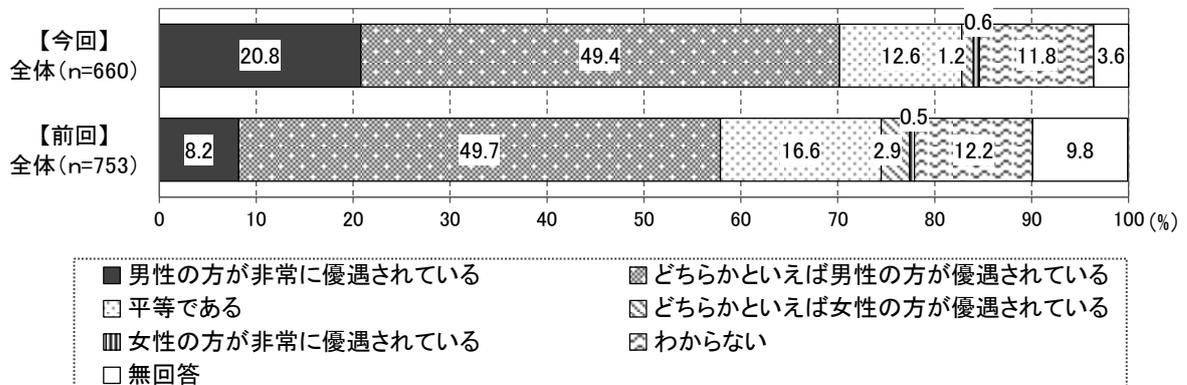


⑥ 社会通念・慣習・しきたり等では

全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が49.4%と最も高く、次いで、「男性の方が非常に優遇されている」(20.8%)、「平等である」(12.6%)の順となっています。

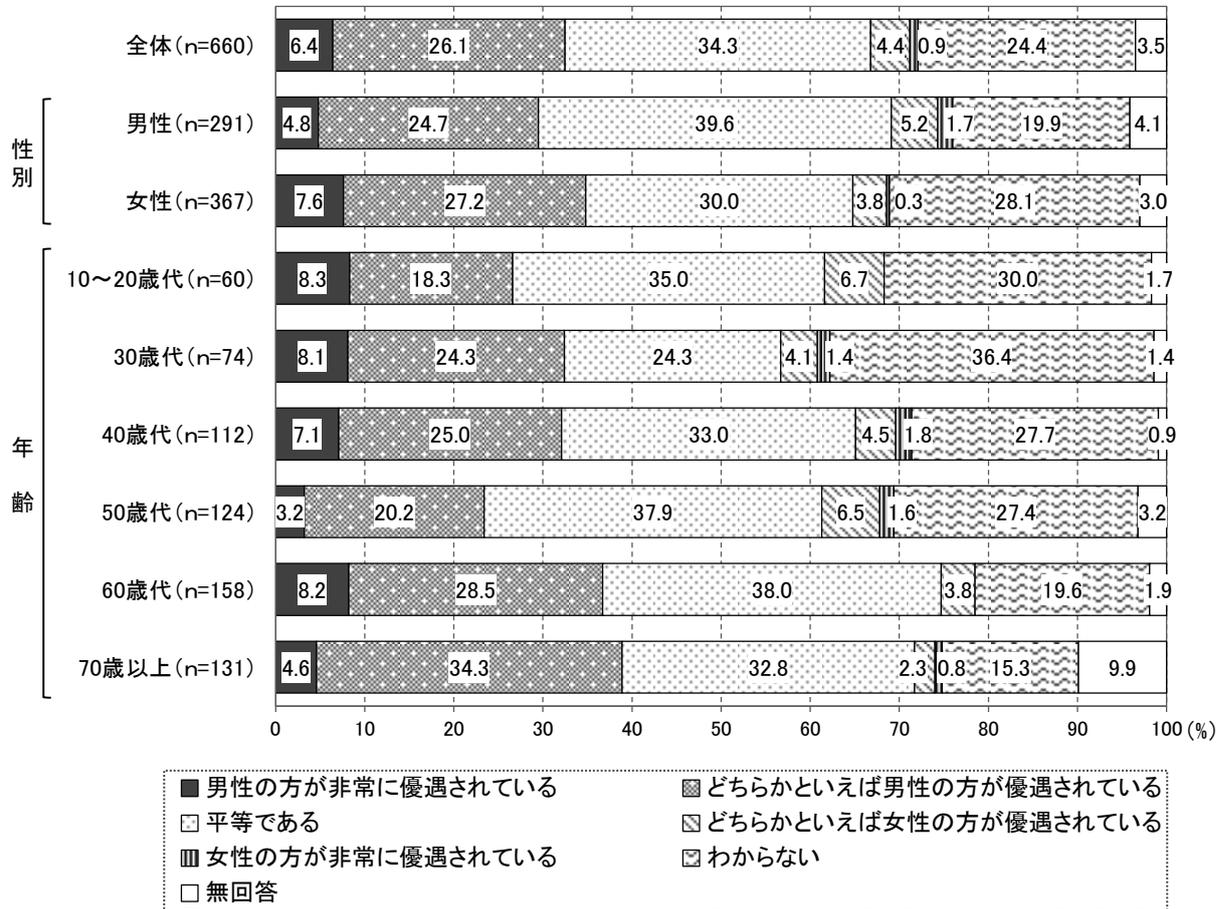


問 18⑥ 前回比較

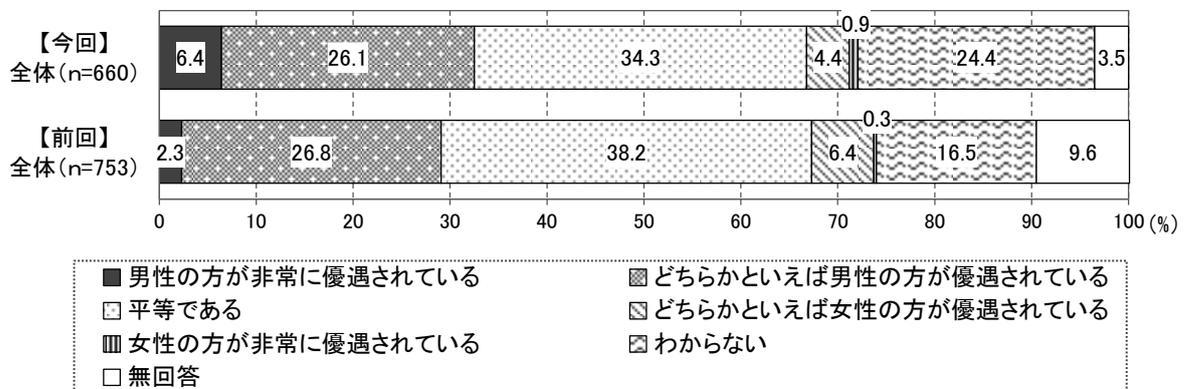


⑦ 自治会やPTA等の地域活動の場では

全体では、「平等である」が34.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(26.1%)、「わからない」(24.4%)の順となっています。

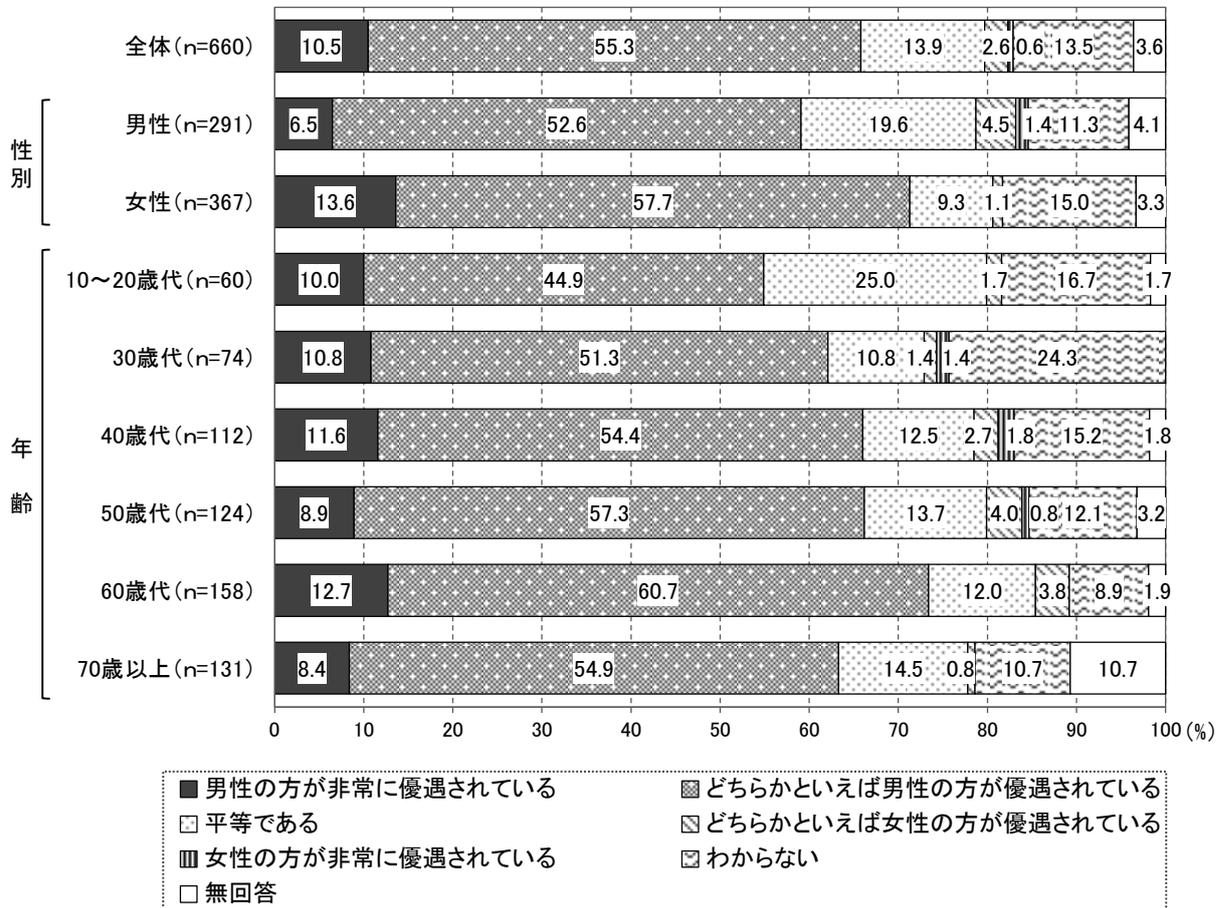


■問 18⑦ 前回比較

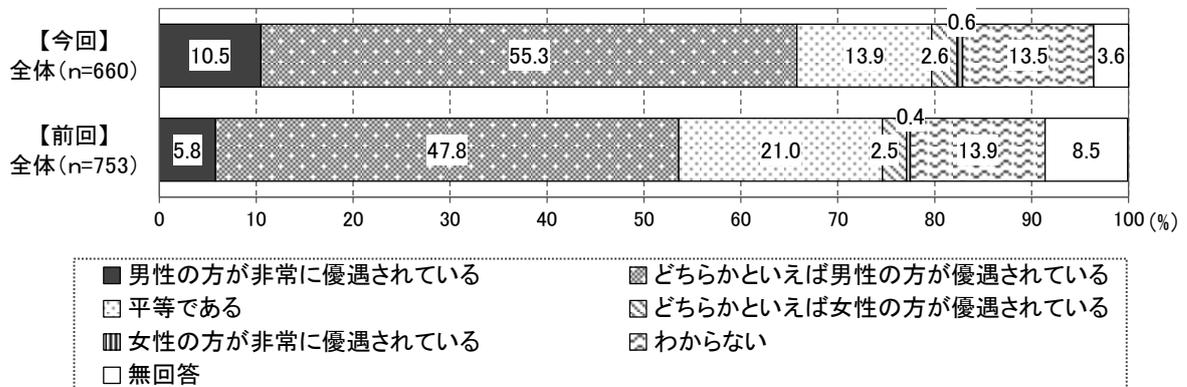


⑧ 社会全体では

全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が55.3%と最も高く、次いで、「平等である」(13.9%)、「わからない」(13.5%)の順となっています。



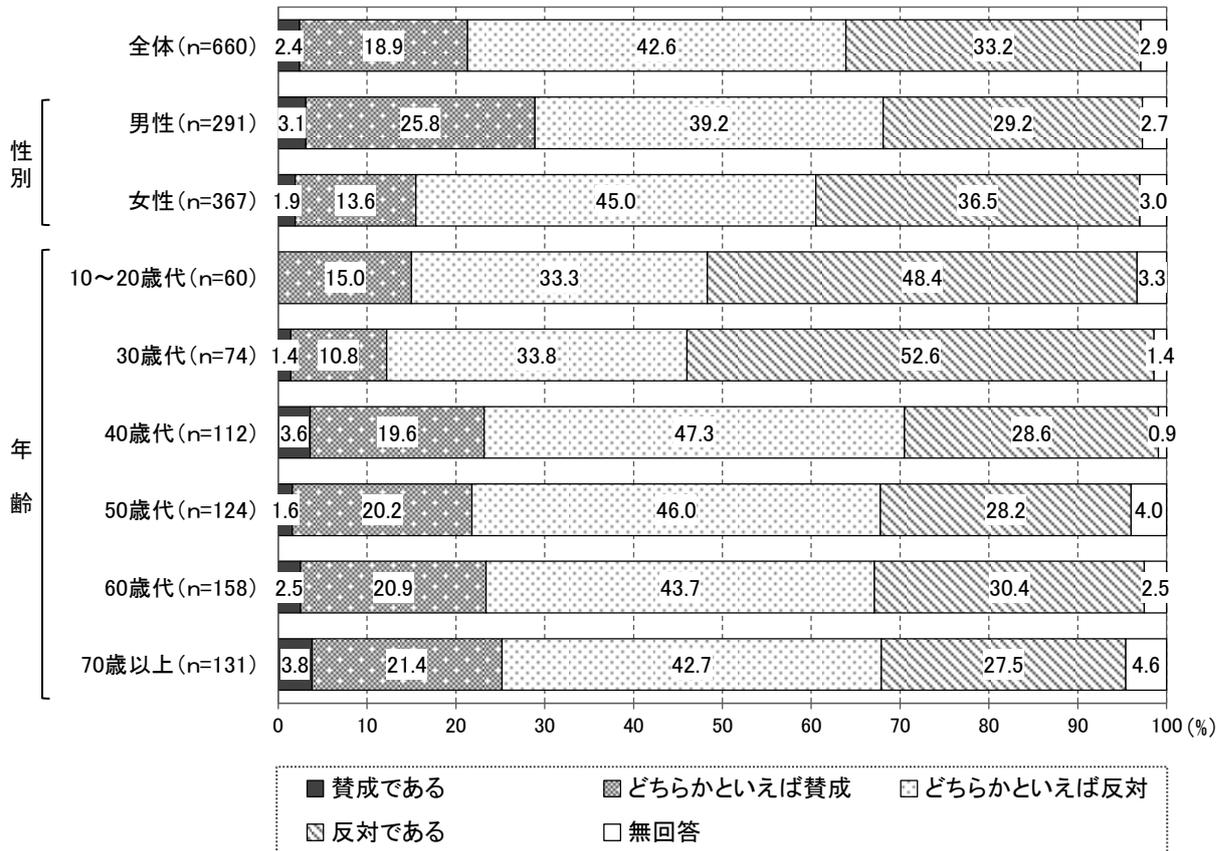
問 18⑧ 前回比較



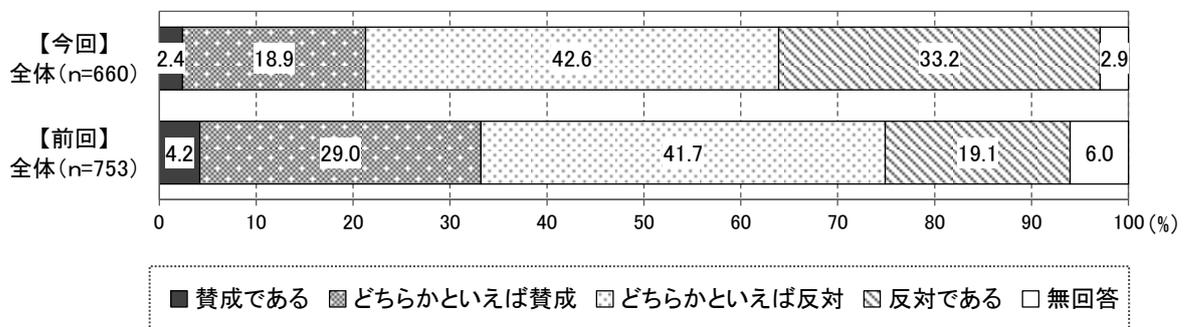
問 19

「男は仕事、女は家庭」に代表されるように、性別によって男女の役割を決めるような考え方について、あなたはどのように思いますか。

全体では、「どちらかといえば反対」が42.6%と最も高く、次いで、「反対である」(33.2%)、「どちらかといえば賛成」(18.9%)の順となっています。



■問 19 前回比較



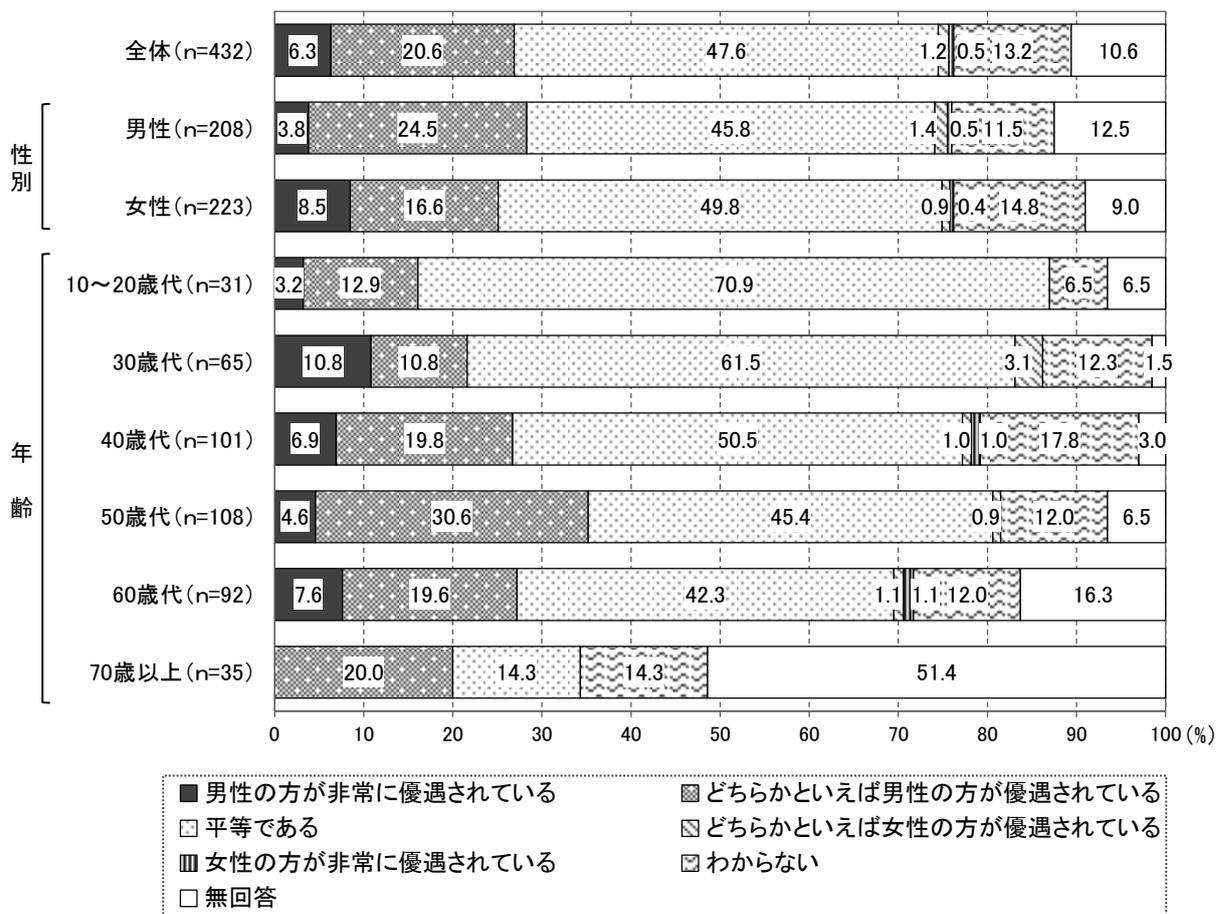
問 20

◆現在、就労されている方のみ。

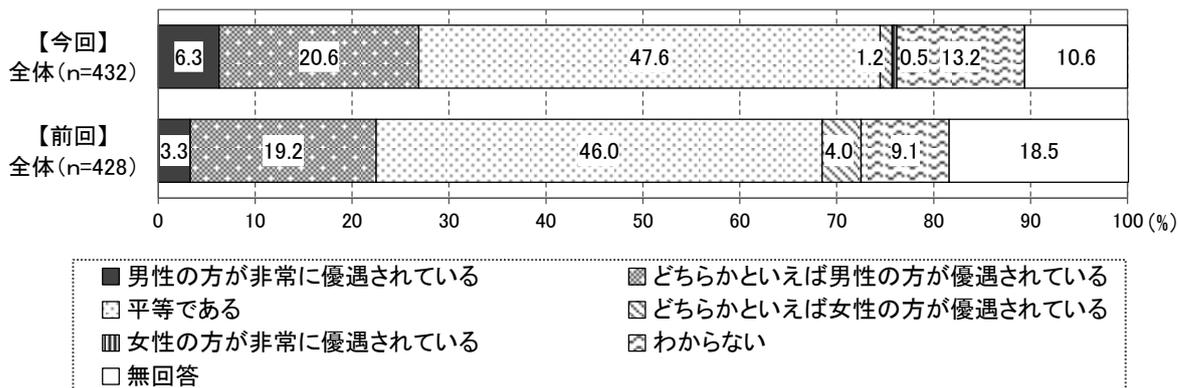
現在、あなたの働く場では、女性と男性は平等だと思いますか。次の項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

① 採用時の条件

全体では、「平等である」が47.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(20.6%)、「わからない」(13.2%)の順となっています。

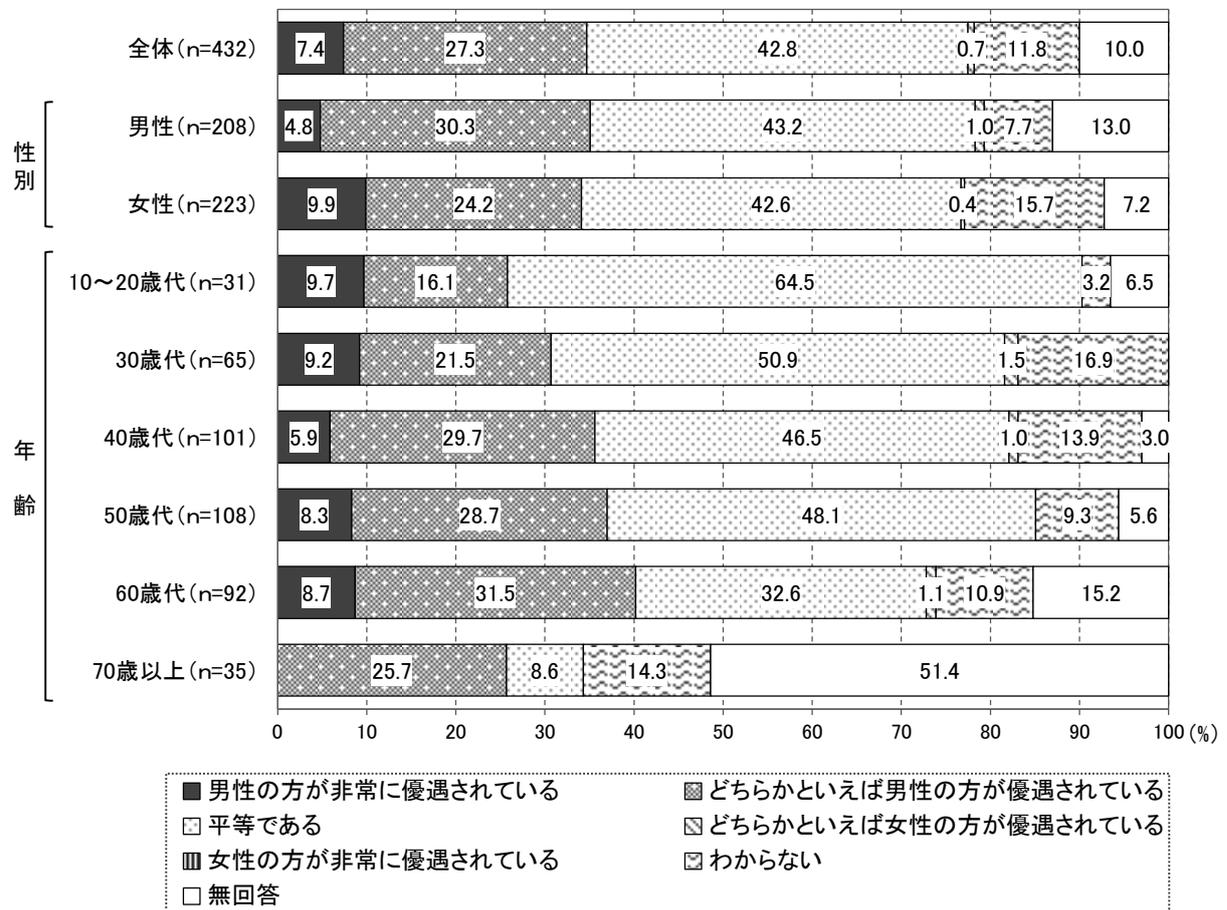


■問 20① 前回比較

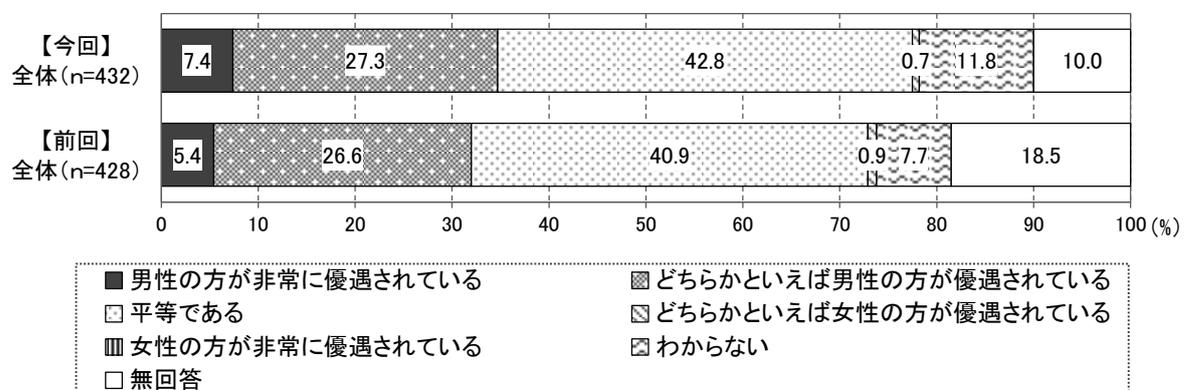


② 賃金

全体では、「平等である」が42.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(27.3%)、「わからない」(11.8%)の順となっています。

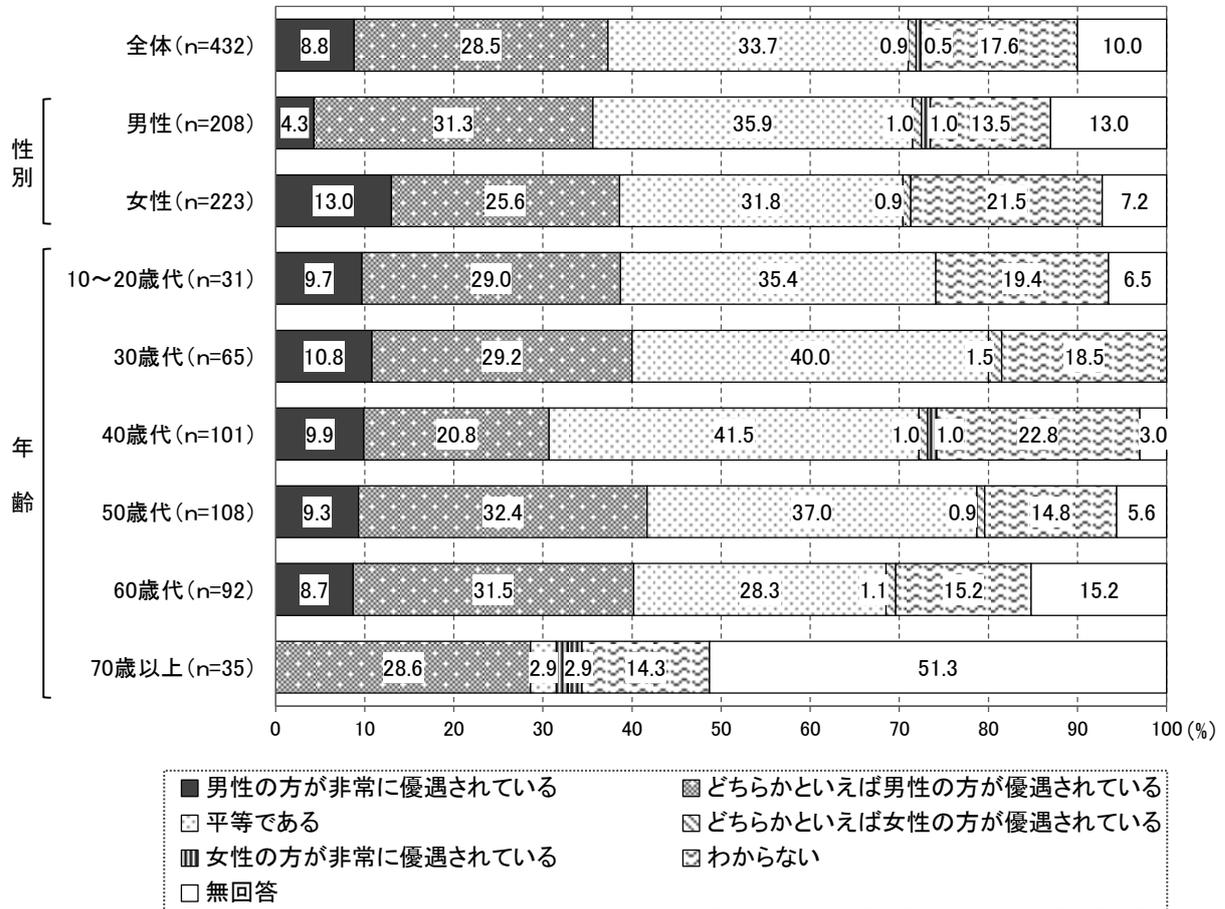


■問 20② 前回比較

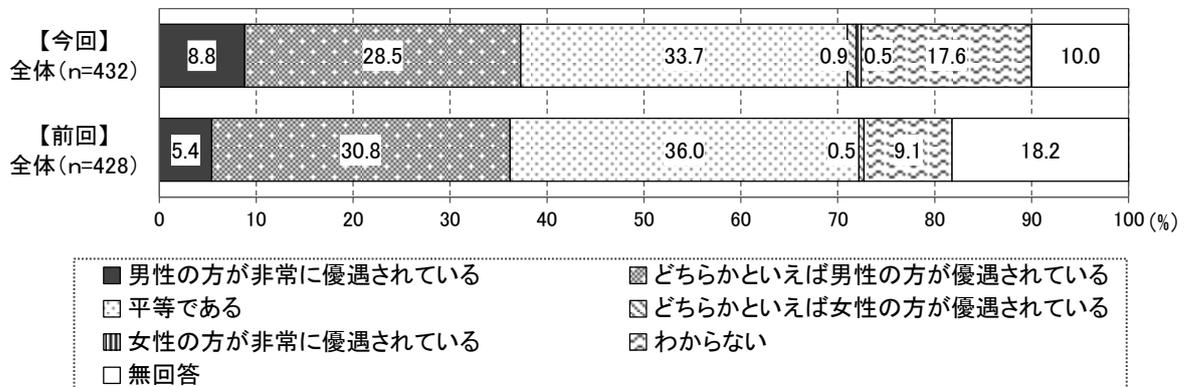


③ 昇進・昇給

全体では、「平等である」が33.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(28.5%)、「わからない」(17.6%)の順となっています。

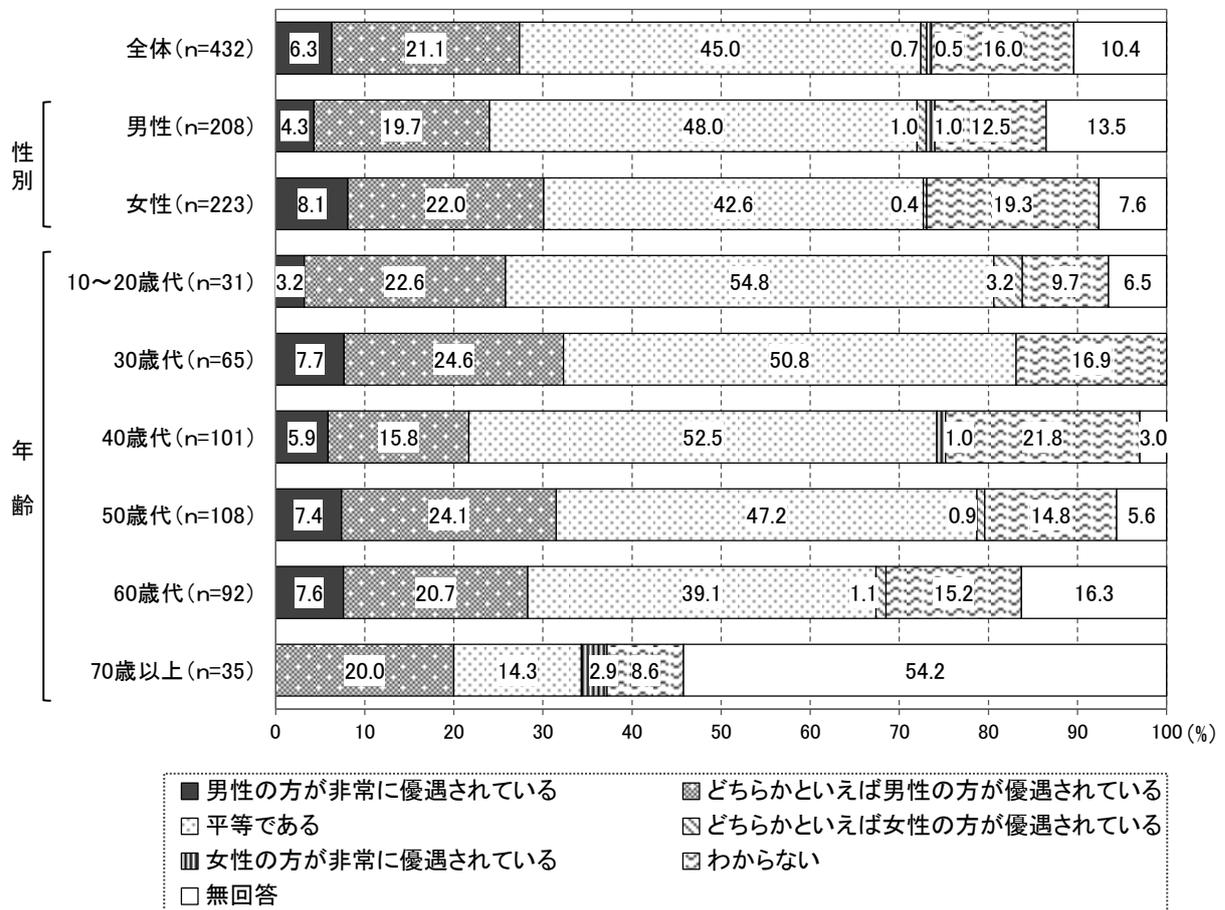


■問 20③ 前回比較

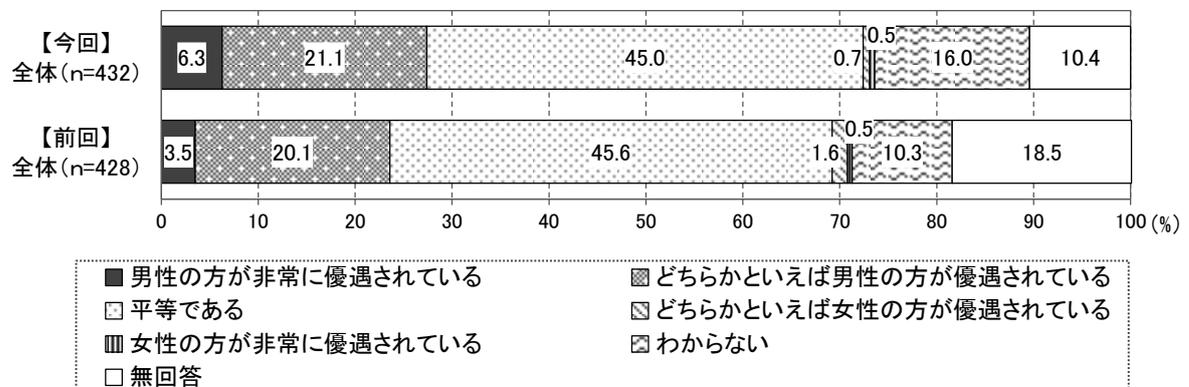


④ 能力評価

全体では、「平等である」が45.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(21.1%)、「わからない」(16.0%)の順となっています。

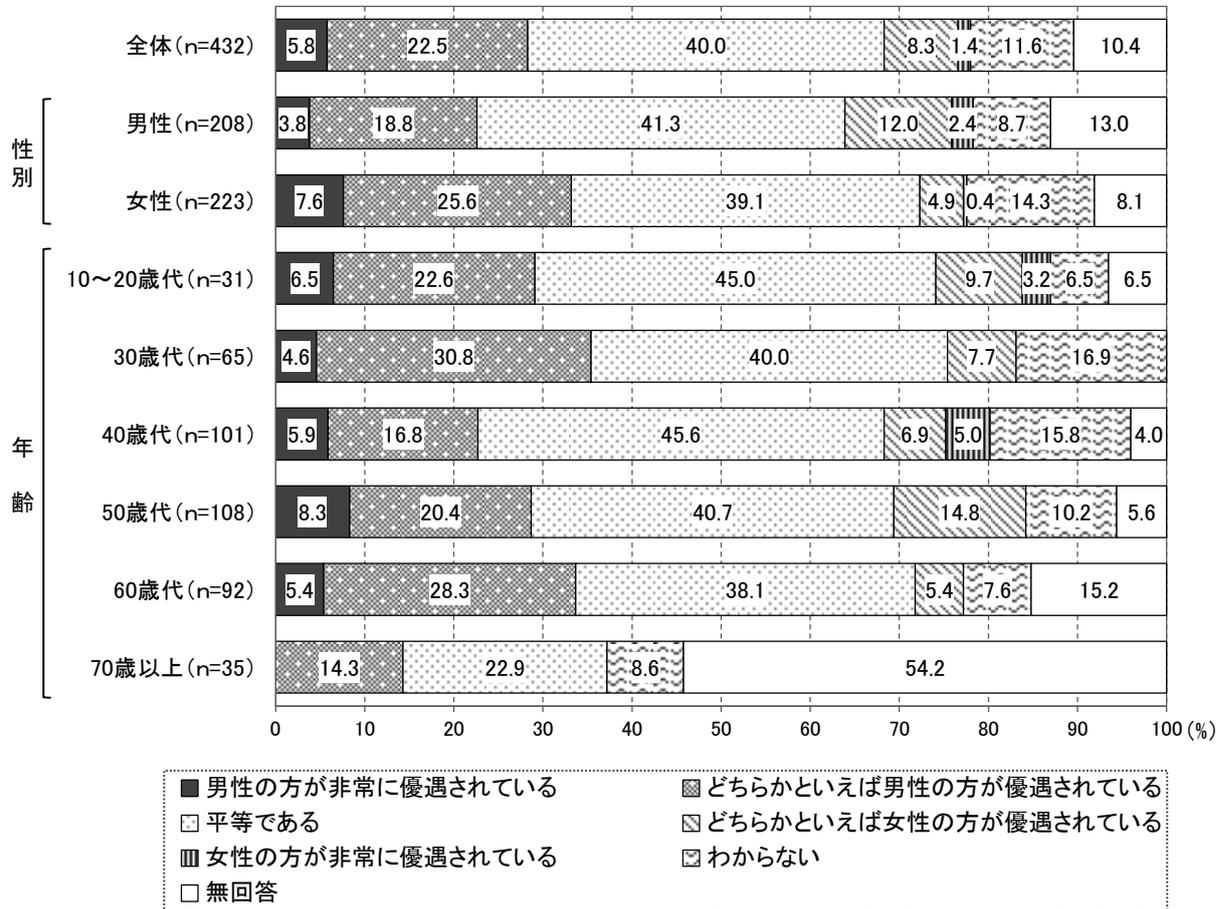


■ 問 20④ 前回比較

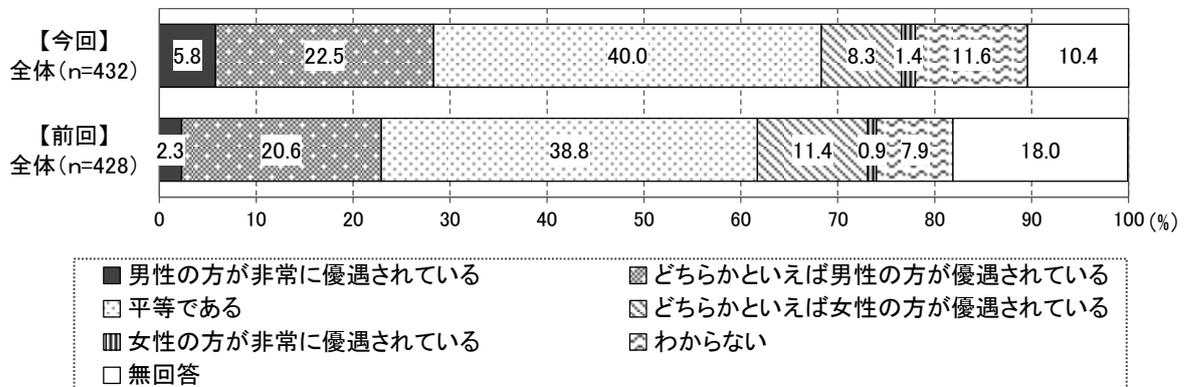


⑤ 仕事の内容

全体では、「平等である」が40.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(22.5%)、「わからない」(11.6%)の順となっています。

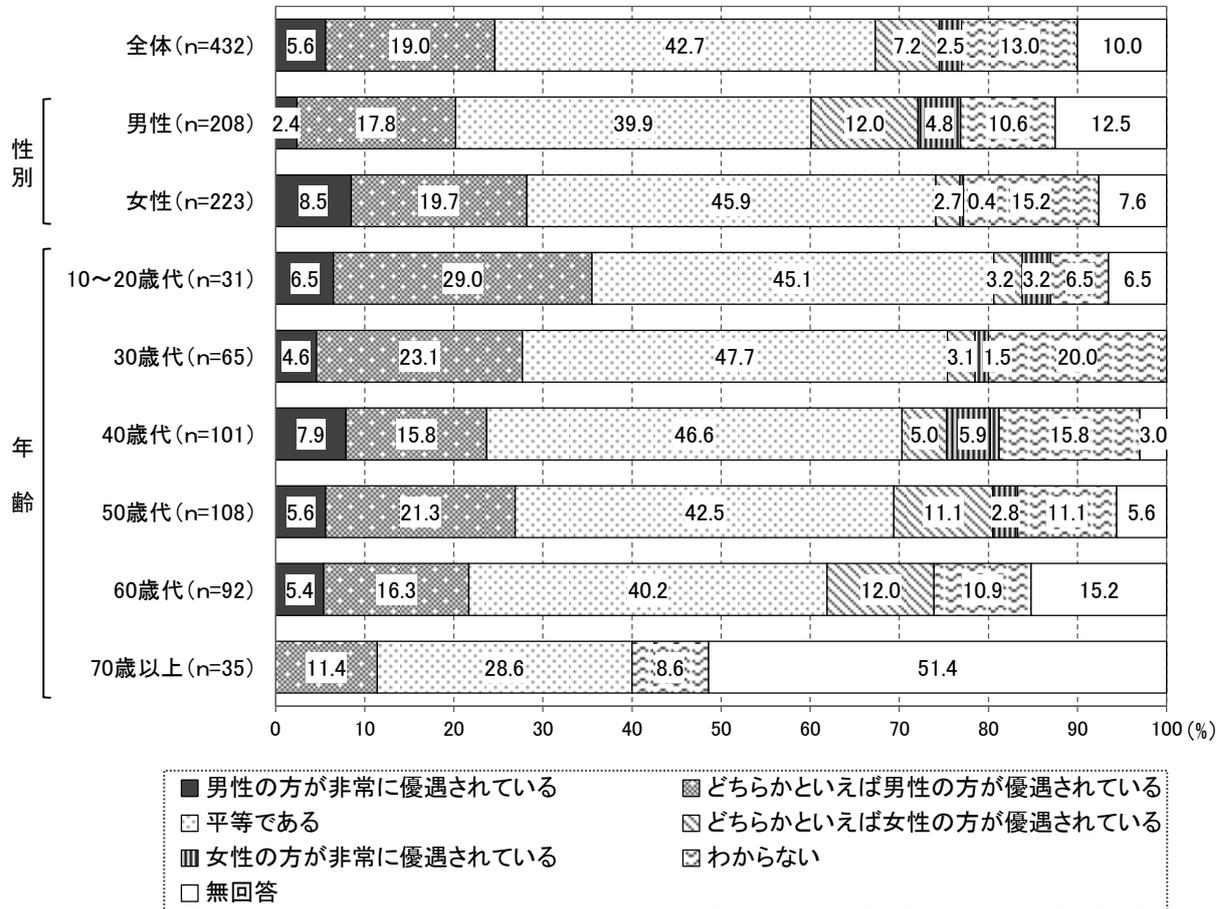


■問 20⑤ 前回比較

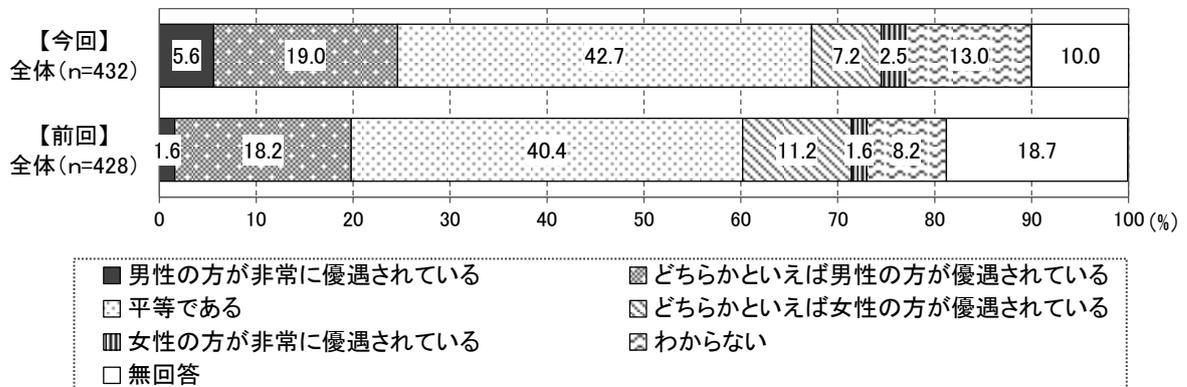


⑥ 仕事に対する責任の求められ方

全体では、「平等である」が42.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(19.0%)、「わからない」(13.0%)の順となっています。

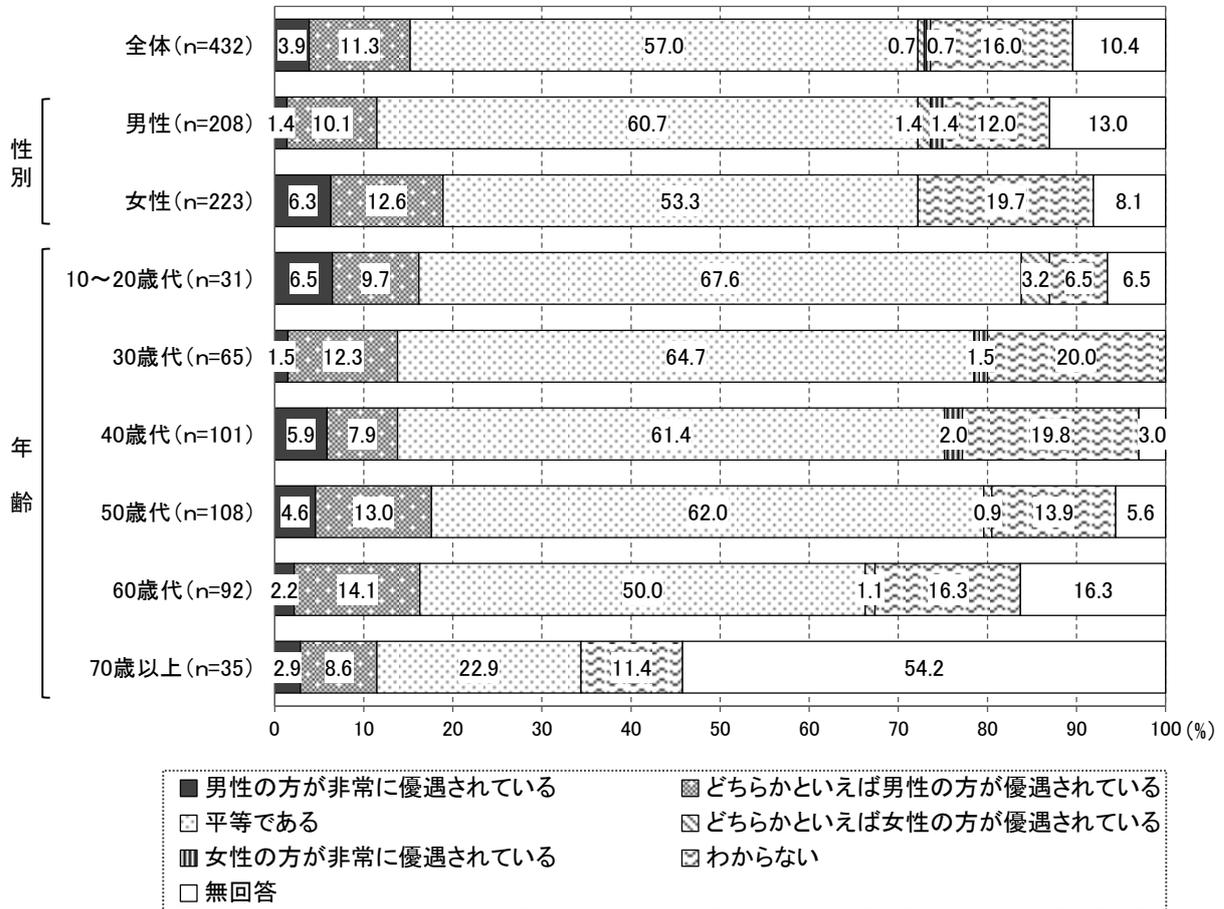


問 20⑥ 前回比較

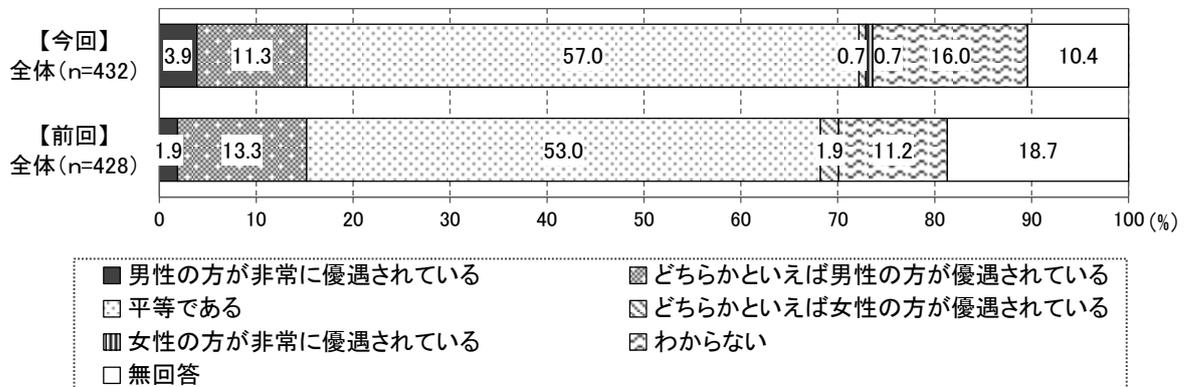


⑦ 研修の機会や内容

全体では、「平等である」が57.0%と最も高く、次いで、「わからない」(16.0%)、「どちらからかといえば男性の方が優遇されている」(11.3%)の順となっています。

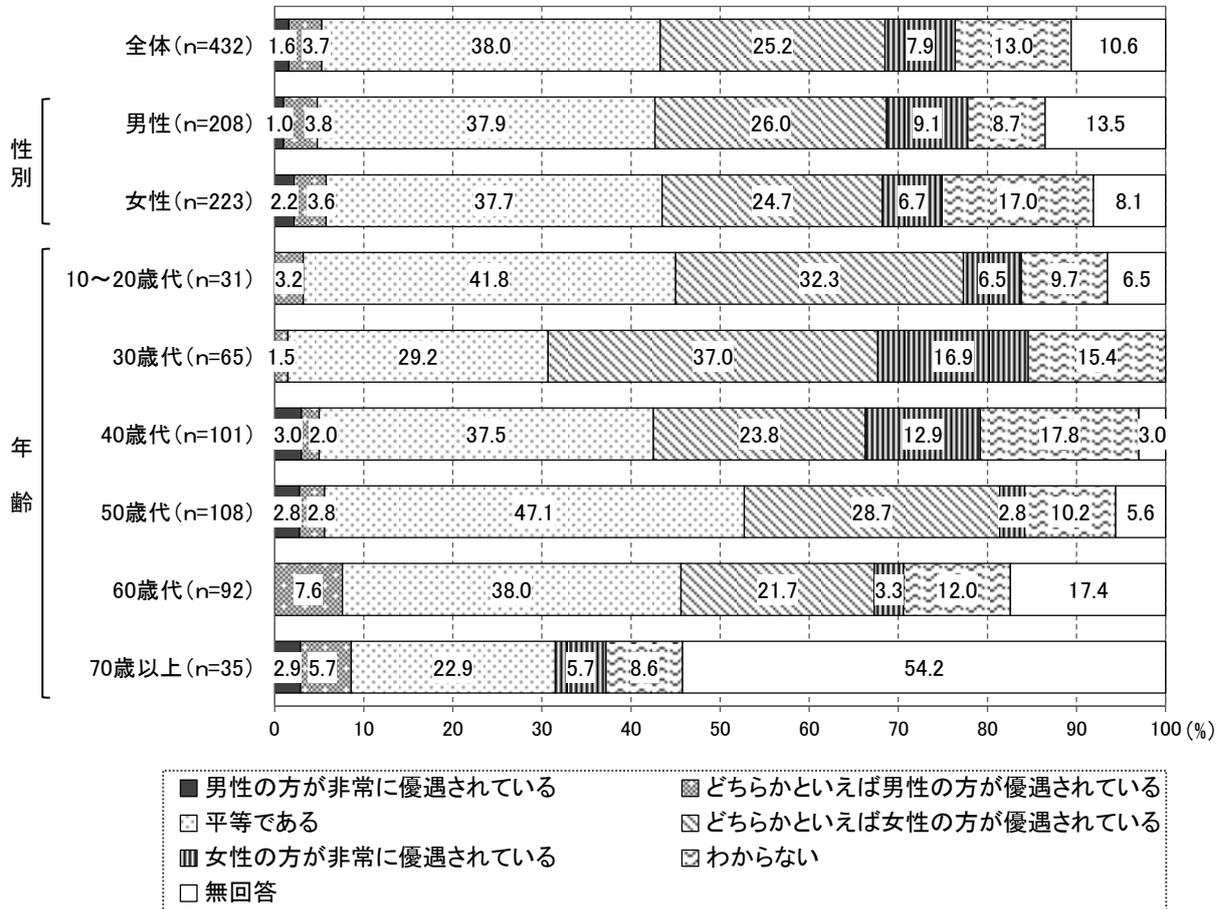


問 20⑦ 前回比較

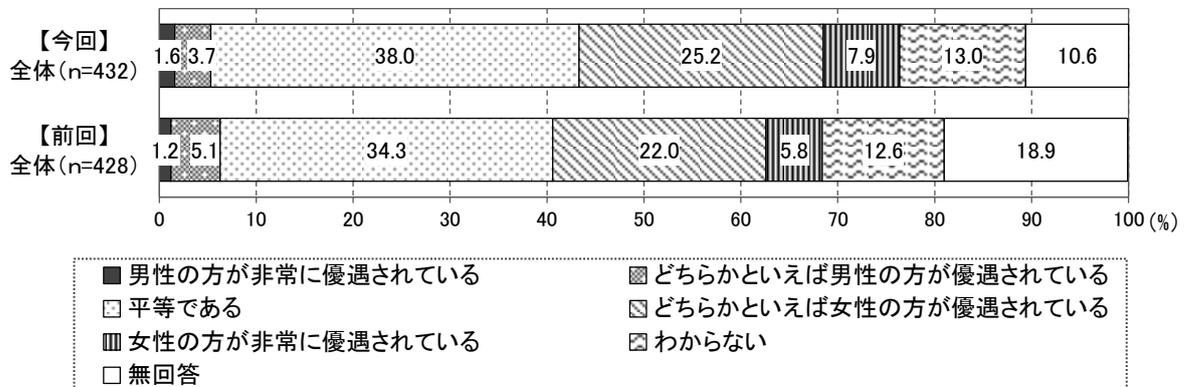


⑧ 有給休暇や育児休業・介護休業等の取得のしやすさ

全体では、「平等である」が38.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(25.2%)、「わからない」(13.0%)の順となっています。



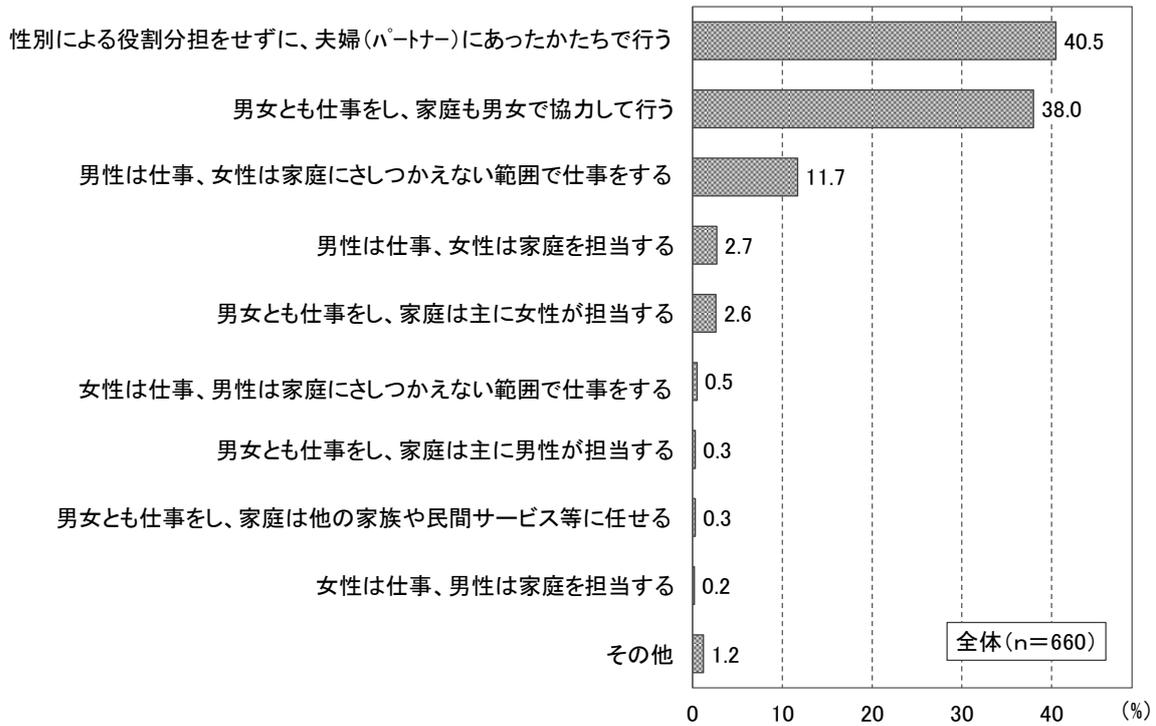
■問 20⑧ 前回比較



問 21

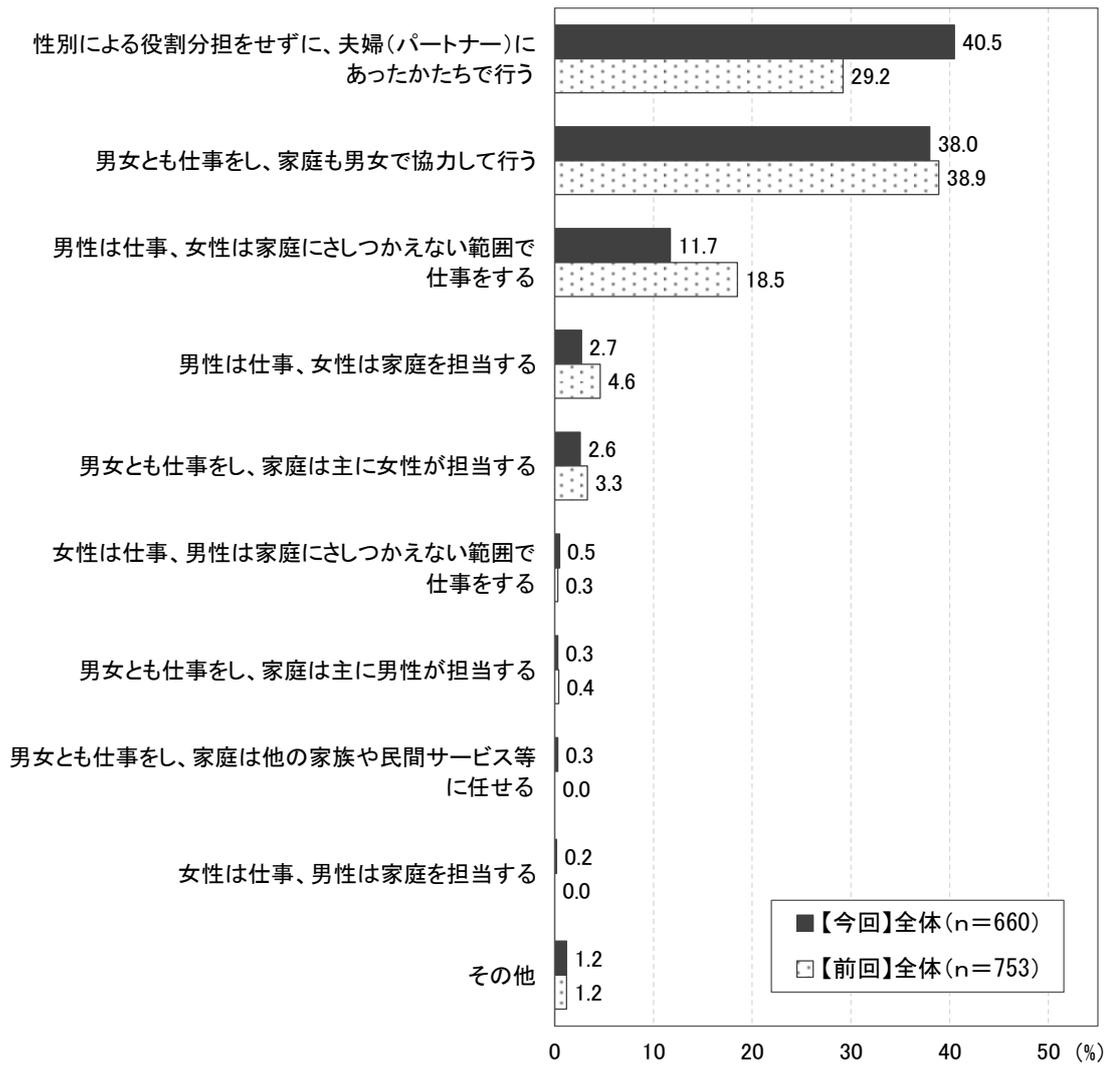
仕事と家庭に関する男女夫婦、パートナーの役割分担について、本来どのようにあるべきだと思いますか。

「性別による役割分担をせずに、夫婦（パートナー）にあったかたちで行う」が40.5%と最も高く、次いで、「男女とも仕事をし、家庭も男女で協力して行う」（38.0%）、「男性は仕事、女性は家庭にさしつかえない範囲で仕事をする」（11.7%）の順となっています。



	(n=)	男性は仕事、女性は家庭を担当する	女性は仕事、男性は家庭を担当する	男性は仕事、女性は家庭にさしつかえない範囲で仕事をする	女性は仕事、男性は家庭にさしつかえない範囲で仕事をする	男女とも仕事をし、家庭は主に女性が担当する	男女とも仕事をし、家庭は主に男性が担当する	男女とも仕事をし、家庭も男女で協力して行う	男女とも仕事をし、家庭は他の家族や民間サービス等に任せる	性別による役割分担をせずに、夫婦（パートナー）にあったかたちで行う	その他
全体	660	18 2.7%	1 0.2%	77 11.7%	3 0.5%	17 2.6%	2 0.3%	251 38.0%	2 0.3%	268 40.5%	8 1.2%
性別	男性	13 4.5%	0 0.0%	38 13.1%	1 0.3%	8 2.7%	1 0.3%	108 37.1%	2 0.7%	111 38.2%	3 1.0%
	女性	5 1.4%	1 0.3%	37 10.1%	2 0.5%	9 2.5%	1 0.3%	143 39.0%	0 0.0%	157 42.6%	5 1.4%
年齢	10～20歳代	0 0.0%	0 0.0%	4 6.7%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	27 44.9%	0 0.0%	27 45.0%	1 1.7%
	30歳代	0 0.0%	0 0.0%	4 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 37.8%	1 1.4%	39 52.6%	1 1.4%
	40歳代	1 0.9%	0 0.0%	15 13.4%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	36 32.1%	1 0.9%	57 50.9%	0 0.0%
	50歳代	3 2.4%	1 0.8%	10 8.1%	0 0.0%	5 4.0%	1 0.8%	44 35.5%	0 0.0%	57 46.0%	1 0.8%
	60歳代	5 3.2%	0 0.0%	22 13.9%	1 0.6%	4 2.5%	0 0.0%	66 41.8%	0 0.0%	54 34.2%	4 2.5%
	70歳以上	9 6.9%	0 0.0%	21 16.0%	2 1.5%	5 3.8%	1 0.8%	50 38.1%	0 0.0%	34 26.0%	1 0.8%

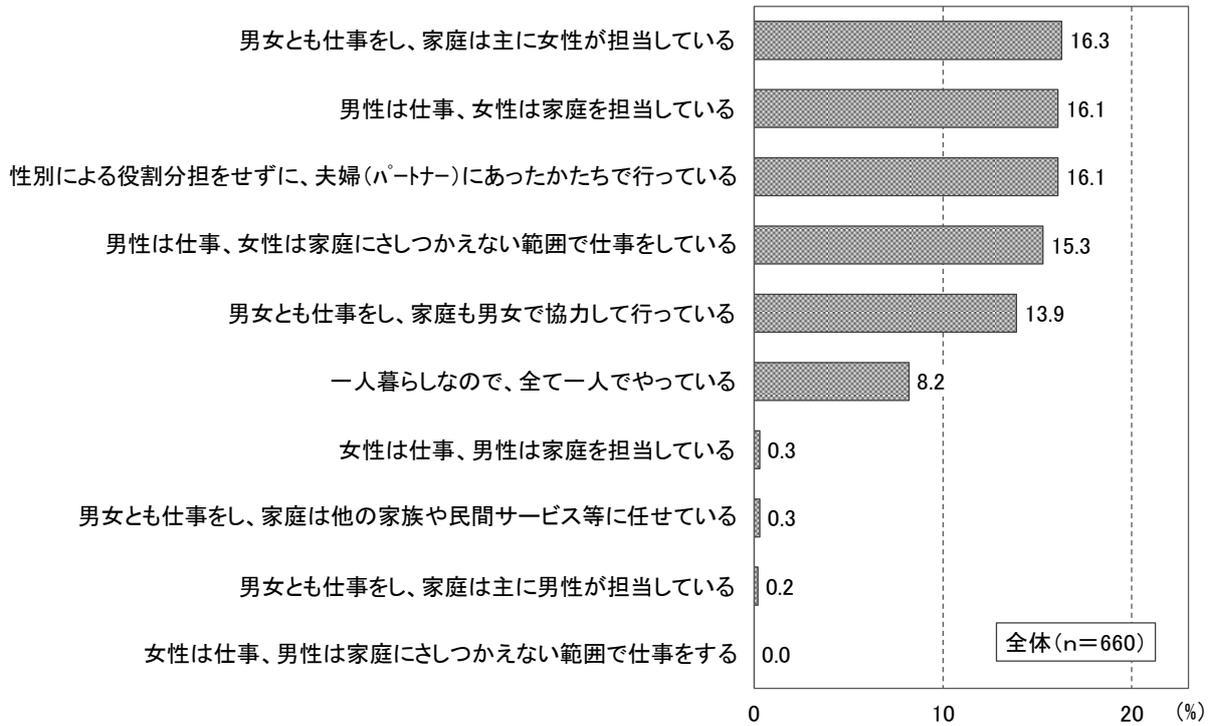
■問 21 前回比較



問 22

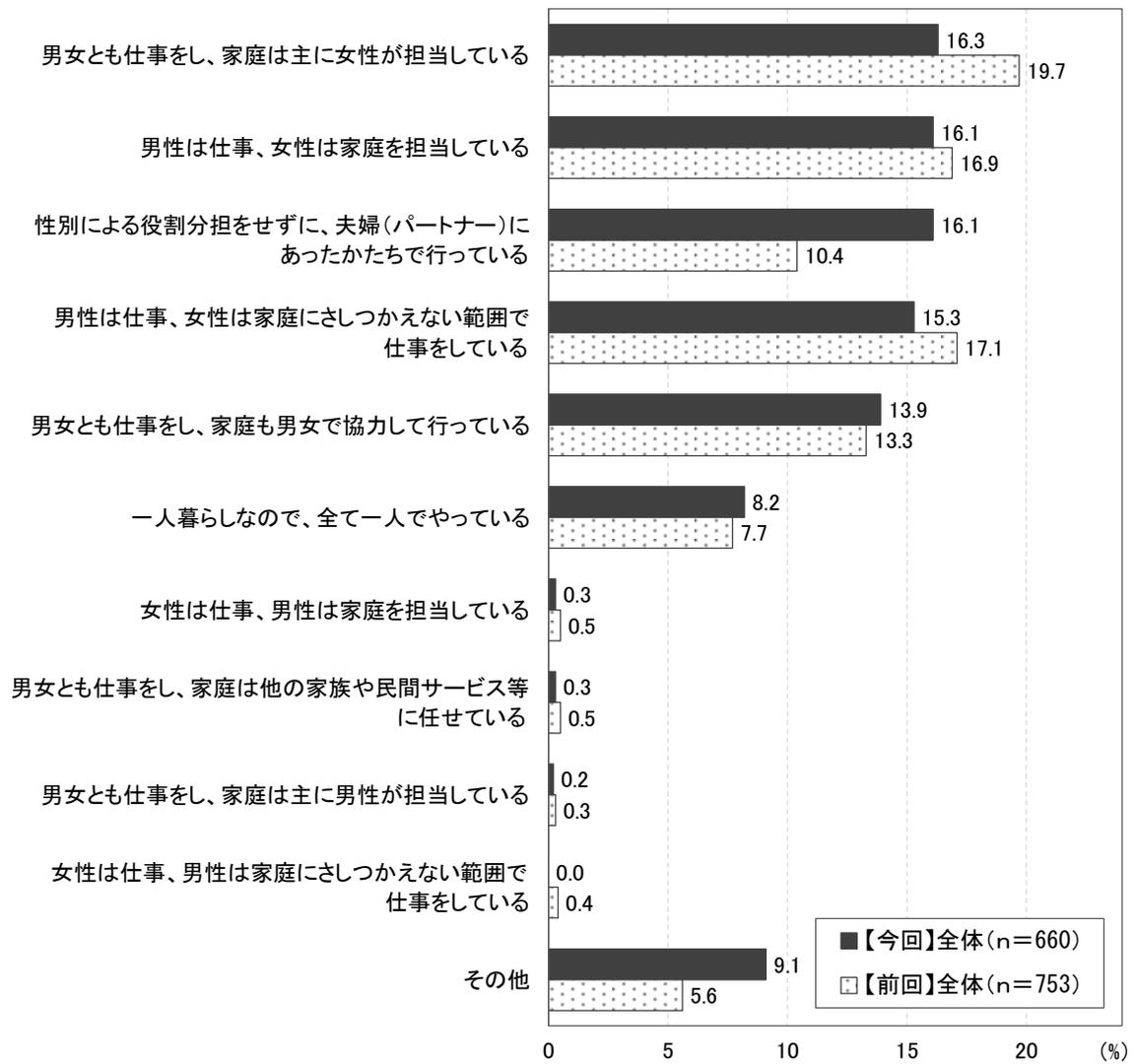
実際、あなたのご家庭での仕事と家庭に関する男女夫婦、パートナーの役割分担に近いものはどれですか。

「男女とも仕事をし、家庭は主に女性が担当している」が 16.3%と最も高く、次いで、「男性は仕事、女性は家庭を担当している」・「性別による役割分担をせずに、夫婦（パートナー）にあったかたちで行っている」（16.1%で同率）の順となっています。



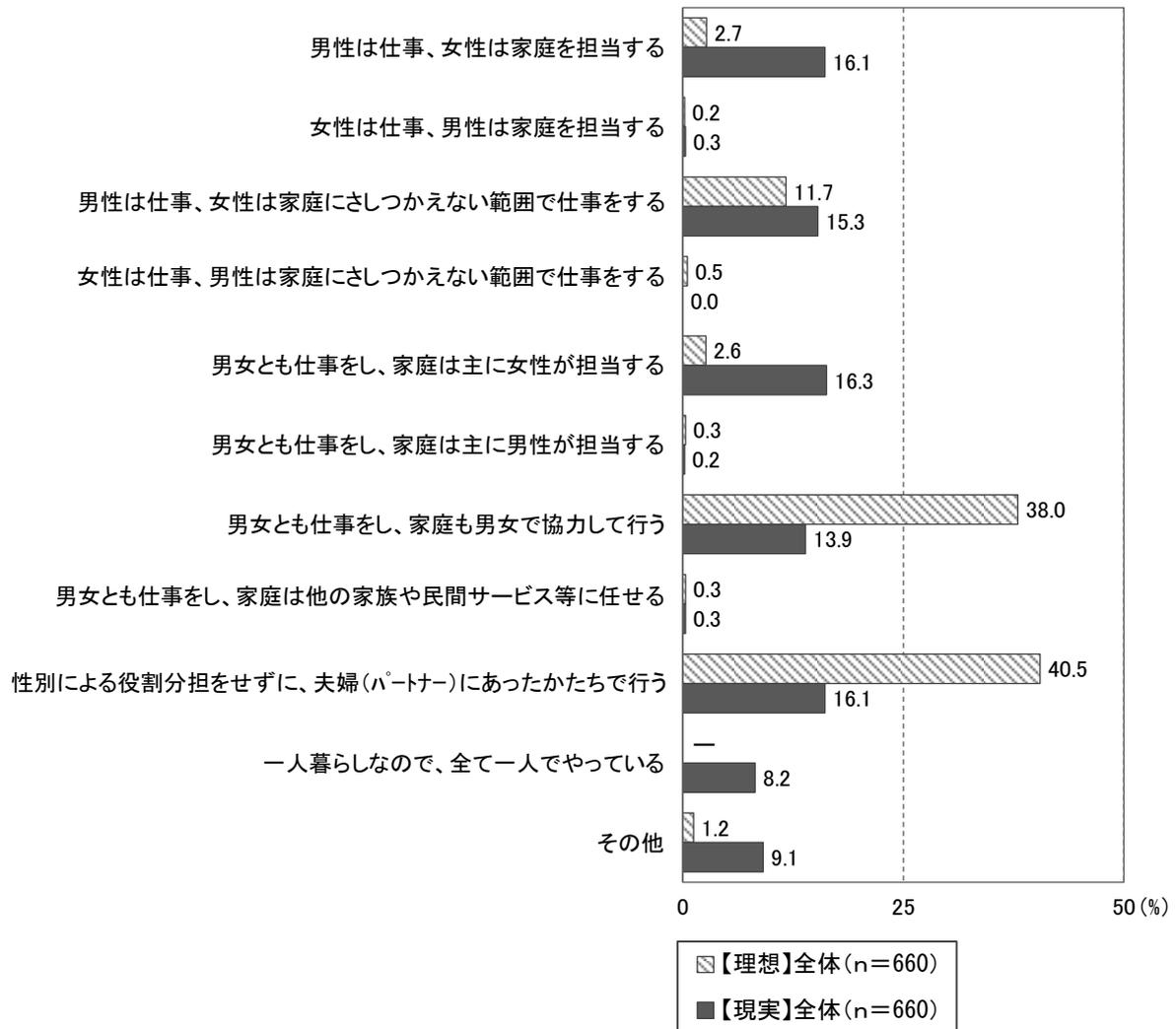
	(n=)	男性は仕事、女性は家庭を担当している	女性は仕事、男性は家庭を担当している	男性は仕事、女性は家庭にさしつかえない範囲で仕事をしている	女性は仕事、男性は家庭にさしつかえない範囲で仕事をしている	男女とも仕事をし、家庭は主に女性が担当している	男女とも仕事をし、家庭は主に男性が担当している	男女とも仕事をし、家庭も男女で協力して行っている	男女とも仕事をし、家庭は他の家族や民間サービス等に任せている	性別による役割分担をせずに、夫婦（パートナー）にあったかたちで行っている	一人暮らしなので、全て一人でやっている	その他
全体	660	106 16.1%	2 0.3%	101 15.3%	0 0.0%	108 16.3%	1 0.2%	92 13.9%	2 0.3%	106 16.1%	54 8.2%	60 9.1%
性別	男性	49 16.8%	0 0.0%	51 17.5%	0 0.0%	40 13.7%	0 0.0%	38 13.1%	1 0.3%	55 19.0%	25 8.6%	18 6.2%
	女性	57 15.5%	2 0.5%	49 13.4%	0 0.0%	68 18.6%	1 0.3%	54 14.7%	1 0.3%	51 13.9%	28 7.6%	42 11.4%
年齢	10～20歳代	9 15.0%	0 0.0%	8 13.3%	0 0.0%	13 21.7%	0 0.0%	7 11.7%	0 0.0%	9 15.0%	9 15.0%	5 8.3%
	30歳代	9 12.2%	0 0.0%	6 8.1%	0 0.0%	14 18.9%	0 0.0%	19 25.6%	0 0.0%	14 18.9%	2 2.7%	5 6.8%
	40歳代	20 17.9%	1 0.9%	24 21.4%	0 0.0%	21 18.8%	0 0.0%	16 14.3%	2 1.8%	9 8.0%	8 7.1%	8 7.1%
	50歳代	14 11.3%	0 0.0%	26 20.9%	0 0.0%	25 20.2%	1 0.8%	18 14.5%	0 0.0%	12 9.7%	12 9.7%	11 8.9%
	60歳代	33 20.9%	1 0.6%	21 13.3%	0 0.0%	24 15.2%	0 0.0%	23 14.6%	0 0.0%	24 15.2%	13 8.2%	15 9.5%
	70歳以上	21 16.0%	0 0.0%	16 12.2%	0 0.0%	11 8.4%	0 0.0%	9 6.9%	0 0.0%	38 29.0%	9 6.9%	16 12.2%

■問 22 前回比較



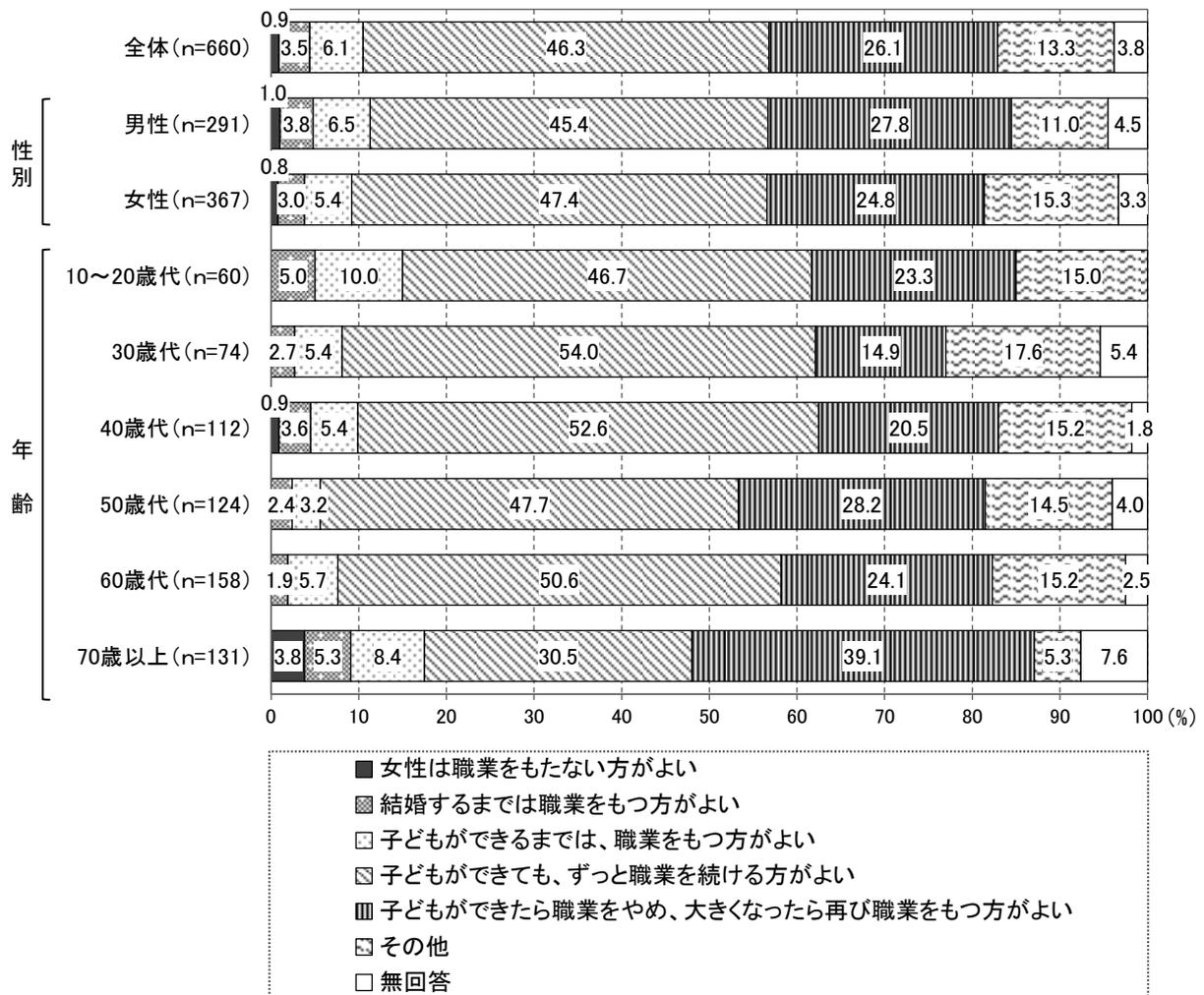
家庭における役割分担の理想と現実

問 21 と問 22 の結果を次のとおり比較してみたところ、「男女とも仕事をし、家庭も男女で協力して行う」や「性別による役割分担をせずに、夫婦（パートナー）にあったかたちで行う」という点で、特に理想と現実のギャップが高いことがわかります。

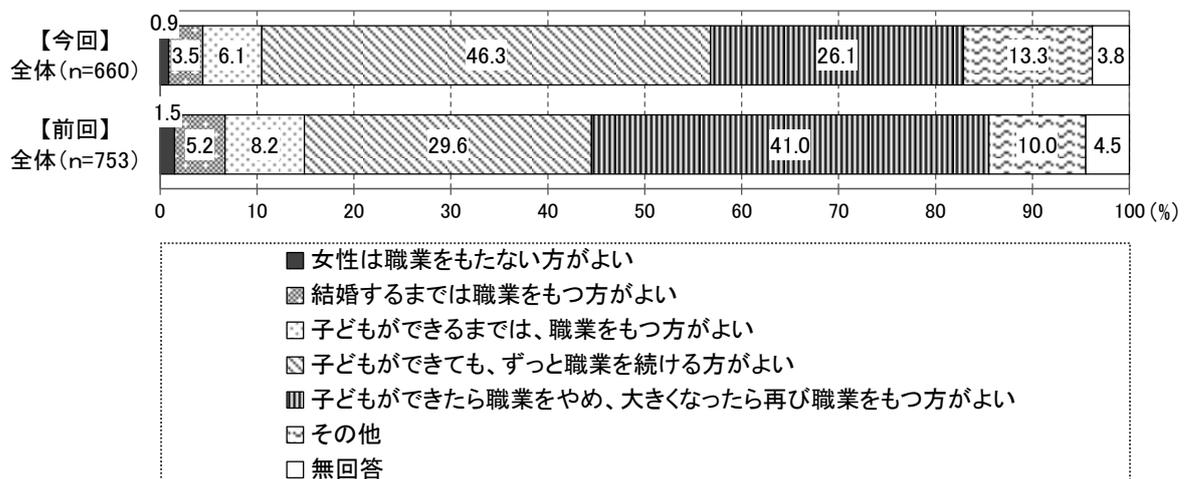


問 23 一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。

全体では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が46.3%と最も高く、次いで、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(26.1%)、「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」(6.1%)の順となっています。



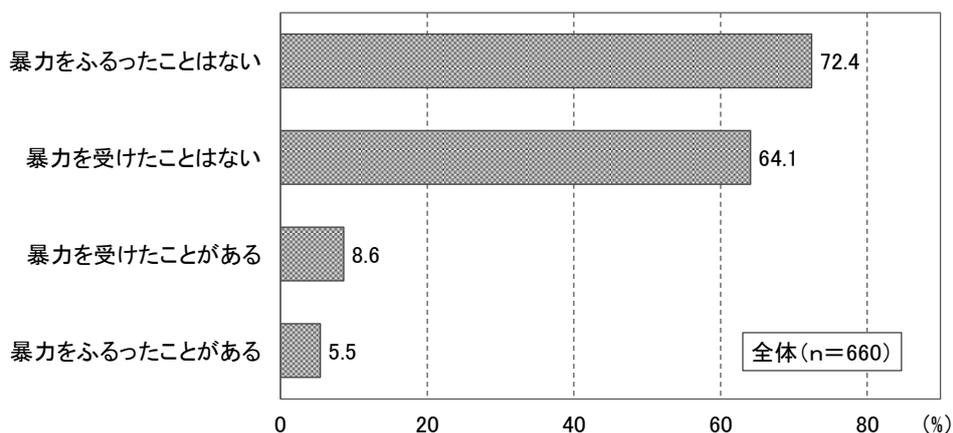
問 23 前回比較



問 24

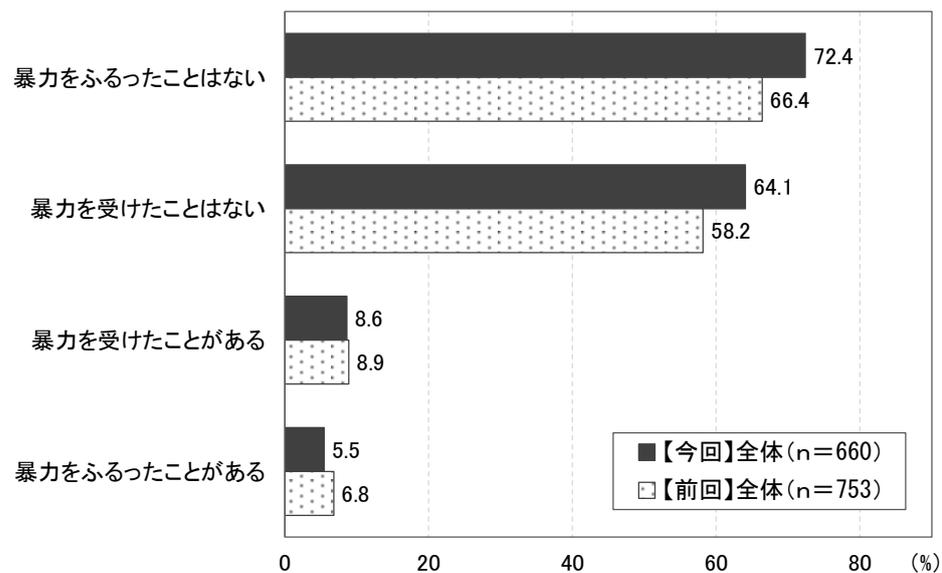
最近、パートナー 夫・妻・恋人から肉体的・精神的な暴力を受けるという夫婦恋人間暴力が問題視されていますが、あなたは、暴力を受けたり、ふるったことがありますか。【複数回答可】

「暴力をふるったことはない」が72.4%と最も高く、次いで、「暴力を受けたことはない」(64.1%)、「暴力を受けたことがある」(8.6%)の順となっています。



		(n=)	暴力を受 けたこと がある	暴力をふ るったこ とがある	暴力を受 けたこと はない	暴力をふ るったこ とはない
全 体		660	57 8.6%	36 5.5%	423 64.1%	478 72.4%
性 別	男性	291	9 3.1%	28 9.6%	140 48.1%	238 81.8%
	女性	367	48 13.1%	8 2.2%	283 77.1%	238 64.9%
年 齢	10～20歳代	60	3 5.0%	1 1.7%	42 70.0%	54 90.0%
	30歳代	74	7 9.5%	2 2.7%	53 71.6%	55 74.3%
	40歳代	112	8 7.1%	3 2.7%	83 74.1%	90 80.4%
	50歳代	124	14 11.3%	10 8.1%	76 61.3%	85 68.5%
	60歳代	158	17 10.8%	12 7.6%	93 58.9%	109 69.0%
	70歳以上	131	8 6.1%	8 6.1%	76 58.0%	84 64.1%

■問 24 前回比較

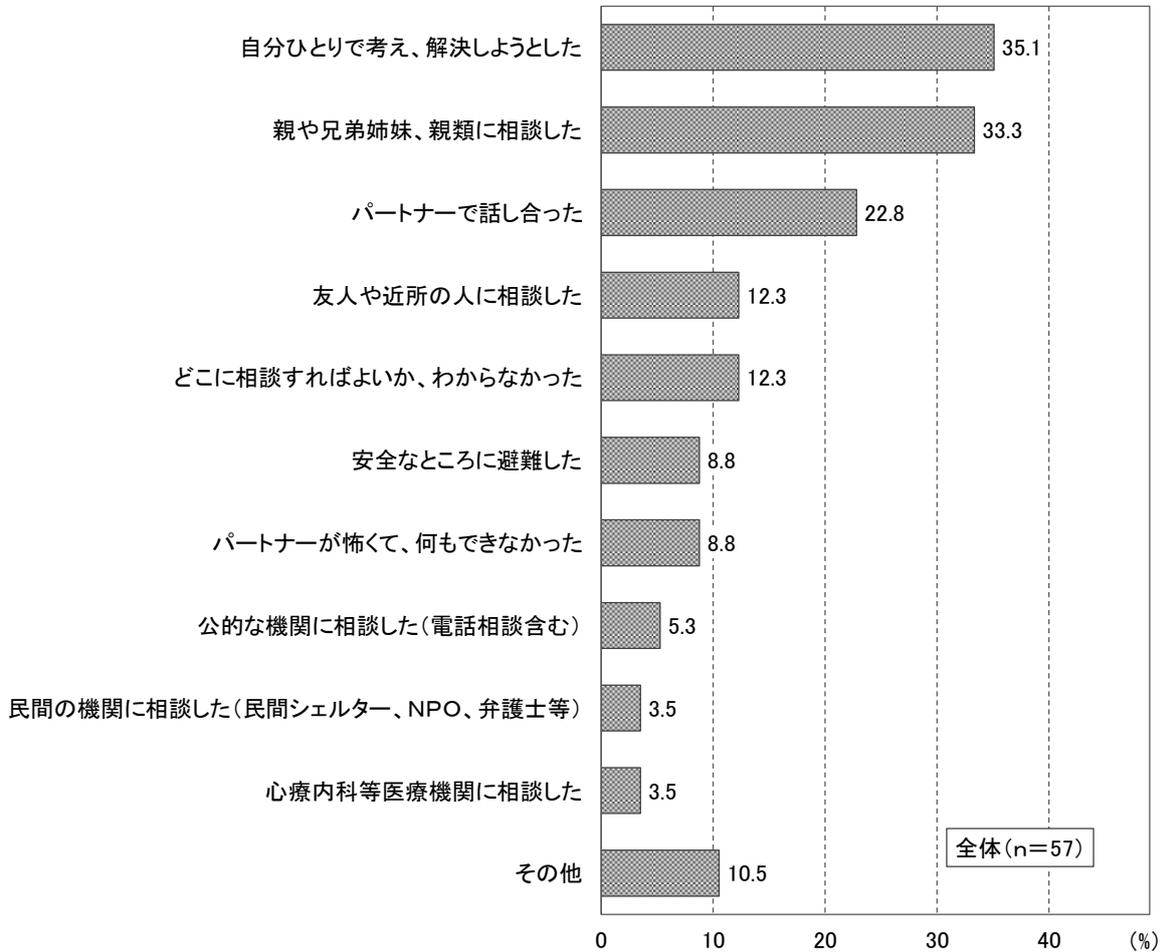


問 24-1

◆問 24 で「1.」と答えた方。

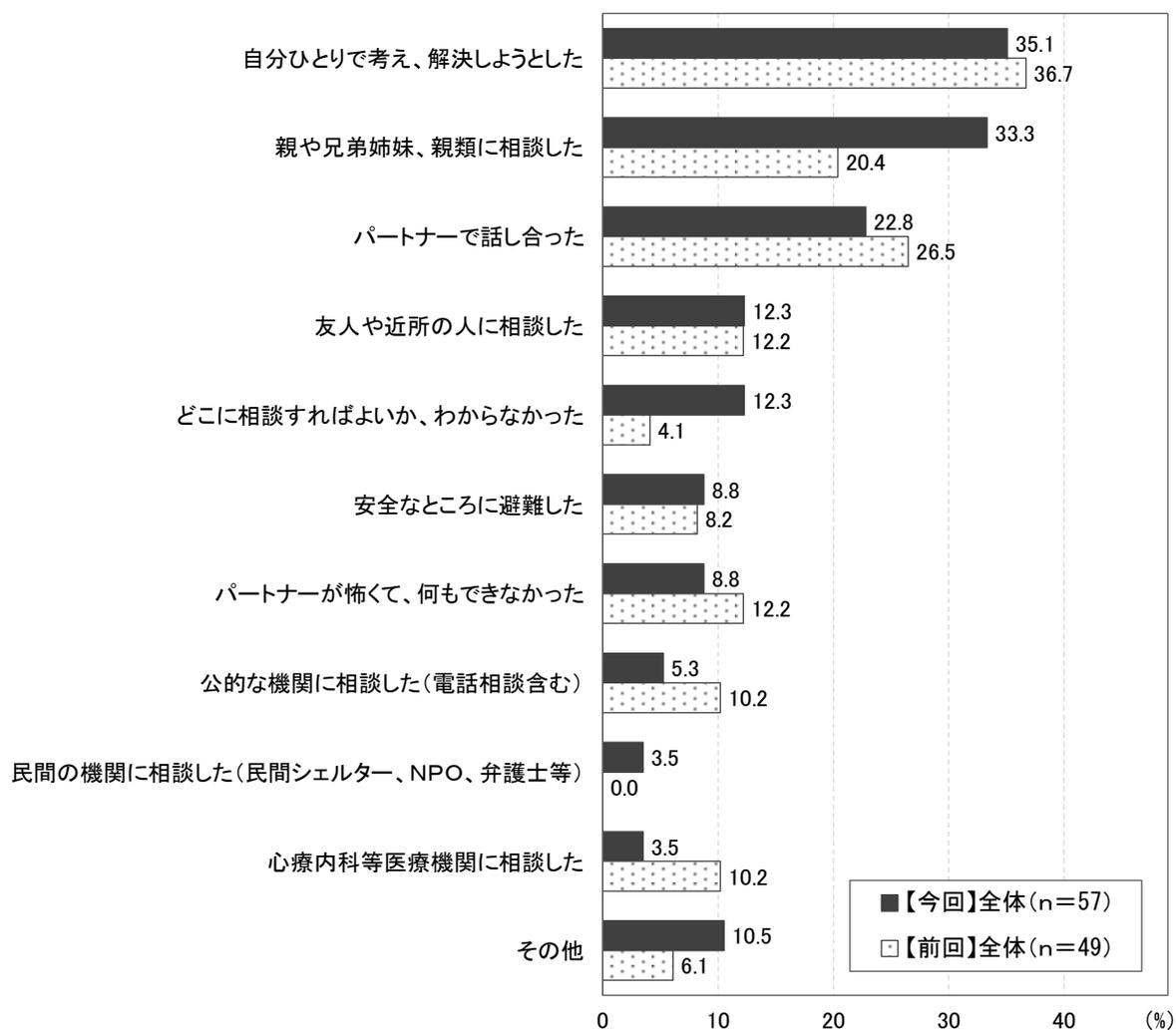
暴力を受けた後、どう対処されましたか。【複数回答可】

「自分ひとりで考え、解決しようとした」が 35.1%と最も高く、次いで、「親や兄弟姉妹、親類に相談した」(33.3%)、「パートナーで話し合った」(22.8%) の順となっています。



		パート ナーで 話し 合った	親や兄 弟姉 妹、親 類に相 談した	友人や 近所の 人に相 談した	公的な 機関に 相談し た(電話 相談含 む)	民間の 機関に 相談し た(民間 シェル ター、N PO、弁 護士 等)	心療内 科等医 療機関 に相談 した	安全な ところに 避難し た	どこに 相談す ればよ いか、 わから なかつ た	パート ナーが 怖くて、 何もで きな かつた	自分で考 え、解 決しよう とした	その他	
	全体 (n=57)	13 22.8%	19 33.3%	7 12.3%	3 5.3%	2 3.5%	2 3.5%	5 8.8%	7 12.3%	5 8.8%	20 35.1%	6 10.5%	
性別	男性	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	
	女性	11 22.9%	17 35.4%	7 14.6%	3 6.3%	1 2.1%	1 2.1%	4 8.3%	6 12.5%	5 10.4%	18 37.5%	5 10.4%	
年齢	10~20歳代	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	
	30歳代	2 28.6%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	
	40歳代	2 25.0%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	
	50歳代	4 28.6%	5 35.7%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%	
	60歳代	3 17.6%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	8 47.1%	3 17.6%	
	70歳以上	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	4 50.0%	0 0.0%

■問 24－ 1 前回比較

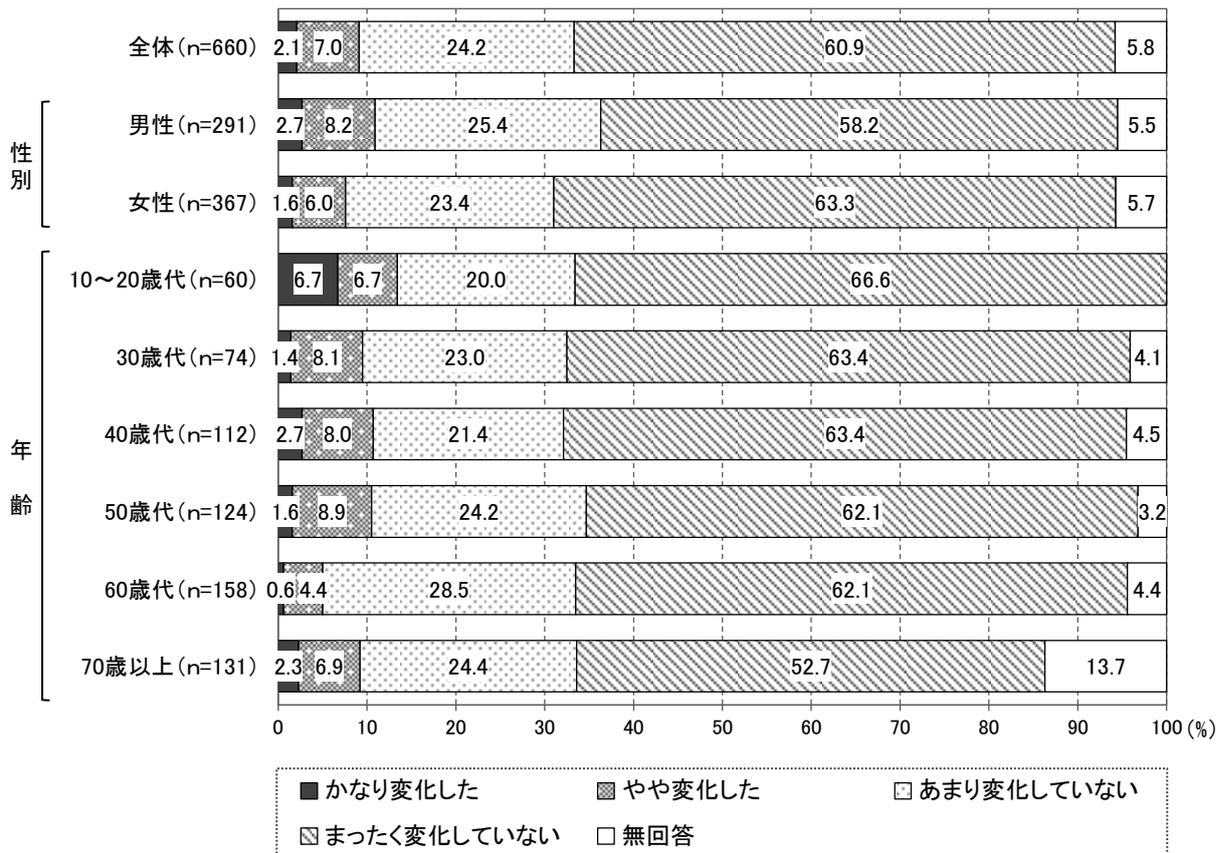


11. コロナ禍の影響、男性の家事等への参加や女性の登用等について

問 25

新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭内における男女の家事・育児・介護等の役割分担は変化しましたか。

全体では、「まったく変化していない」が60.9%と最も高く、次いで、「あまり変化していない」(24.2%)、「やや変化した」(7.0%)の順となっています。



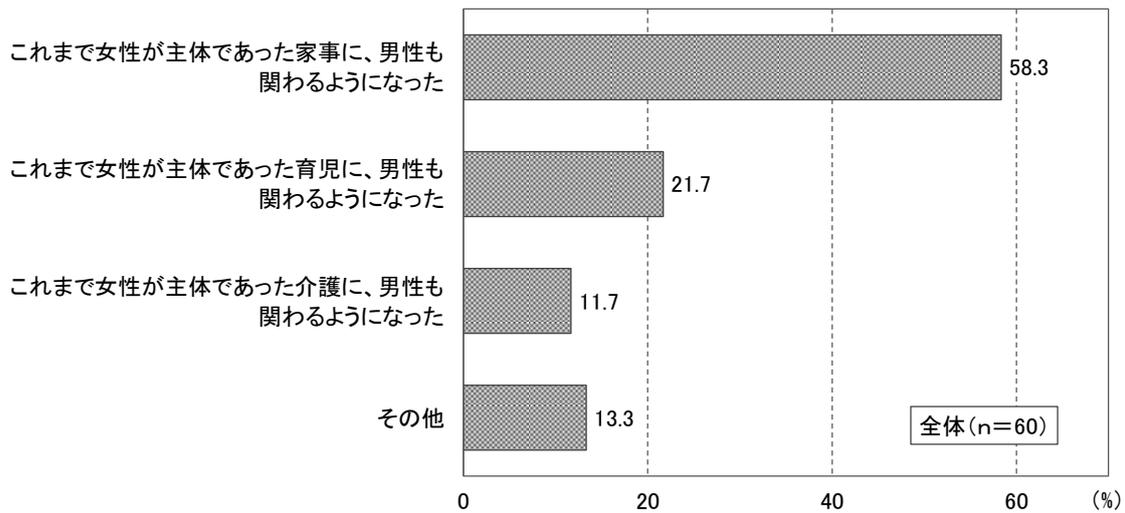
※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

問 25-1

◆問 25 で「1.」または「2.」と答えた方。

具体的にどのような変化がありましたか。【複数回答可】

「これまで女性が主体であった家事に、男性も関わるようになった」が 58.3%と最も高く、次いで、「これまで女性が主体であった育児に、男性も関わるようになった」(21.7%)、「これまで女性が主体であった介護に、男性も関わるようになった」(11.7%)の順となっています。



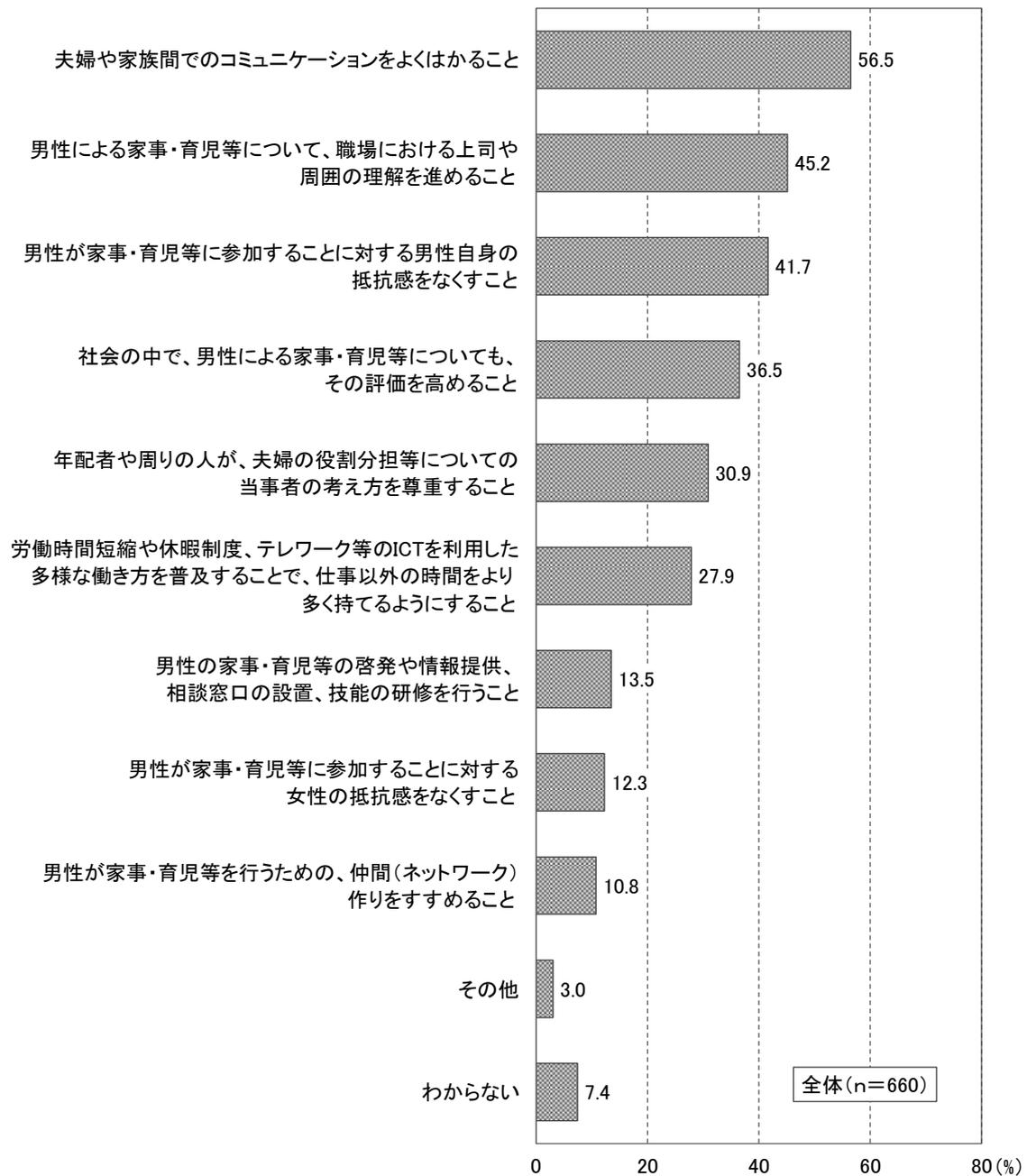
		(n=)	これまで女性が 主体であった家事に、 男性も関わるようになった	これまで女性が 主体であった育児に、 男性も関わるようになった	これまで女性が 主体であった介護に、 男性も関わるようになった	その他
全体		60	35 58.3%	13 21.7%	7 11.7%	8 13.3%
性別	男性	32	20 62.5%	5 15.6%	4 12.5%	1 3.1%
	女性	28	15 53.6%	8 28.6%	3 10.7%	7 25.0%
年齢	10～20歳代	8	4 50.0%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%
	30歳代	7	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%
	40歳代	12	9 75.0%	2 16.7%	2 16.7%	0 0.0%
	50歳代	13	7 53.8%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%
	60歳代	8	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%
	70歳以上	12	8 66.7%	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%

※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

問 26

今後、男性が家事、子育て、介護等に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。【複数回答可】

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が56.5%と最も高く、次いで、「男性による家事・育児等について、職場における上司や周囲の理解を進めること」(45.2%)、「男性が家事・育児等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(41.7%)の順となっています。



		男性が家事・育児等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事・育児等に参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての方考え方を尊重すること	社会の中で、男性による家事・育児等についても、その評価を高めること	男性による家事・育児等について、職場において上司や周囲の理解を進めること	労働時間短縮や休暇制度、テレワーク等のICTを利用した多様な働き方を普及すること で、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	男性の家事・育児等の啓発や情報の提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	男性が家事・育児等のための（ネットワー）作りをすすめること	その他	わからない
	(n=)											
	全体	275 41.7%	81 12.3%	373 56.5%	204 30.9%	241 36.5%	298 45.2%	184 27.9%	89 13.5%	71 10.8%	20 3.0%	49 7.4%
性別	男性	107 36.8%	25 8.6%	150 51.5%	64 22.0%	87 29.9%	109 37.5%	71 24.4%	38 13.1%	20 6.9%	10 3.4%	26 8.9%
	女性	168 45.8%	56 15.3%	221 60.2%	140 38.1%	153 41.7%	189 51.5%	113 30.8%	51 13.9%	50 13.6%	10 2.7%	23 6.3%
年齢	10～20歳代	22 36.7%	5 8.3%	31 51.7%	15 25.0%	26 43.3%	31 51.7%	25 41.7%	7 11.7%	10 16.7%	1 1.7%	7 11.7%
	30歳代	32 43.2%	10 13.5%	45 60.8%	25 33.8%	33 44.6%	37 50.0%	29 39.2%	8 10.8%	12 16.2%	3 4.1%	4 5.4%
	40歳代	45 40.2%	16 14.3%	55 49.1%	36 32.1%	46 41.1%	56 50.0%	34 30.4%	20 17.9%	13 11.6%	5 4.5%	6 5.4%
	50歳代	54 43.5%	13 10.5%	77 62.1%	38 30.6%	41 33.1%	59 47.6%	39 31.5%	13 10.5%	11 8.9%	2 1.6%	6 4.8%
	60歳代	69 43.7%	18 11.4%	91 57.6%	50 31.6%	59 37.3%	67 42.4%	30 19.0%	21 13.3%	15 9.5%	6 3.8%	12 7.6%
	70歳以上	53 40.5%	19 14.5%	73 55.7%	40 30.5%	35 26.7%	48 36.6%	27 20.6%	20 15.3%	10 7.6%	3 2.3%	14 10.7%

■問 26 前回比較（参考）

問26 今後、男性が家事、子育て、介護等に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

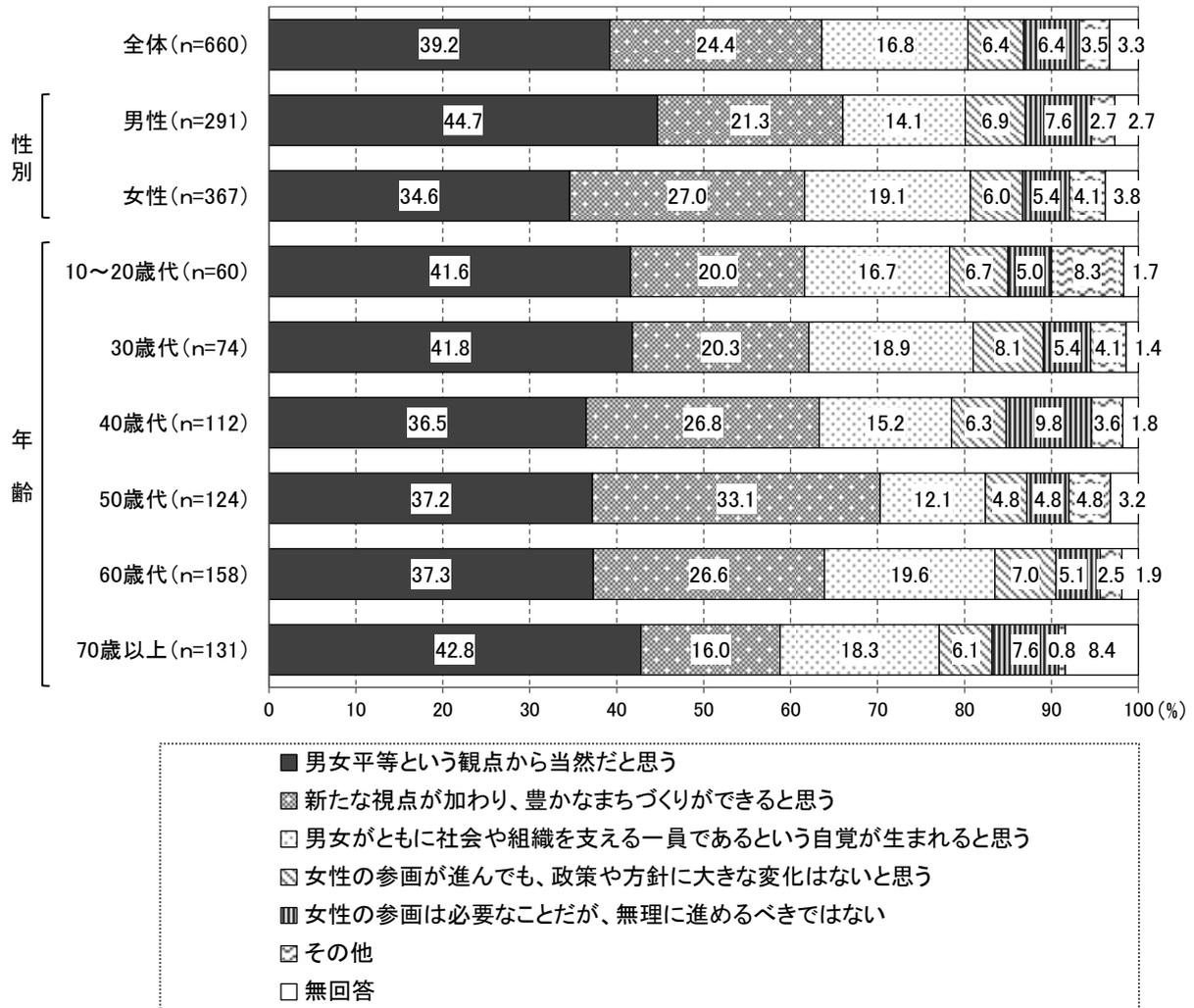
		今回(R3) n=660	前回(H27) n=753
1	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	56.5%	73.2%
2	男性による家事・育児等について、職場における上司や周囲の理解を進めること	45.2%	—
3	男性が家事・育児等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	41.7%	—
4	社会の中で、男性による家事・育児等についても、その評価を高めること	36.5%	39.4%
5	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	30.9%	25.0%
6	労働時間短縮や休暇制度、テレワーク等のICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	27.9%	39.7%
7	男性の家事・育児等の啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	13.5%	—
8	男性が家事・育児等に参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	12.3%	—
9	男性が家事・育児等を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること	10.8%	—
10	その他	3.0%	2.3%
11	わからない	7.4%	4.2%
前回	男性が家事などについて関心を高めるような啓発や情報提供をすること	—	20.7%
前回	仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	—	12.0%
前回	講座等を開催し、男性の家事などの技術を高めること	—	9.4%

※前回は、設問は同じながら選択肢が異なるため、参考比較とします。

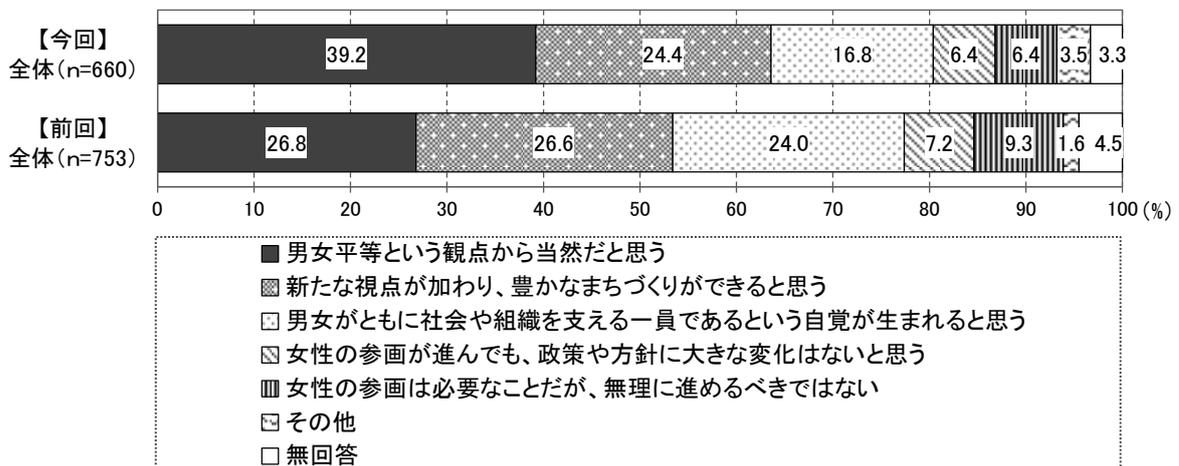
問 27

本市では審議会等委員等への女性の参画を促進しています。このことについてあなたはどのように思いますか。

全体では、「男女平等という観点から当然だと思う」が39.2%と最も高く、次いで、「新たな視点加わり、豊かなまちづくりができると思う」(24.4%)、「男女がともに社会や組織を支える一員であるという自覚が生まれると思う」(16.8%)の順となっています。



問 27 前回比較

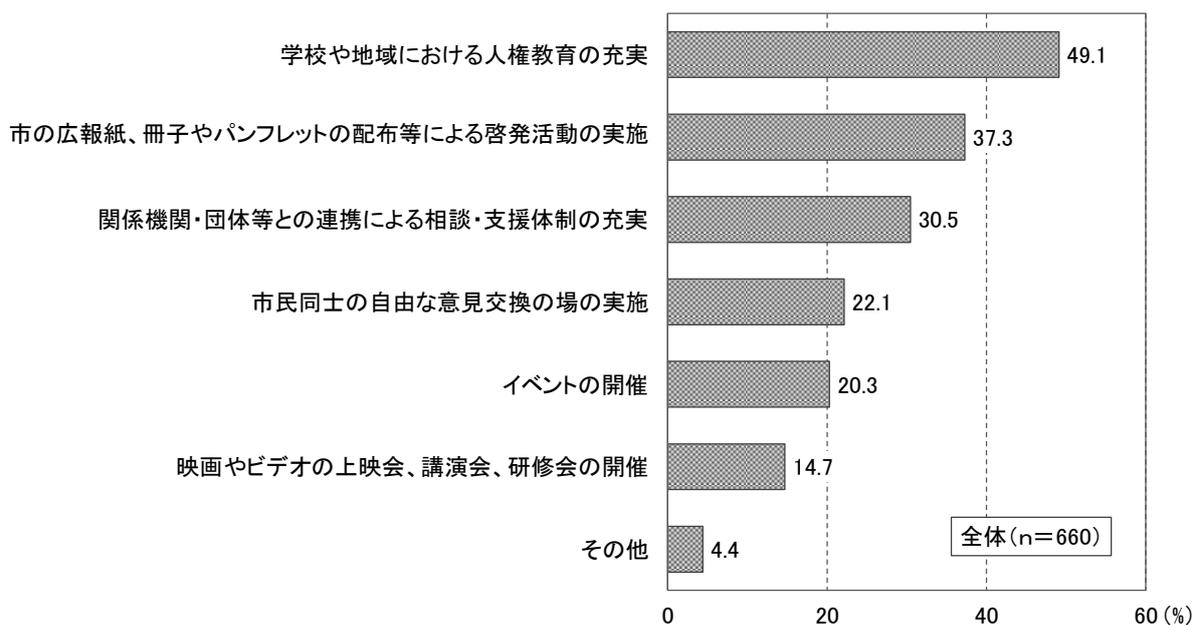


12. 人権・男女共同参画の施策全般について

問 28

本市において人権・男女共同参画に関する施策を推進するため、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答可】

「学校や地域における人権教育の充実」が49.1%と最も高く、次いで、「市の広報紙、冊子やパンフレットの配布等による啓発活動の実施」(37.3%)、「関係機関・団体等との連携による相談・支援体制の充実」(30.5%)の順となっています。



		(n=)	市の広報紙、冊子やパンフレットの配布等による啓発活動の実施	市民同士の自由な意見交換の場の実施	映画やビデオの上映会、講演会、研修会の開催	イベントの開催	学校や地域における人権教育の充実	関係機関・団体等との連携による相談・支援体制の充実	その他
全体		660	246 37.3%	146 22.1%	97 14.7%	134 20.3%	324 49.1%	201 30.5%	29 4.4%
性別	男性	291	111 38.1%	71 24.4%	48 16.5%	61 21.0%	130 44.7%	95 32.6%	13 4.5%
	女性	367	134 36.5%	73 19.9%	48 13.1%	72 19.6%	193 52.6%	105 28.6%	16 4.4%
年齢	10～20歳代	60	16 26.7%	8 13.3%	8 13.3%	12 20.0%	32 53.3%	25 41.7%	1 1.7%
	30歳代	74	21 28.4%	14 18.9%	9 12.2%	14 18.9%	40 54.1%	24 32.4%	6 8.1%
	40歳代	112	40 35.7%	16 14.3%	9 8.0%	18 16.1%	64 57.1%	35 31.3%	6 5.4%
	50歳代	124	53 42.7%	31 25.0%	13 10.5%	31 25.0%	55 44.4%	36 29.0%	6 4.8%
	60歳代	158	59 37.3%	45 28.5%	31 19.6%	28 17.7%	75 47.5%	46 29.1%	7 4.4%
	70歳以上	131	56 42.7%	31 23.7%	26 19.8%	30 22.9%	57 43.5%	34 26.0%	3 2.3%

■問 28 前回比較（参考）

問28 本市において人権・男女共同参画に関する施策を推進するため、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。

	今回(R3) n=660	前回(H27) n=753
1 学校や地域における人権教育の充実	49.1%	—
2 市の広報紙、冊子やパンフレットの配布等による啓発活動の実施	37.3%	—
3 関係機関・団体等との連携による相談・支援体制の充実	30.5%	—
4 市民同士の自由な意見交換の場の実施	22.1%	—
5 イベントの開催	20.3%	—
6 映画やビデオの上映会、講演会、研修会の開催	14.7%	—
7 その他	4.4%	—

(前回)

問36 今後、海南市では人権啓発を推進するために、どのような事業に力を入れていくべきだと思いますか

1 市の広報紙、啓発冊子やパンフレットの配布等を通じ、啓発活動を行う	—	32.3%
2 人権問題に関する自由な意見交換のできる場(地区ふれあい集会等)をもつ	—	12.4%
3 人権問題を扱った映画やビデオの上映会、講演会、研修会を開催する	—	9.6%
4 人権問題に関するイベント(かいなん人权フェスティバル等)を開催する	—	15.5%
5 その他	—	3.6%
6 わからない	—	22.6%

問37 今後、海南市では男女共同参画を推進するために、どのような事業に力を入れていくべきだと思いますか

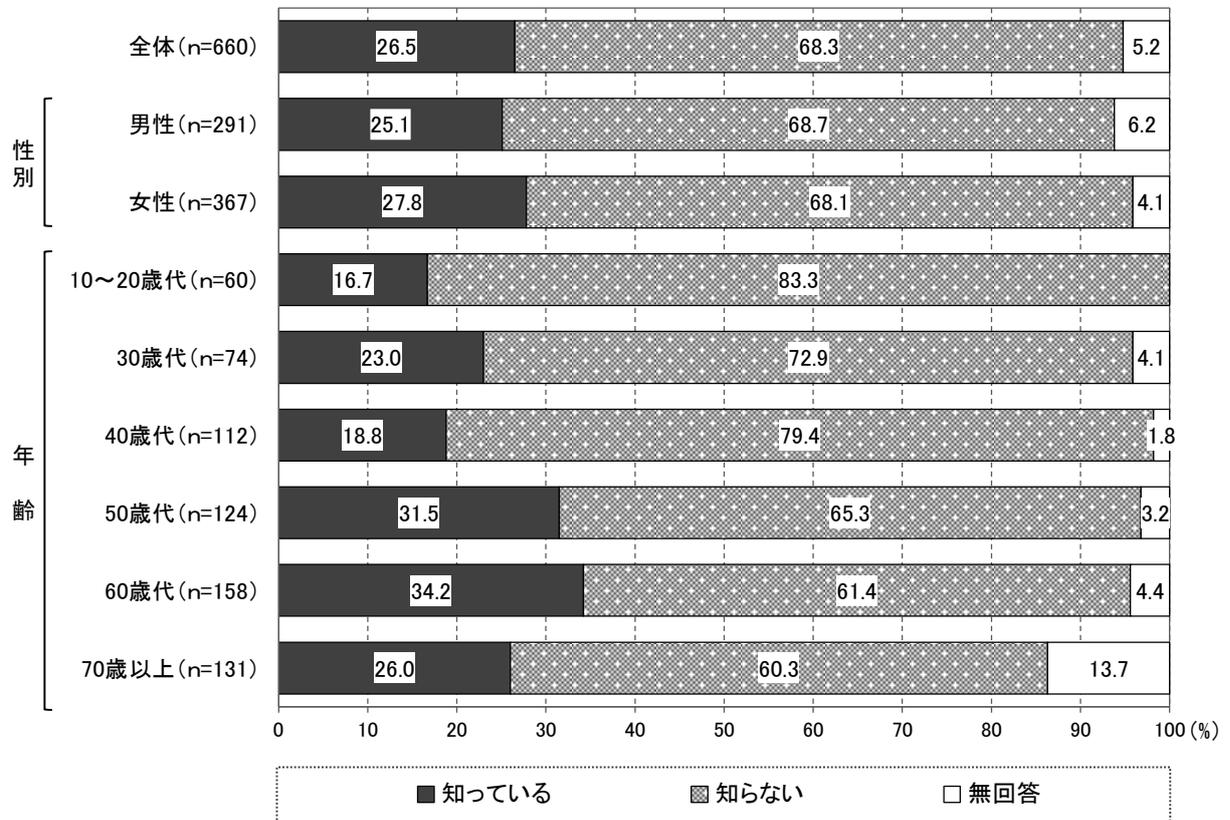
1 市の広報紙、啓発冊子やパンフレットの配布等を通じ、推進活動を行う	—	32.0%
2 男女共同参画に関する自由な意見交換のできる場(ワークショップ等)をもつ	—	13.3%
3 男女共同参画を扱った映画やビデオの上映会、講演会、研修会を開催す	—	8.2%
4 男女共同参画に関するイベント(かいなん男(ひと)と女(ひと)のつどい等)を開催する	—	14.1%
5 その他	—	2.4%
6 わからない	—	23.6%

※前回は、設問を2つに分けているため、参考比較とします。

問 29

人権や男女共同参画に関する悩みや困り事について相談できる公の機関や窓口をご存じですか。

全体では、「知っている」が26.5%、「知らない」が68.3%となっています。

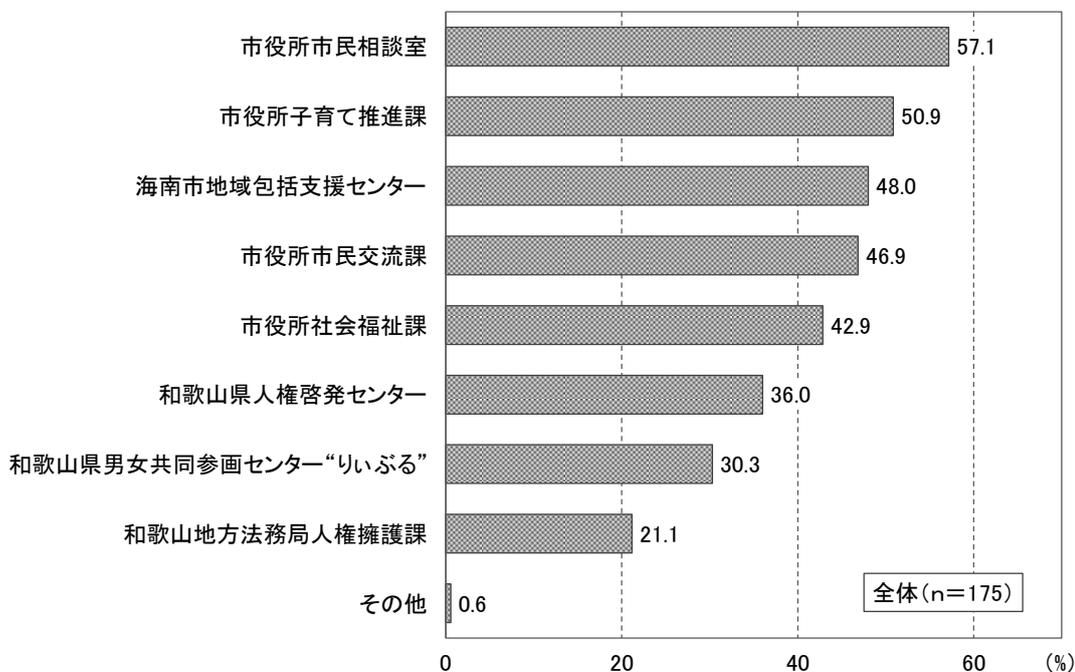


※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

問 29-1

◆問 29 で「1. 知っている」と答えた方。
 どの相談機関や窓口を知っていますか。【複数回答可】

「市役所市民相談室」が 57.1%と最も高く、次いで、「市役所子育て推進課」(50.9%)、「海南市地域包括支援センター」(48.0%) の順となっています。



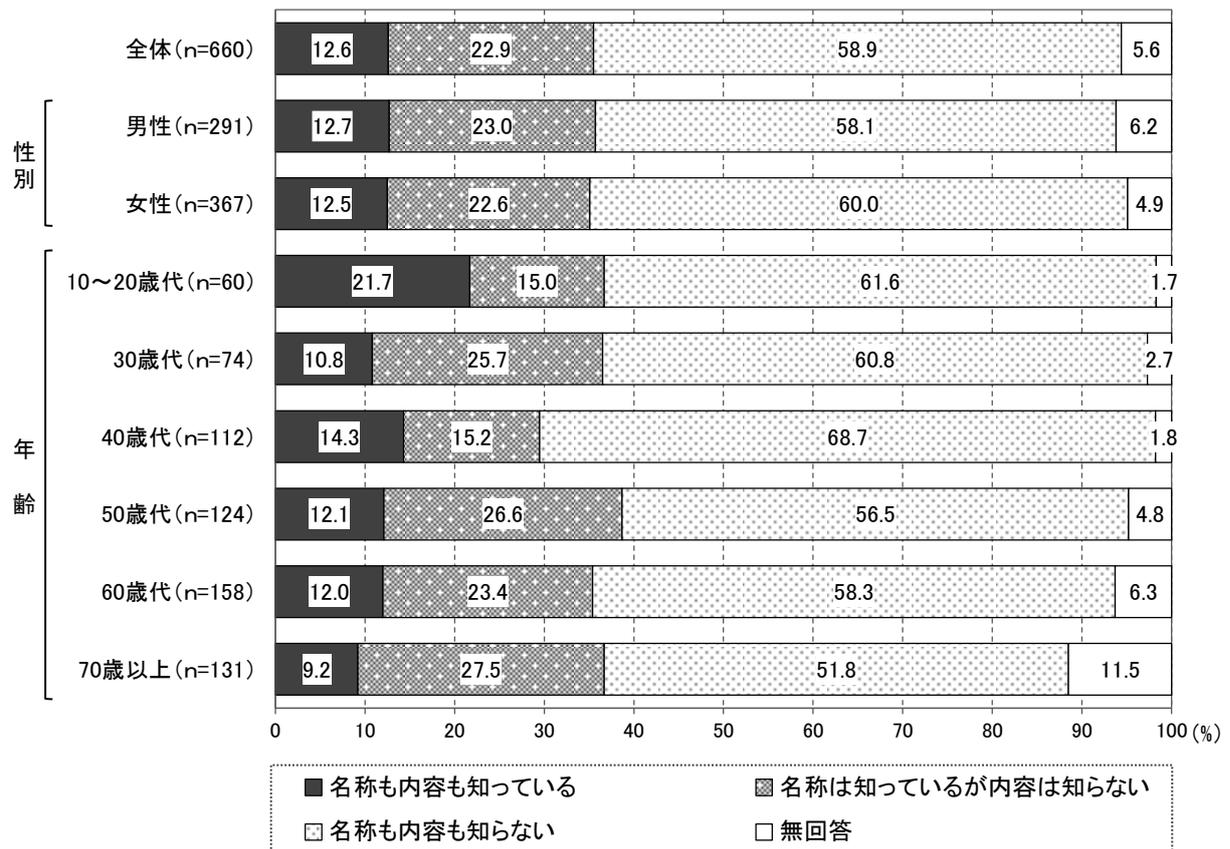
		(n=)	市役所市民交流課	市役所市民相談室	市役所子育て推進課	海南市地域包括支援センター	市役所社会福祉課	和歌山県人権啓発センター	和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”	和歌山地方法務局人権擁護課	その他
全体		175	82	100	89	84	75	63	53	37	1
			46.9%	57.1%	50.9%	48.0%	42.9%	36.0%	30.3%	21.1%	0.6%
性別	男性	73	43	44	35	33	38	34	23	20	0
			58.9%	60.3%	47.9%	45.2%	52.1%	46.6%	31.5%	27.4%	0.0%
	女性	102	39	56	54	51	37	29	30	17	1
			38.2%	54.9%	52.9%	50.0%	36.3%	28.4%	29.4%	16.7%	1.0%
年齢	10～20歳代	10	5	3	7	2	3	4	3	0	0
			50.0%	30.0%	70.0%	20.0%	30.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	17	9	7	12	8	9	9	10	5	0
			52.9%	41.2%	70.6%	47.1%	52.9%	52.9%	58.8%	29.4%	0.0%
	40歳代	21	6	10	13	8	8	13	11	5	1
			28.6%	47.6%	61.9%	38.1%	38.1%	61.9%	52.4%	23.8%	4.8%
	50歳代	39	22	23	17	16	16	13	12	6	0
		56.4%	59.0%	43.6%	41.0%	41.0%	33.3%	30.8%	15.4%	0.0%	
60歳代	54	19	33	28	28	19	16	12	11	0	
		35.2%	61.1%	51.9%	51.9%	35.2%	29.6%	22.2%	20.4%	0.0%	
70歳以上	34	21	24	12	22	20	8	5	10	0	
		61.8%	70.6%	35.3%	64.7%	58.8%	23.5%	14.7%	29.4%	0.0%	

※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

問 30 次の名称や内容についてご存じですか。(当てはまる番号それぞれに○)

① ポジティブ・アクション

全体では、「名称も内容も知らない」が58.9%と最も高く、次いで、「名称は知っているが内容は知らない」(22.9%)、「名称も内容も知っている」(12.6%)の順となっています。



※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

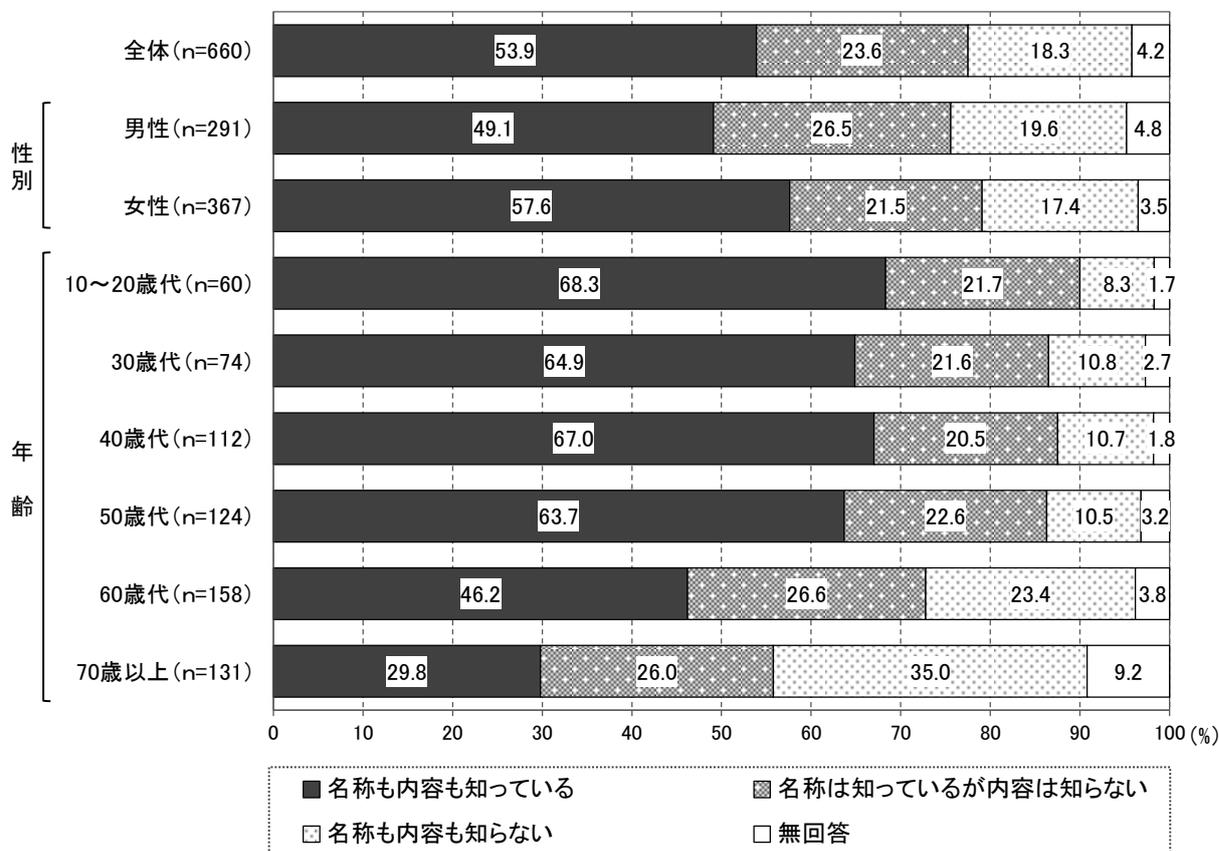
ポジティブ・アクションとは？

「積極的改善措置」と併記されることが多く、様々な分野への活動に参画する機会の男女間格差をなくすため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供することをいいます。

例として、企業において「営業職に女性はほとんどいない」、「課長以上の管理職は男性が大半を占めている」等の差が男女労働者の間に生じている場合に、このような差を解消しようと、個々の企業が行う取り組みなどが挙げられます。

② ジェンダー

全体では、「名称も内容も知っている」が53.9%と最も高く、次いで、「名称は知っているが内容は知らない」(23.6%)、「名称も内容も知らない」(18.3%)の順となっています。



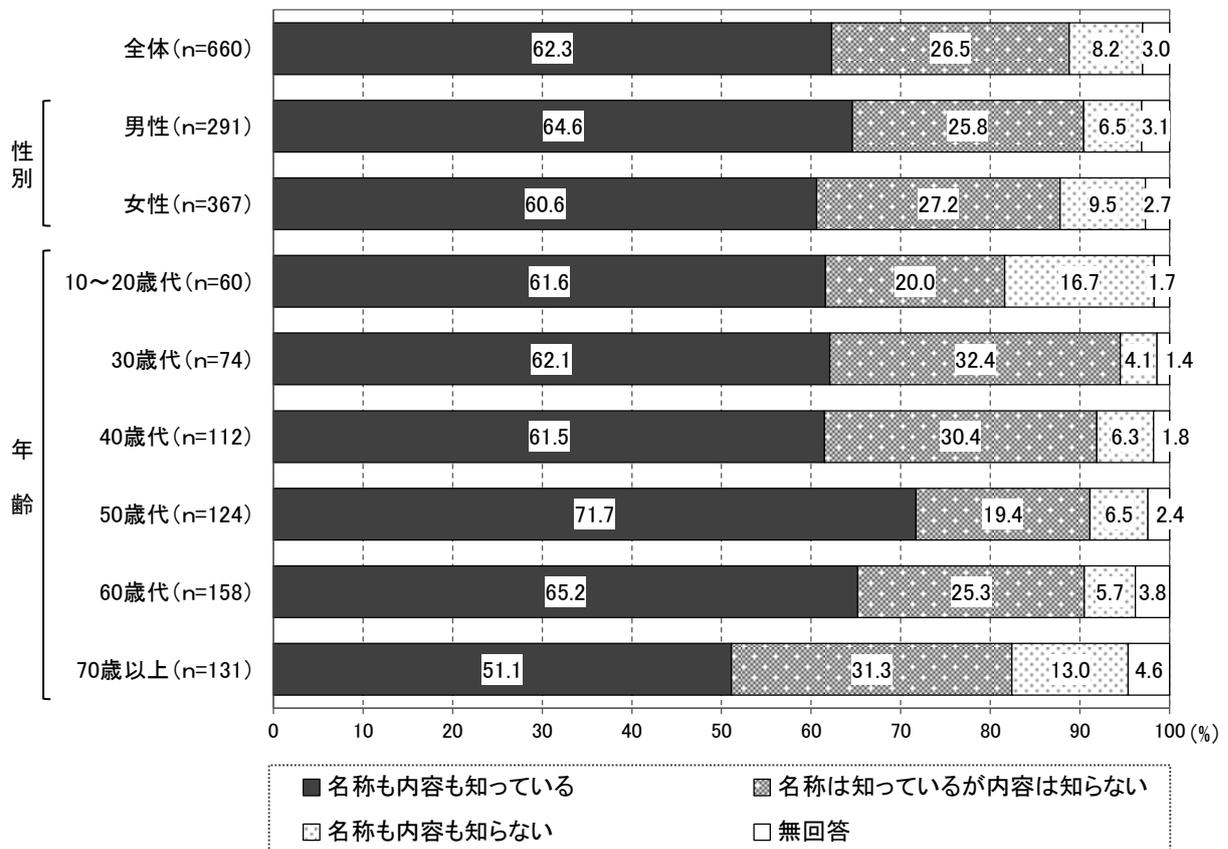
※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

ジェンダーとは？

「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／gender）という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。

③ 男女雇用機会均等法

全体では、「名称も内容も知っている」が62.3%と最も高く、次いで、「名称は知っているが内容は知らない」(26.5%)、「名称も内容も知らない」(8.2%)の順となっています。



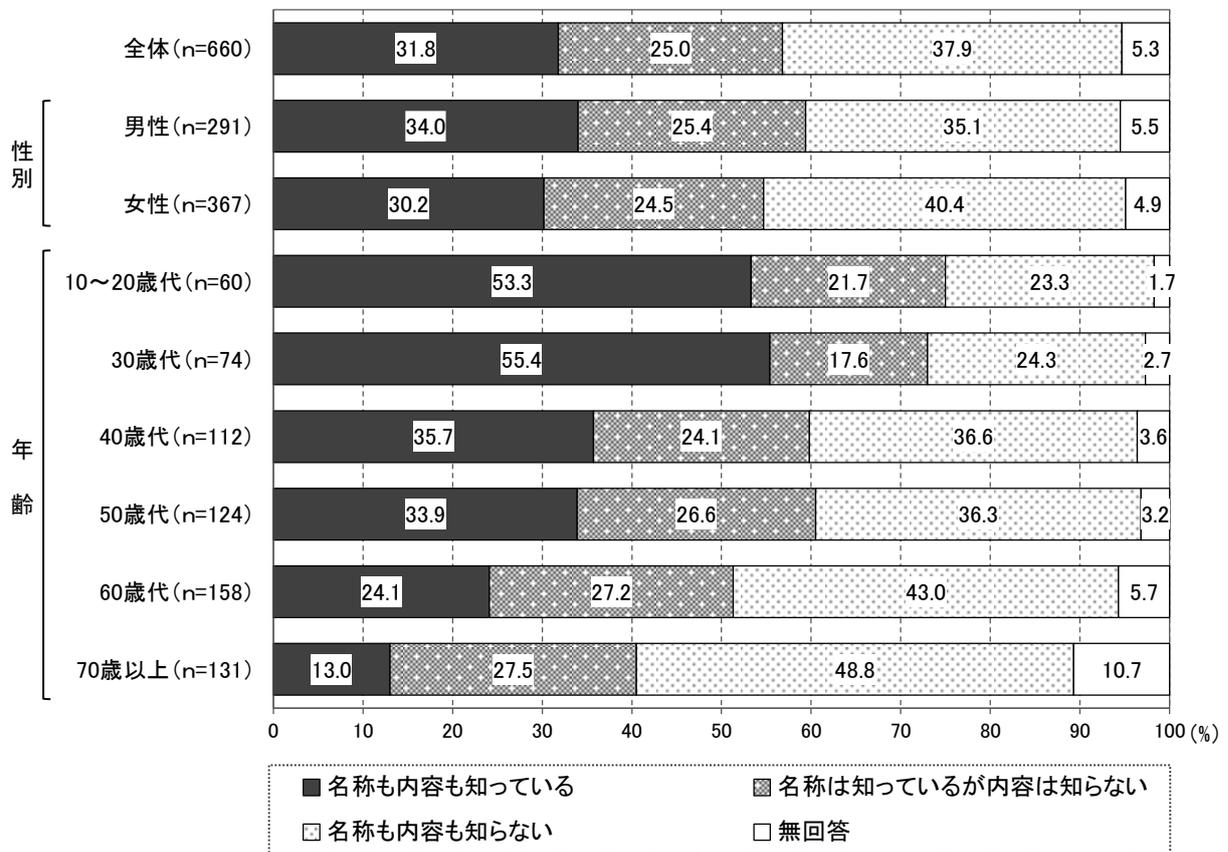
※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

男女雇用機会均等法とは？

職場における男女の差別を禁止し、募集・採用・昇給・昇進・教育訓練・定年・退職・解雇などの面で男女とも平等に扱うことを定めた法律。1985年制定、翌86年より施行。その後、97年に一部改正され、女性保護のために設けられていた時間外や休日労働、深夜業務などの規制を撤廃。さらにセクシャルハラスメント防止のため、事業主に対して雇用上の管理を義務づけている。

④ ワーク・ライフ・バランス

全体では、「名称も内容も知らない」が37.9%と最も高く、次いで、「名称も内容も知っている」(31.8%)、「名称は知っているが内容は知らない」(25.0%)の順となっています。



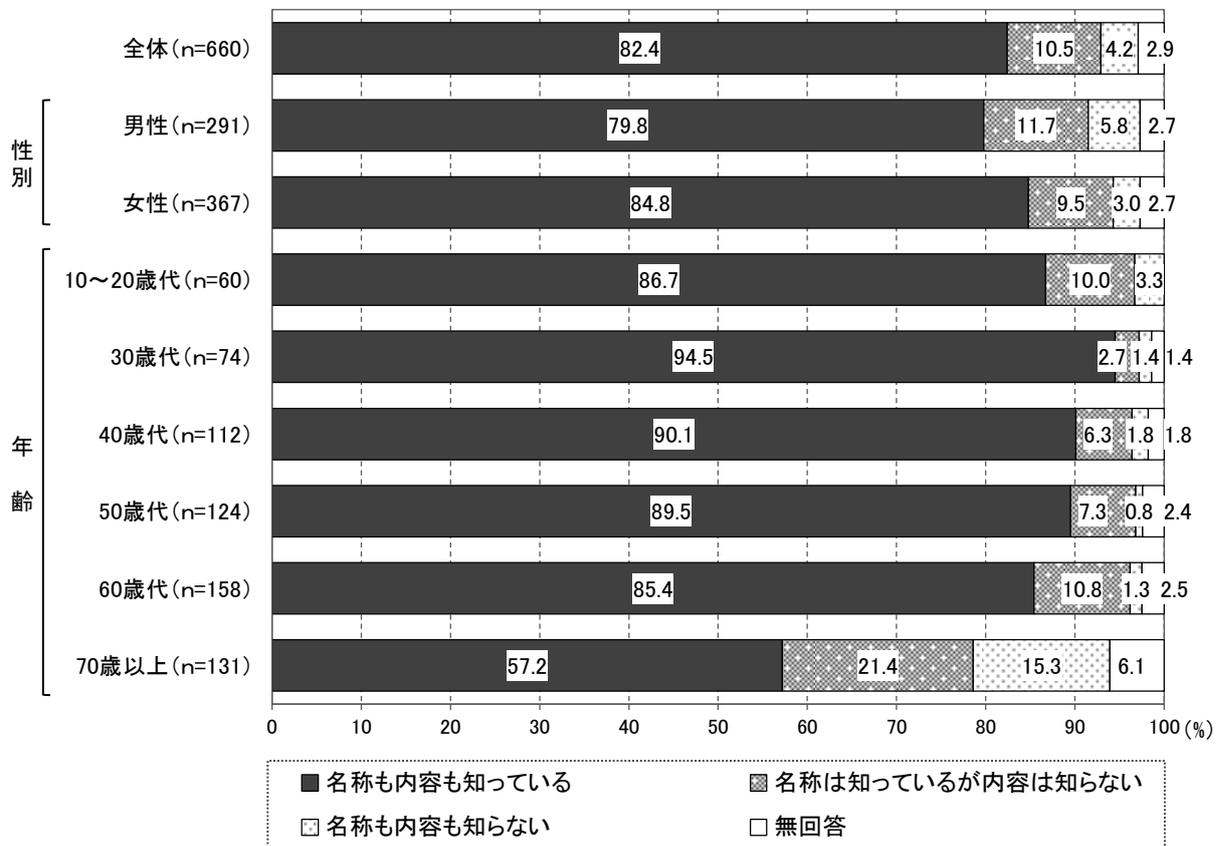
※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

ワーク・ライフ・バランスとは？

「仕事と生活の調和」の意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えることをさす。

⑤ DV

全体では、「名称も内容も知っている」が82.4%と最も高く、次いで、「名称は知っているが内容は知らない」(10.5%)、「名称も内容も知らない」(4.2%)の順となっています。



※この設問は新規設定につき、前回調査には同様の設問がありません。

DVとは？

「ドメスティックバイオレンス」の略。家庭内における暴力行為。特に、配偶者や恋人など近しい関係にある異性への暴力。身体的な暴力行為のほか、精神的・性的暴力も含む。

■問 30 参考

(前回)

問35 次の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるもの全てに○をつけてください

		前回(H27) n=753
1	男女共同参画社会	46.9%
2	女子差別撤廃条約	11.2%
3	ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	7.8%
4	ジェンダー(社会的性別)	21.6%
5	男女雇用機会均等法	67.3%
6	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	19.5%
7	DV(配偶者からの暴力)	70.5%
8	見たり聞いたりしたものはない	10.6%

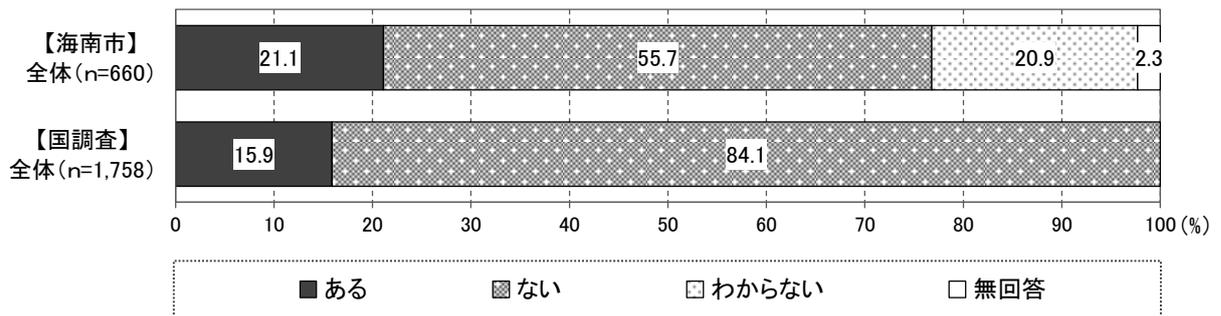
※前回は、設問設定が異なるため、参考とします。

Ⅲ 国・県との比較（参考）

参考として、今回の調査結果をもとに国と県の同様の調査結果との比較を行いました。

問8 これまでに自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。

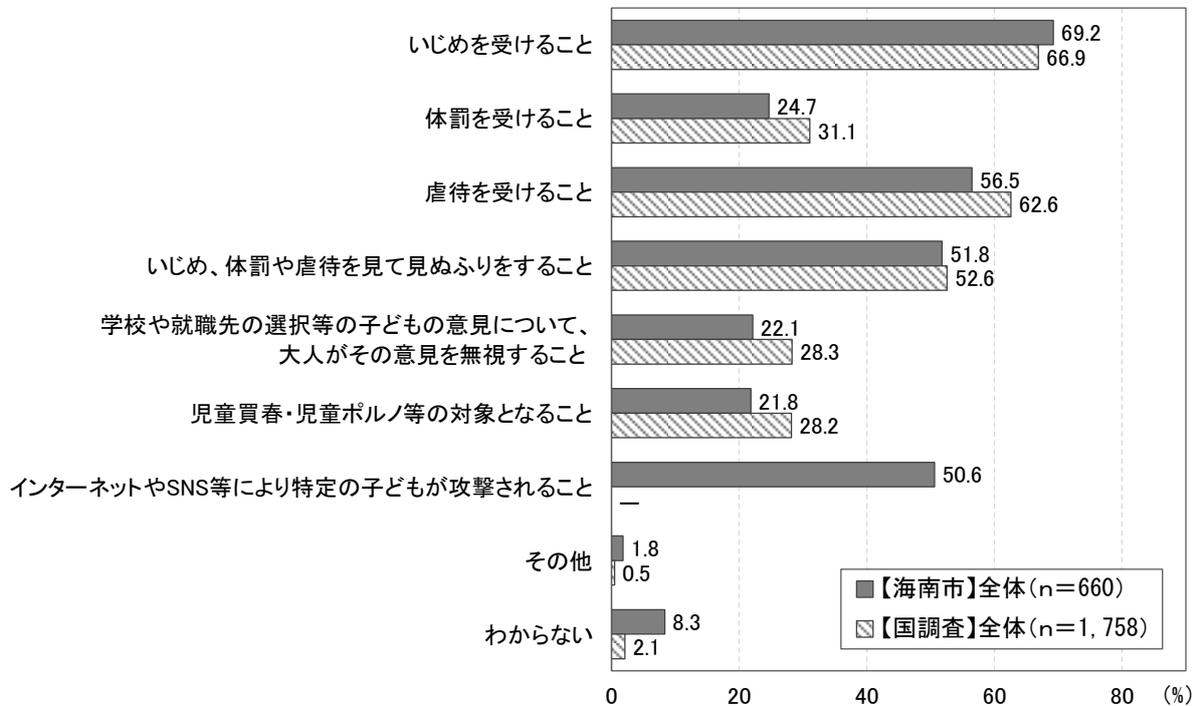
【国】人権擁護に関する世論調査（平成29年度）との比較



◇人権の侵害に関して、「ある」が国調査と比べて海南市では割合が高くなっています。

問 10 あなたは、子どもに関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

【国】人権擁護に関する世論調査（平成 29 年度）との比較

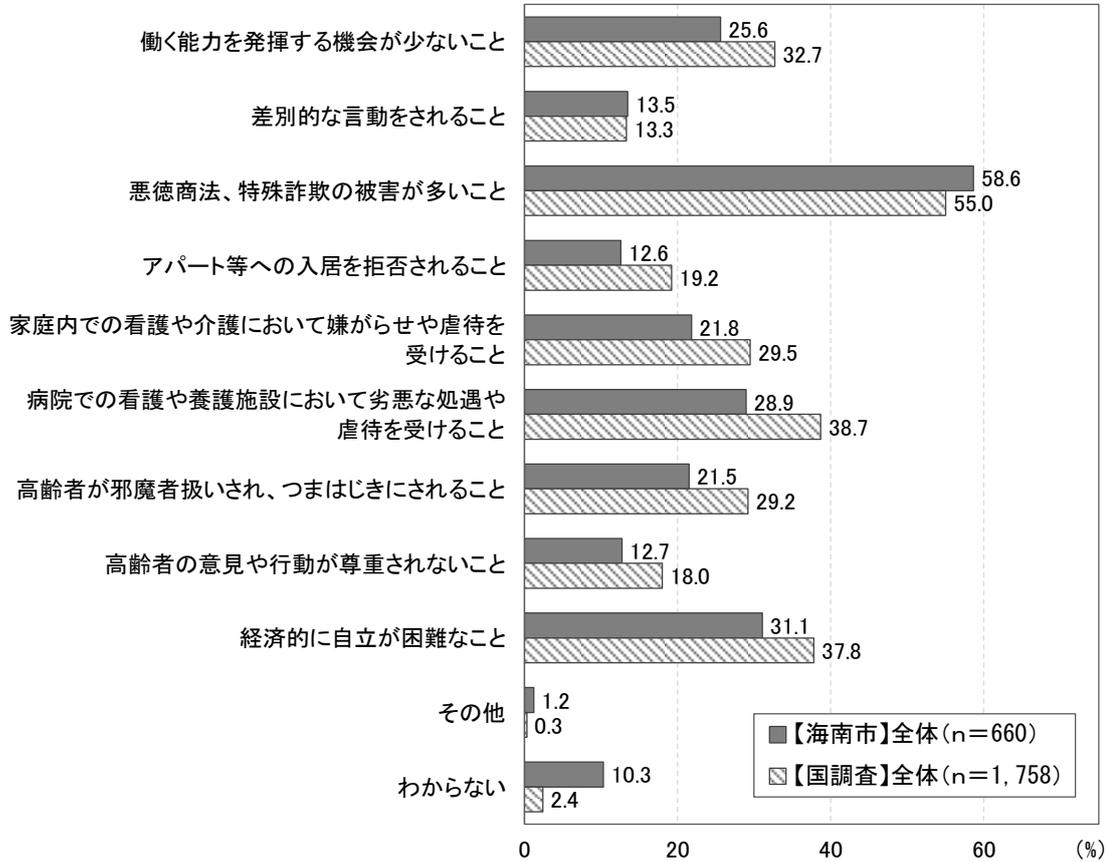


※「インターネットや SNS 等により特定の子どもが攻撃されること」については、国調査には選択肢がありません。

◇子どもに関する人権問題について、海南省では国調査と比べて、「体罰」、「虐待」、「子どもの意見への無視」、「児童買春、児童ポルノ」の項目で割合が低く、その他の項目については変わらない傾向にあります。

問 11 あなたは、高齢者に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

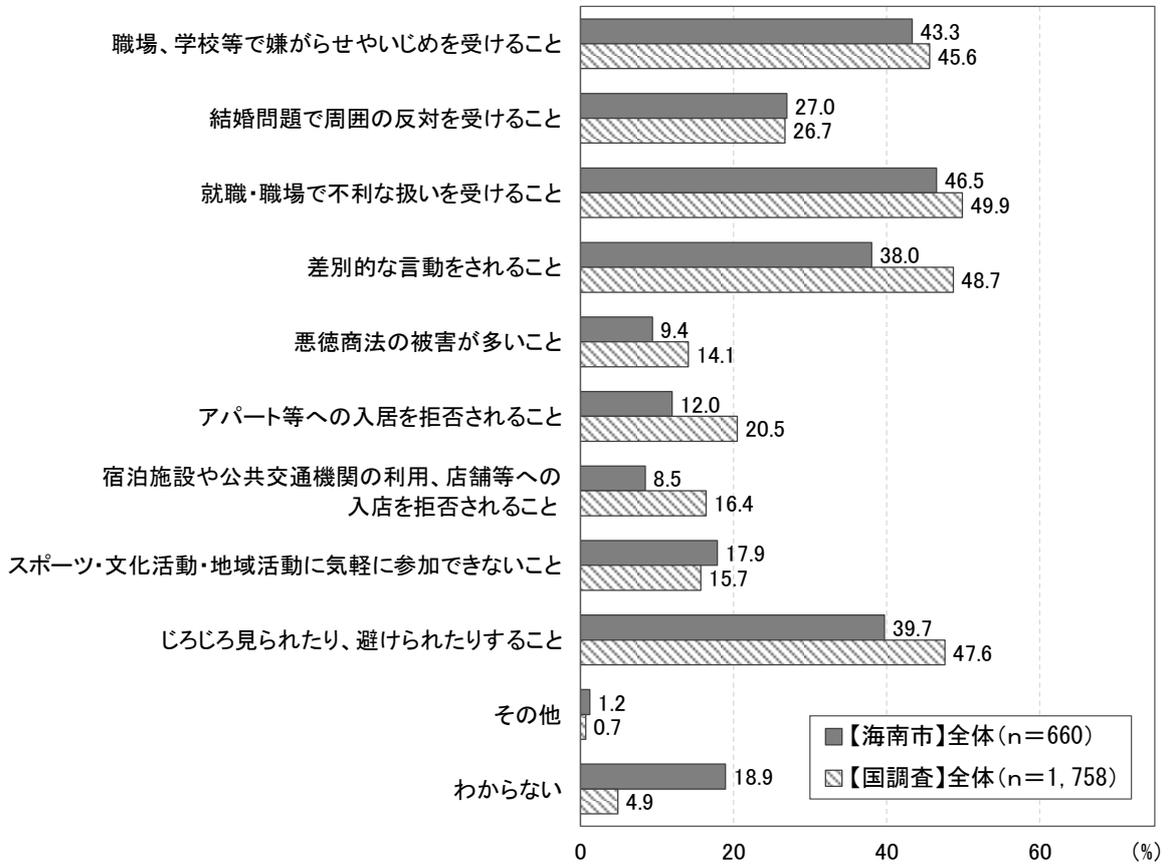
【国】人権擁護に関する世論調査（平成 29 年度）との比較



◇高齢者に関する人権問題について、海南省では国調査と比べて、「働く能力の発揮」、「アパート等への入居拒否」、「家庭内での虐待」、「施設等での虐待」、「邪魔者扱い」、「意見や行動への尊重」、「経済的な自立」について割合が低く、その他の項目については変わらない傾向にあります。

問 12 あなたは、障害のある人に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

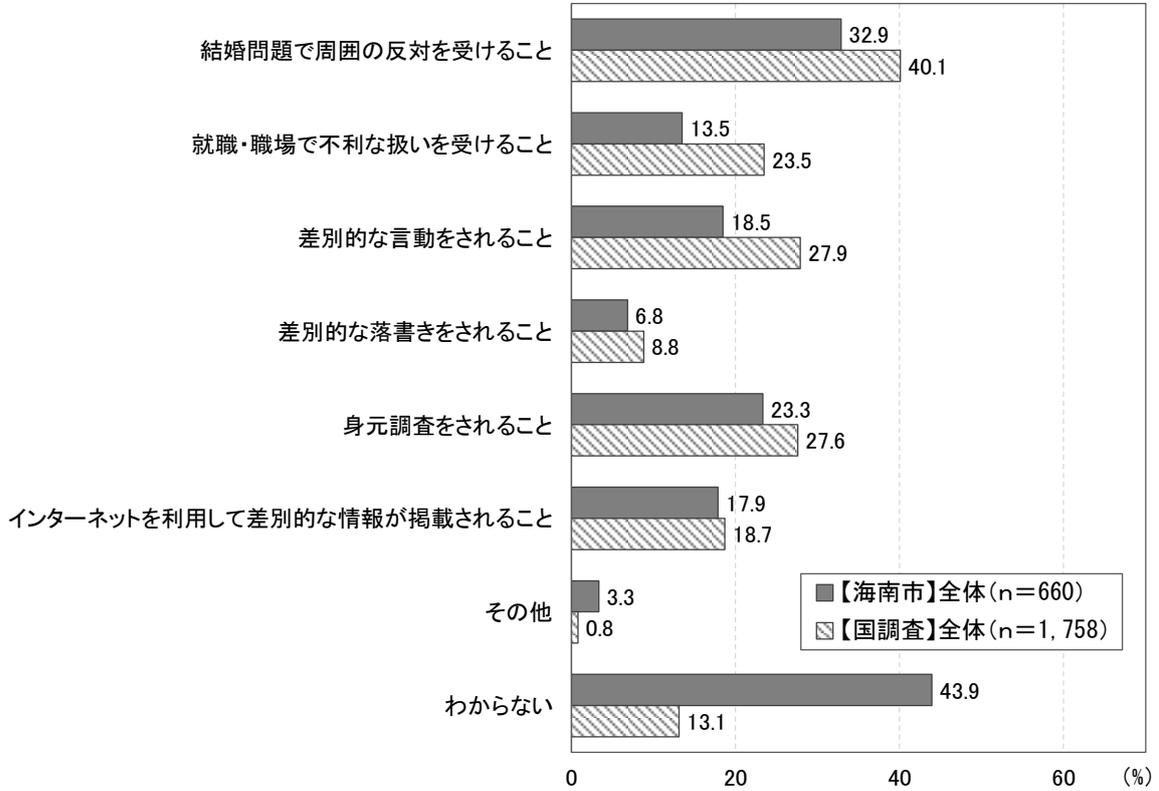
【国】人権擁護に関する世論調査（平成 29 年度）との比較



◇障害のある人に関する人権問題について、海南省では国調査と比べて、「差別的な言動」、「アパート等への入居拒否」、「施設や店舗等への入店拒否」、「じろじろ見られたり、避けられたりする」の割合が低く、その他の項目については変わらない傾向にあります。

問 13 あなたは、部落差別等の同和問題に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

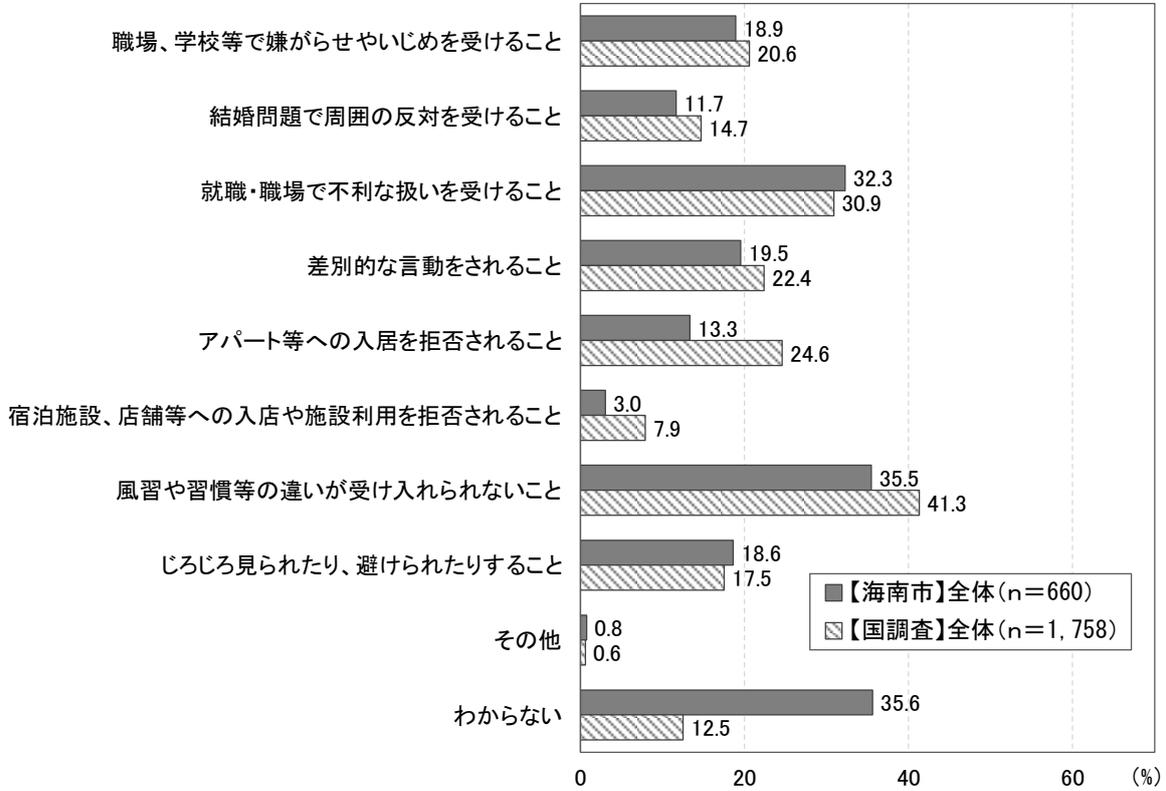
【国】人権擁護に関する世論調査（平成 29 年度）との比較



◇部落差別等の同和問題に関する人権問題について、国調査と比べて、海南市では全体的に割合が低い傾向にあります。

問 14 あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

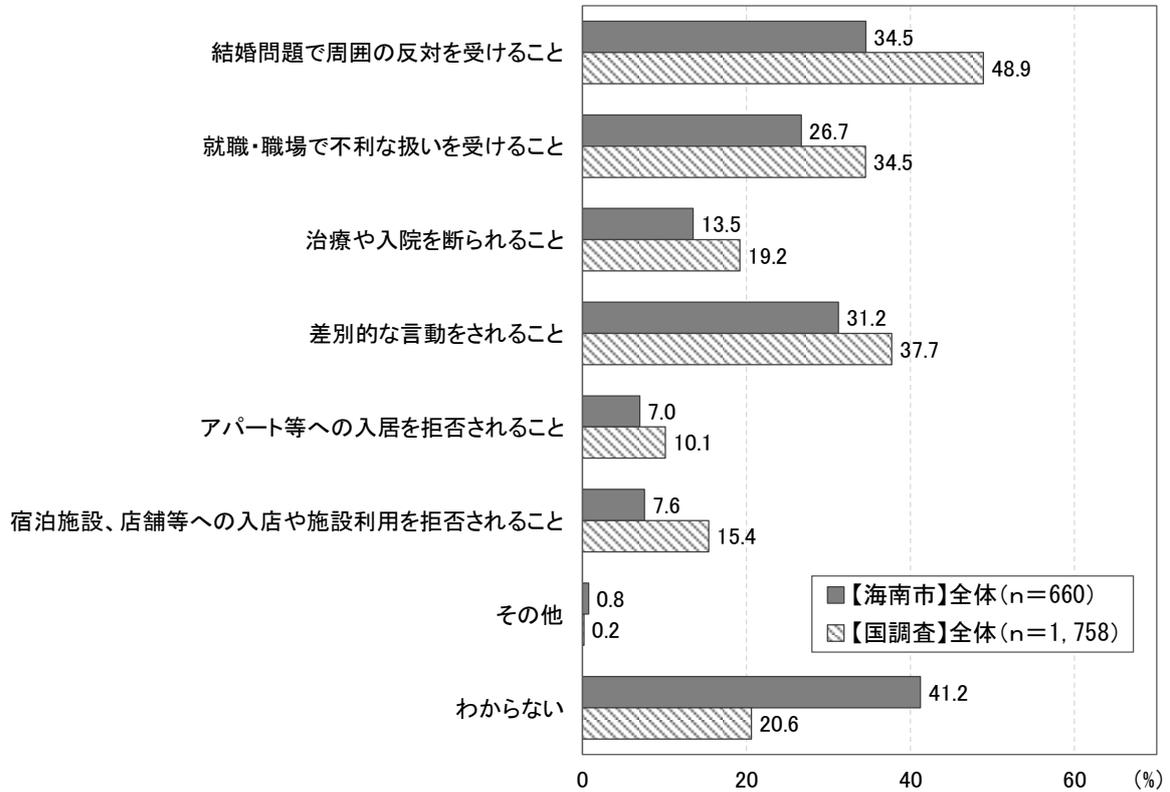
【国】人権擁護に関する世論調査（平成 29 年度）との比較



◇外国人に関する人権問題について、海南市では国調査と比べて、「アパート等への入居拒否」、「風習や慣習等の違い」の割合が低く、その他の項目については変わらない傾向にあります。

問 15 あなたは、H I V感染者やかつてハンセン病を患った人、難病患者等に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
【複数回答可】

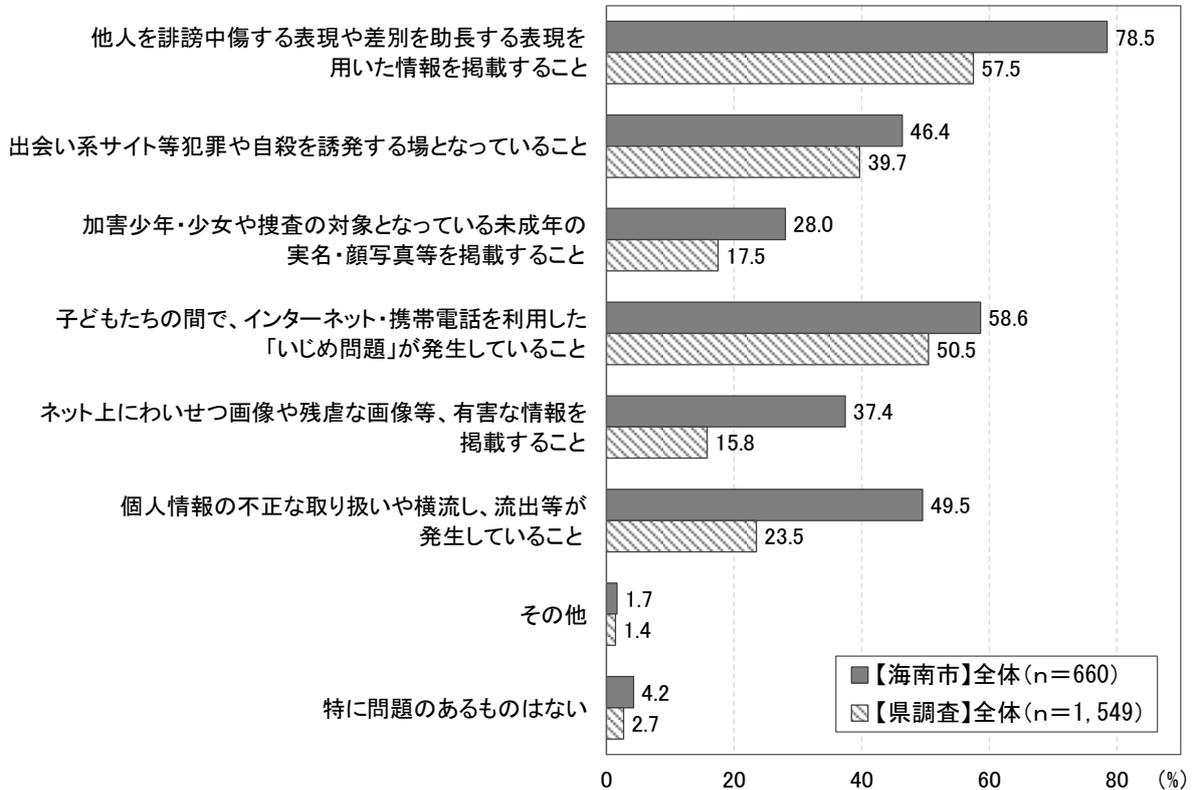
【国】人権擁護に関する世論調査（平成 29 年度）との比較



◇H I V感染者やかつてハンセン病を患った人、難病患者等に関する人権問題について、国調査と比べて、海南省では全体的に割合が低い傾向にあります。

問 16 あなたは、インターネット等を利用した人権侵害やプライバシーに係る人権侵害に関して、現在、特にどのようなことが問題だと思えますか。
【複数回答可】

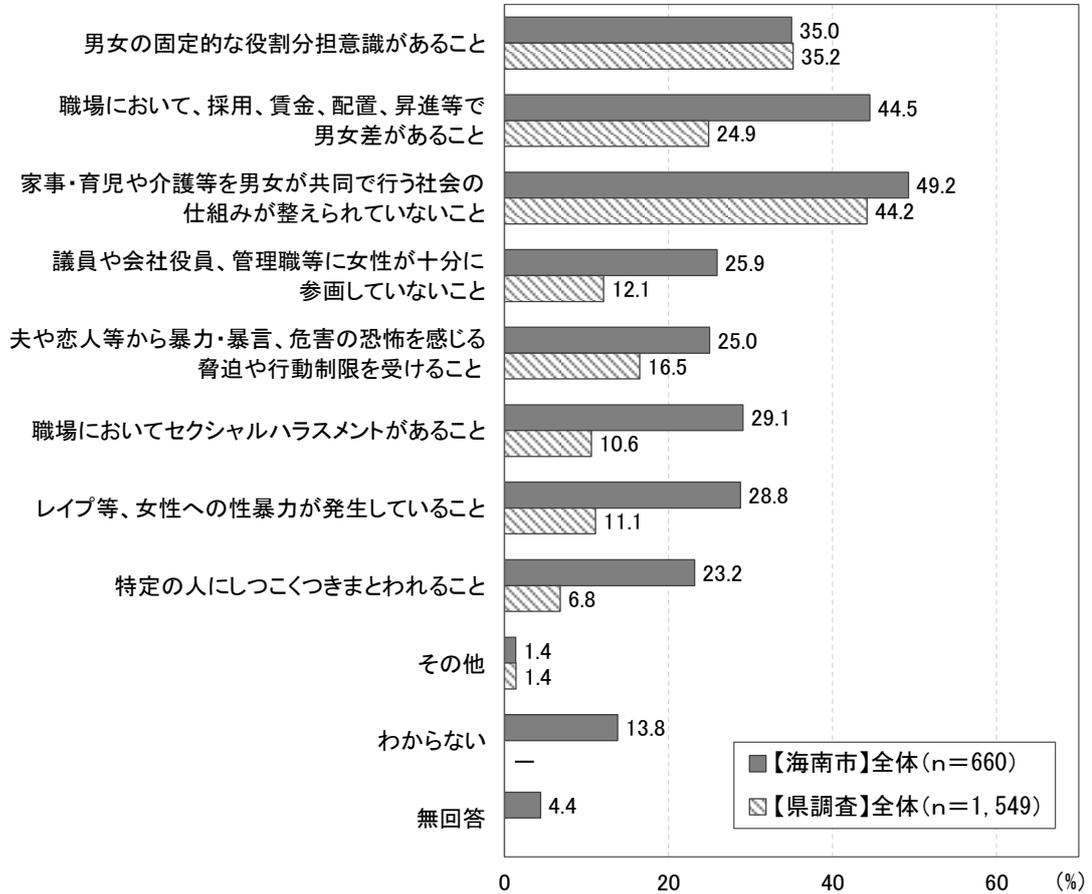
【県】和歌山県人権に関する県民意識調査（平成 30 年度）との比較



◇インターネット等を利用した人権侵害やプライバシーに係る人権侵害について、県調査と比べて、海南市では全体的に割合が高い傾向にあります。

問 17 あなたは、女性に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【複数回答可】

【県】和歌山県人権に関する県民意識調査（平成 30 年度）との比較



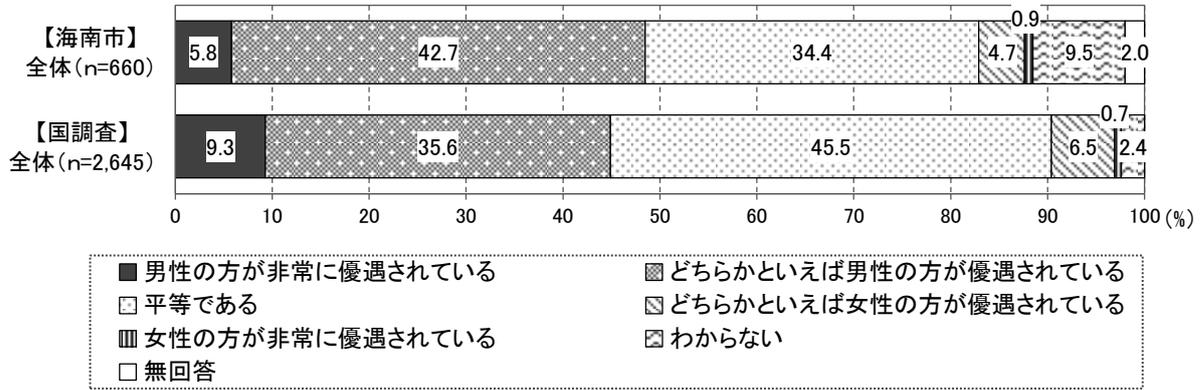
※「わからない」については、県調査には選択肢がありません。

◇女性に関する人権問題について、県調査と比べて、海南市では全体的に割合が高い傾向にあります。

問 18 男女の地位は平等になっていると思いますか。次の項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

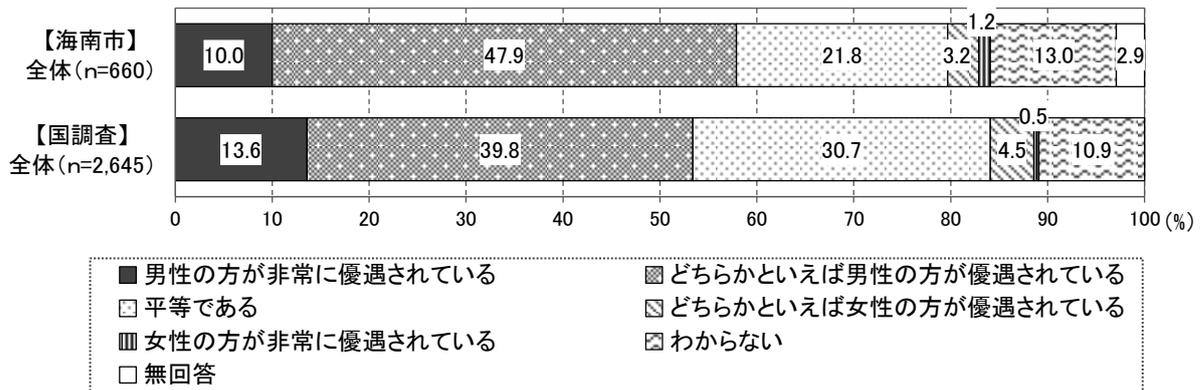
【国】男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年度）との比較

① 家庭生活では



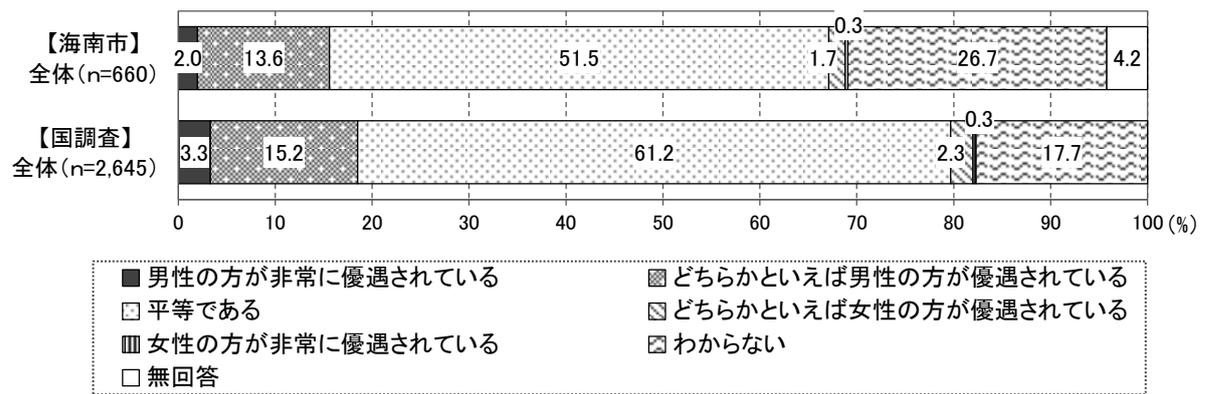
◇家庭生活では、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」＋「男性の方が優遇」の割合が高く、「平等である」の割合が低くなっています。

② 職場では



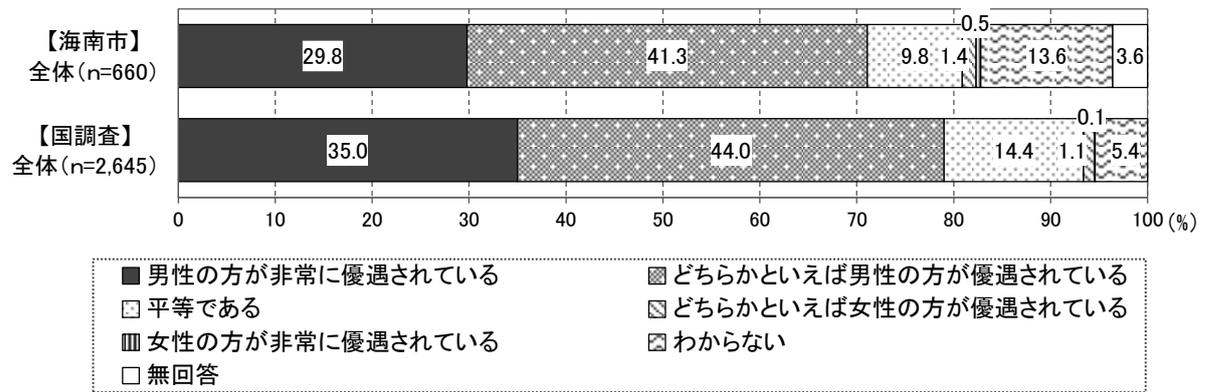
◇職場では、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」＋「男性の方が優遇」の割合が高く、「平等である」の割合が低くなっています。

③ 学校教育の場では



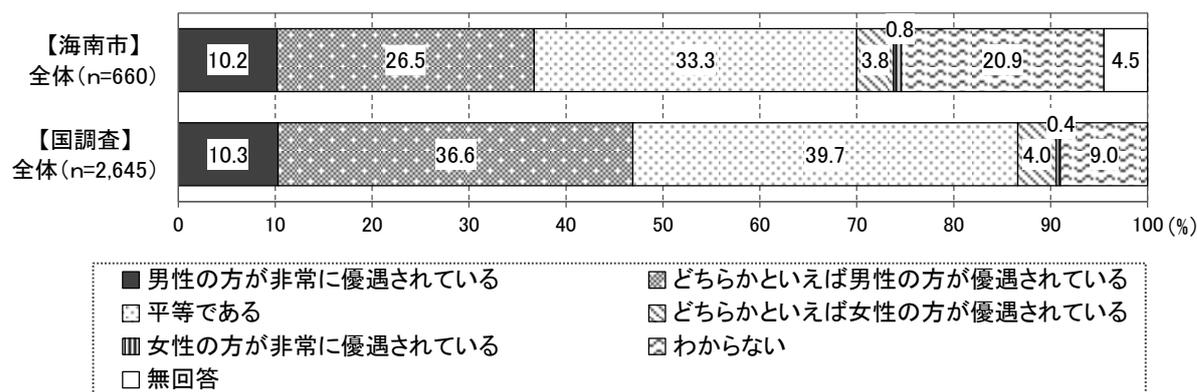
◇学校教育の場では、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」＋「男性の方が優遇」の割合が低くなっていますが、「平等である」の割合も低くなっています。

④ 政治の場では



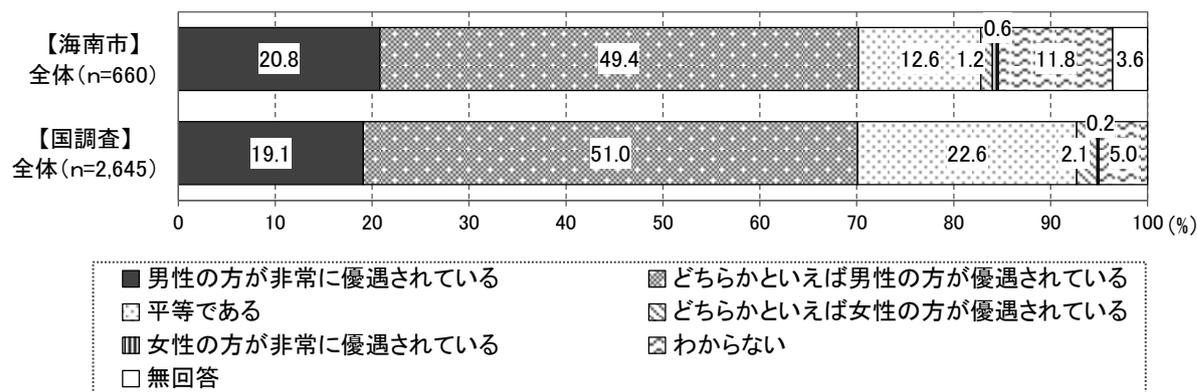
◇政治の場では、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」＋「男性の方が優遇」の割合が低くなっていますが、「平等である」の割合も低くなっています。

⑤ 法律や制度のうえでは



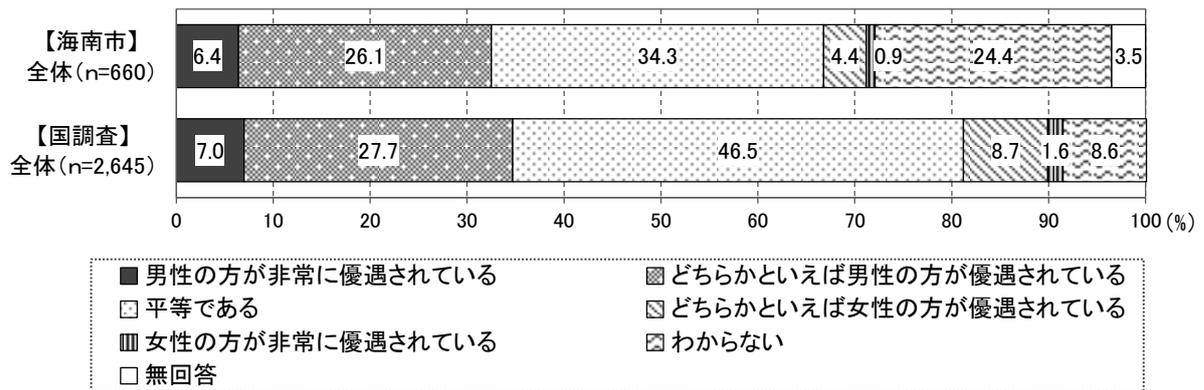
◇法律や制度のうえでは、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」＋「男性の方が優遇」の割合が低くなっていますが、「平等である」の割合も低くなっています。

⑥ 社会通念・慣習・しきたり等では



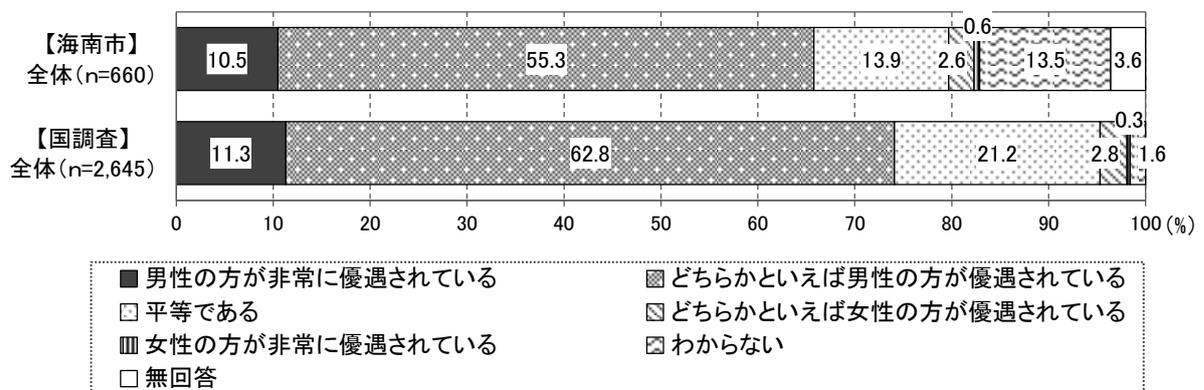
◇社会通念・慣習・しきたり等では、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」＋「男性の方が優遇」の割合はほぼ同様ですが、「平等である」の割合は低くなっています。

⑦ 自治会やPTA等の地域活動の場では



◇自治会やPTA等の地域活動の場では、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」+「男性の方が優遇」の割合が低くなっていますが、「平等である」の割合も低くなっています。

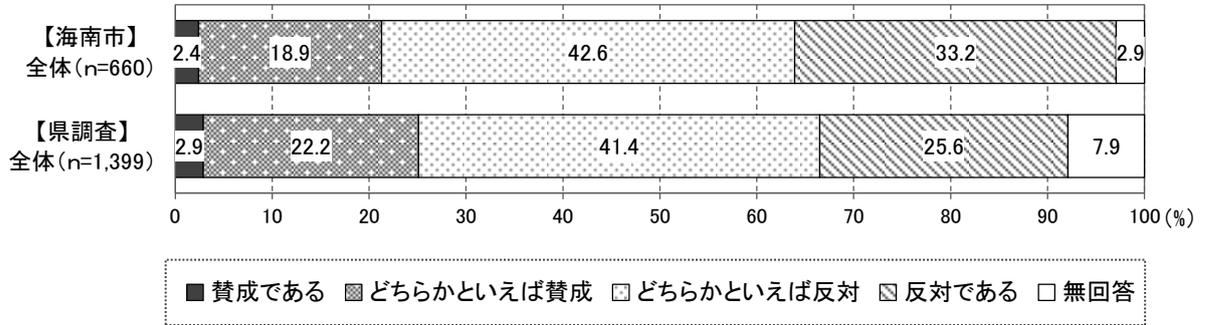
⑧ 社会全体では



◇社会全体では、国調査と比べて、海南省では「男性の方が非常に優遇」+「男性の方が優遇」の割合が低くなっていますが、「平等である」の割合も低くなっています。

問 19 「男は仕事、女は家庭」に代表されるように、性別によって男女の役割を決めるような考え方について、あなたはどのように思いますか。

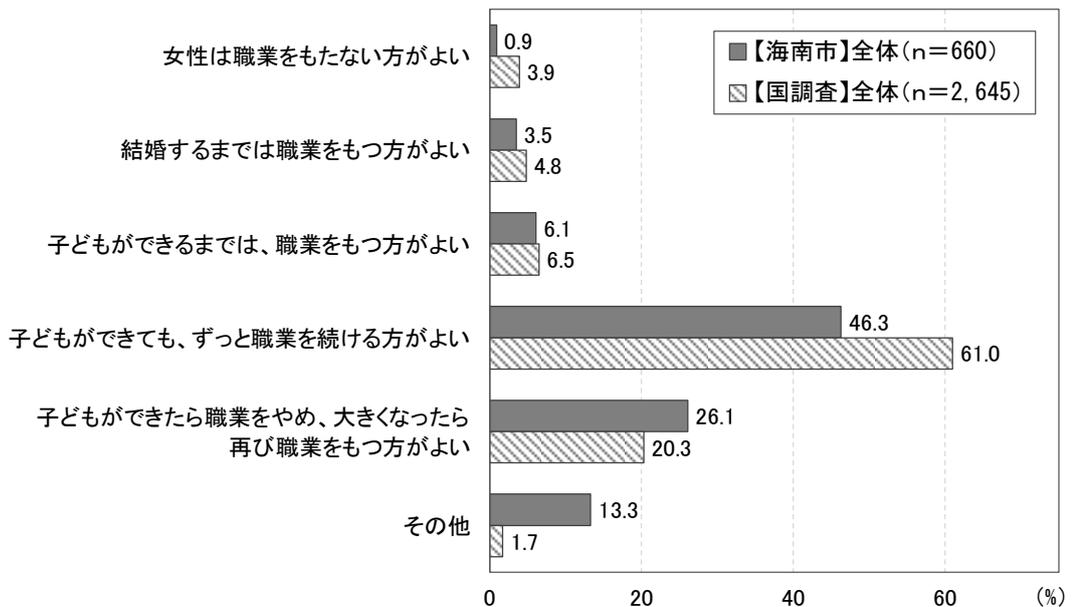
【県】和歌山県男女共同参画に関する県民意識調査（令和2年度）との比較



◇性別によって男女の役割を決めるような考え方について、県調査と比べて、海南市では「賛成」＋「どちらかといえば賛成」の割合が低く、「どちらかといえば反対」＋「反対」の割合が高くなっています。

問 23 一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。

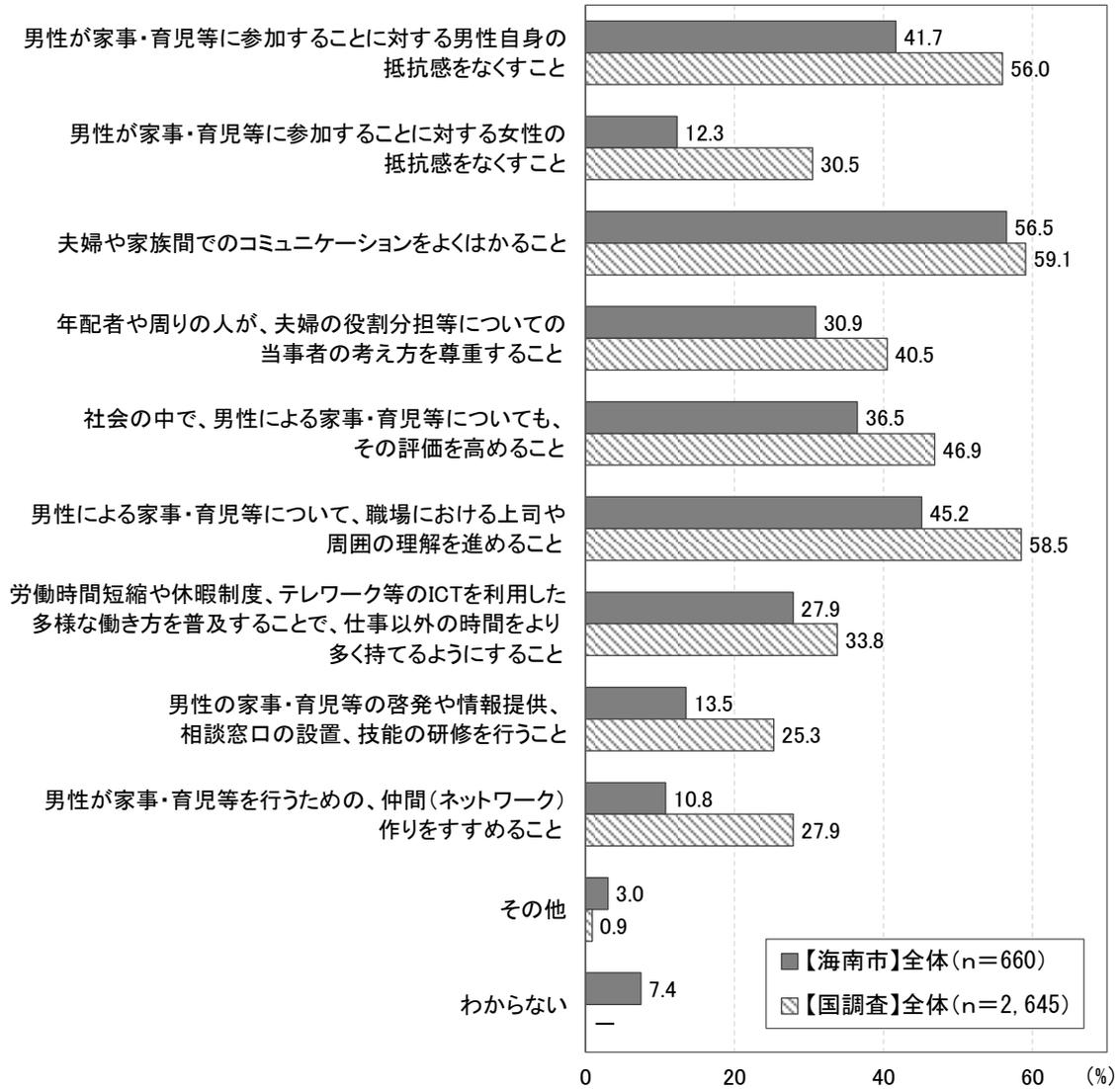
【国】男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年度）との比較



◇女性が職業を持つことについて、国調査と比べて、海南市では「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」の割合が低く、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が高くなっています。

問 26 今後、男性が家事、子育て、介護等に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。【複数回答可】

【国】男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年度）との比較



※「わからない」については、国調査には選択肢がありません。

◇男性の家事、子育て、介護等への積極的な参加に関する必要な事柄について、国調査と比べて、海南省では全体的に割合が低い傾向にあります。

IV 調査票（参考）

人権・男女共同参画市民意識調査 ～ご協力をお願いします～

市民の皆様におかれましては、日頃から市政の運営に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

海南市では、人権施策推進行動計画並びに男女共同参画基本計画を策定し、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現のため取り組みを進めています。今年度は、それぞれの計画の改定年となっており、本調査により市民の皆さまの人権及び男女共同参画に関するお考えやご意見をおうかがいし、計画策定の基本的な資料とさせていただきたいと考えております。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年7月 海 南 市

- この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方（2,000人）を対象に実施しております。
- 回収された調査内容は、計画策定に関する目的以外に使用することはありません。
- この調査は無記名のため、個人が特定されることはありません。

《ご記入に当たって》

- ご回答は、令和3年7月1日時点の状況を、封筒のあて名のご本人が行ってください。
- ご本人がお答えになりにくい、あるいはできない場合は、ご家族の方等がご本人の立場になってご回答いただいても構いません。
- それぞれの設問について、当てはまる番号に○をしてください。
- 「その他」を選ばれた場合や最終設問の「自由記述」については、お考えやご意見をご記入ください。

ご記入いただいた調査票は、**令和3年8月3日（火）までに**
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

《お問い合わせ先》

海南市 総務部 市民交流課 人権推進係

TEL：483-8439 FAX：482-0099

E-mail:siminkoryu@city.kainan.lg.jp

◆人権について◆

人権とは、私たちが幸せに生きるための権利であり、人種や民族、性別等に関わらず一人ひとりに備わった権利です。本市では、女性、子ども、高齢者、障害のある人をはじめ、あらゆる立場の方に関する人権啓発と人権教育の推進、差別の解消等、人権の尊重につながる様々な取り組みを進めています。

○人権感覚の醸成

人権が尊重される社会を実現するためには、差別や偏見を解消し、人権感覚を醸成することが重要であることから、人権について学べるよう、人権啓発・教育の推進に努めています。

○人権侵害を防ぐための環境整備

すべての人々が、家庭や職場、地域社会等、あらゆる場面で人権が守られ、安心して暮らせるよう、公共施設等のバリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進、災害時の支援体制整備等、ハード・ソフト両面からの環境整備に努めています。

○相談・支援体制の充実

人権侵害を受けた人や人権問題に悩んでいる人が早期に相談・支援が受けられるよう、国や県、関係団体等との連携を図りながら、相談・支援体制の充実に努めています。

◆男女共同参画について◆

男女共同参画社会とは、「女性」や「男性」というイメージにあてはめることなく、一人ひとりがあらゆる分野で活動に参画する機会が確保され、それぞれの個性や能力が十分に発揮される社会のことです。本市では、男女共同参画社会基本法の趣旨に基づき、男女が互いの人権を尊重できる社会の実現のための様々な取り組みを進めています。

○人権尊重に基づく男女の共同参画意識の醸成

男女共同参画の視点に立った啓発活動をはじめ、男女共同参画の進展が十分でない社会制度や慣行等の見直し、相談・支援体制等の充実・強化等により意識の醸成を図っています。

○男女があらゆる分野において対等に参画できるしくみづくり

家庭や地域生活、職場等、あらゆる分野で男女が対等に参画できるしくみを促進しています。

○多様な生き方を選択できる条件の整備

女性の職業能力向上のための支援やワーク・ライフ・バランスの推進により、女性が就労を継続しながら家庭生活を両立でき、社会で活躍できる環境づくりを促進しています。

○男女間のあらゆる暴力の根絶

暴力は重大な人権侵害であるため、啓発活動や相談・支援体制等の充実・強化により、男女間のあらゆる暴力の根絶をめざしています。

○男女共同参画を支える支援

男女を問わず、だれもが生涯にわたって健康で幸せに暮らすことができるよう、健康づくり・子育て・介護等、男女共同参画を支える支援の充実に努めています。

あなた自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

※男女の2択で選べない場合、「3.」を選んでください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和3年7月1日現在)(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------|----------|
| 1. 10歳代・20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 自営業 | 2. 公務員・団体職員 |
| 3. 正規職員(公務員・団体職員を除く) | |
| 4. 非正規職員(パート、アルバイト、派遣、契約、臨時、嘱託等) | |
| 5. 農林漁業 | 6. 専業主婦(夫) |
| 7. 学生 | 8. 無職 |
| 9. その他() | |

問4 あなたの世帯の構成をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. ひとり暮らし(単身世帯) | 2. 1世代世帯(夫婦のみの世帯等) |
| 3. 2世代世帯(子と親の世帯等) | |
| 4. 3世代以上の世帯(孫と子と親、子と親と祖父母等) | |
| 5. その他() | |

問5 あなたがお住まいの地域は、どの小学校区ですか。(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1. 黒江 | 2. 日方 | 3. 内海 |
| 4. 大野 | 5. 亀川 | 6. 巽 |
| 7. 北野上 | 8. 中野上 | 9. 南野上 |
| 10. 下津 | 11. 大東 | 12. 加茂川 |

人権全般について

問6 人権に関する次の項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれ1ずつ選んで○をつけてください。

項目	そう思う	まあそう思う	どちらとも言えない	あまりそうは思わない	そうは思わない	分からない
(1) 今の社会全体として、人権が守られている	1	2	3	4	5	6
(2) 今の海南市では、人権が守られている	1	2	3	4	5	6
(3) 今の海南市では、人権を守る教育・啓発活動が行われている	1	2	3	4	5	6
(4) 数年前と比べて市民の人権意識が高くなっている	1	2	3	4	5	6

問7 次にあげる人権課題の中で、あなたが特に関心を持っているのは何ですか。
（当てはまる番号すべてに○）

1. 子どもの人権	2. 高齢者の人権
3. 障害のある人の人権	4. 女性の人権
5. 同和問題	6. 外国人の人権
7. 感染症患者（ハンセン病・HIV等）・難病患者等の人権	
8. LGBT ^(※1) や性同一性障害 ^(※2) のある人等の人権	
9. 刑を終えて出所した人の人権	10. 犯罪被害者とその家族の人権
11. 情報と人権（インターネット上やプライバシー保護に係る人権侵害）	
12. 環境と人権（大気汚染やごみの減量等への取り組み）	
13. 災害と人権（地震や津波等の災害時の人権の尊重）	
14. その他（	）
15. いずれにも特に関心がない	

※1) LGBT: Lesbian (レズビアン: 女性同性愛者)、Gay (ゲイ: 男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル: 両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー: 「身体の性」と「心の性」に違和感のある人や「心の性」にそって生きたいと望む人たち) の頭文字をとって組み合わせた言葉。

※2) 性同一性障害: トランスジェンダーのなかで、医療機関を受診し、「身体の性」と「心の性」が一致しないと診断された人たちに対する医学的な疾患・診断名。

問 8 これまでに自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

【問 8-1 は、問 8 で「1. ある」と答えた方におうかがいします。】

問 8-1 どのようなことがありましたか。(当てはまる番号すべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口 |
| 2. 名誉・信用の中傷や侮辱 |
| 3. 暴力、脅迫、強要 |
| 4. 人種・信条・性別・社会的身分等による不平等・不利益な取り扱い |
| 5. プライバシーの侵害 |
| 6. 行政機関・施設等での不当な扱い |
| 7. 近隣の住民から相手にされなかったり、仲間はずれにされること |
| 8. セクシャルハラスメント、ストーカー行為、DV等の被害 |
| 9. 職場におけるパワーハラスメント、マタニティハラスメント(※3) |
| 10. その他() |

※3) マタニティハラスメント：妊娠、出産、子育て等をきっかけとして嫌がらせや不利益な扱いを受けること。

問 9 あなたがもし人権侵害と思われることに会った場合、どのような対応をしますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 相手にしないで、放っておく | 2. 自分で相手に抗議をする |
| 3. 家族や友人に相談をする | 4. 関係機関に相談する |
| 5. その他() | 6. わからない |



子どもの人権について

問 10 あなたは、子どもに関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

1. いじめを受けること
2. 体罰を受けること
3. 虐待を受けること
4. いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事
5. 学校や就職先の選択等の子どもの意見について、大人がその意見を無視すること
6. 児童買春・児童ポルノ等の対象となること
7. インターネットや SNS^(※4) 等により特定の子どもの攻撃されること
8. その他（）
9. わからない

※4）SNS：Social Networking Service の略。スマートフォンやパソコン等を利用して人間関係を構築することのできるインターネット上のコミュニティサービス。

高齢者の人権について

問 11 あなたは、高齢者に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 働く能力を發揮する機会が少ないこと
2. 差別的な言動をされること
3. 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと
4. アパート等への入居を拒否されること
5. 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること
6. 病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
7. 高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること
8. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
9. 経済的に自立が困難なこと
10. その他（）
11. わからない

外国人の人権について

問 14 あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 結婚問題で周囲の反対を受けること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. 差別的な言動をされること
5. アパート等への入居を拒否されること
6. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
7. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと
8. じろじろ見られたり、避けられたりする
9. その他 ()
10. わからない

感染症患者等の人権について

問 15 あなたは、H I V感染者やかつてハンセン病を患った人、難病患者等に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 結婚問題で周囲の反対を受けること
2. 就職・職場で不利な扱いを受けること
3. 治療や入院を断られること
4. 差別的な言動をされること
5. アパート等への入居を拒否されること
6. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
7. その他 ()
8. わからない

情報化社会における人権侵害について

問 16 あなたは、インターネット等を利用した人権侵害やプライバシーに係る人権侵害に関して、現在、特にどのようなことが問題だと思えますか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 他人を誹謗中傷^{ひぼうちゆうしょう}する表現や差別を助長する表現を用いた情報を掲載すること
2. 出会い系サイト等犯罪や自殺を誘発する場となっていること
3. 加害少年・少女や捜査の対象となっている未成年の実名・顔写真等を掲載すること
4. 子どもたちの間で、インターネット・携帯電話を利用した「いじめ問題」が発生していること
5. ネット上にわいせつ画像や残虐な画像等、有害な情報を掲載すること
6. 個人情報の不正な取り扱いや横流し、流出等が発生していること
7. その他（）
8. 特に問題のあるものはない

女性の人権について

問 17 あなたは、女性に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思えますか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）があること
2. 職場において、採用、賃金、配置、昇進等で男女差があること
3. 家事・育児や介護等を男女が共同で行う社会の仕組みが整えられていないこと
4. 議員や会社役員、管理職等に女性が十分に参画していないこと
5. 夫や恋人等から暴力・暴言、危害の恐怖を感じる脅迫や行動制限を受けること
6. 職場においてセクシャルハラスメントがあること
7. レイプ等、女性への性暴力が発生していること
8. 特定の人にしつこくつきまとわれること（ストーカー行為）
9. その他（）
10. わからない

問 18 男女の地位は平等になっていると思いますか。次の項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

項目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
② 職場では	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度のうえでは	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会通念・慣習・しきたり等では	1	2	3	4	5	6
⑦ 自治会やPTA等の地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問 19 「男は仕事、女は家庭」に代表されるように、性別によって男女の役割を決めるような考え方について、あなたはどのように思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成である | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対である |



問 22 実際、あなたのご家庭での仕事と家庭に関する男女夫婦、パートナーの役割分担に近いものはどれですか。(1つに○)

1. 男性は仕事、女性は家庭を担当している
2. 女性は仕事、男性は家庭を担当している
3. 男性は仕事、女性は家庭にさしつかえない範囲で仕事をしている
4. 女性は仕事、男性は家庭にさしつかえない範囲で仕事をしている
5. 男女とも仕事をし、家庭は主に女性が担当している
6. 男女とも仕事をし、家庭は主に男性が担当している
7. 男女とも仕事をし、家庭も男女で協力して行っている
8. 男女とも仕事をし、家庭は他の家族や民間サービス等に任せている
9. 性別による役割分担をせずに、夫婦（パートナー）にあっただちで行っている
10. 一人暮らしなので、全て一人でやっている
11. その他 ()

問 23 一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。(1つに○)

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
6. その他 ()

問 24 最近、パートナー 夫・妻・恋人から肉体的・精神的な暴力を受けるという夫婦恋人間暴力が問題視されていますが、あなたは、暴力を受けたり、ふるったことがありますか。(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 暴力を受けたことがある | 2. 暴力をふるったことがある |
| 3. 暴力を受けたことはない | 4. 暴力をふるったことはない |

【問 24－1 は、問 24 で「1.」と答えた方におうかがいします。】

問 24－1 暴力を受けた後、どう対処されましたか。(当てはまる番号すべてに○)

1. パートナーで話し合った
2. 親や兄弟姉妹、親類に相談した
3. 友人や近所の人に相談した
4. 公的な機関に相談した（電話相談含む）
5. 民間の機関に相談した（民間シェルター、NPO、弁護士等）
6. 心療内科等医療機関に相談した
7. 安全なところに避難した
8. どこに相談すればよいか、わからなかった
9. パートナーが怖くて、何もできなかった
10. 自分ひとりで考え、解決しようとした
11. その他（）

コロナ禍の影響、男性の家事等への参加や女性の登用等について

問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭内における男女の家事・育児・介護等の役割分担は変化しましたか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. かなり変化した | 2. やや変化した |
| 3. あまり変化していない | 4. まったく変化していない |

【問 25－1 は、問 25 で「1.」または「2.」と答えた方におうかがいします。】

問 25－1 具体的にどのような変化がありましたか。(当てはまる番号すべてに○)

1. これまで女性が主体であった家事に、男性も関わるようになった
2. これまで女性が主体であった育児に、男性も関わるようになった
3. これまで女性が主体であった介護に、男性も関わるようになった
4. その他（）

問 30 次の名称や内容についてご存じですか。（当てはまる番号それぞれに○）

名称	名称も内容も知っている	名称は知っているが内容は知らない	名称も内容も知らない
① ポジティブ・アクション	1	2	3
② ジェンダー	1	2	3
③ 男女雇用機会均等法	1	2	3
④ ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
⑤ DV	1	2	3

問 31 本市における人権・男女共同参画を推進するにあたり、ご意見やご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

調査票を返信用封筒に入れてポストに投函してください。

（切手は不要です）



「第4次海南市人権施策推進行動計画」及び
「第4次海南市男女共同参画基本計画」策定のための
人権・男女共同参画市民意識調査

結果報告書

令和3年9月

企画・編集 海南市 総務部 市民交流課 人権推進係